技術基準適合認定品

普通紙パーソナルファクシミリ

NEC

スピークス 取扱説明書

SPX-S32/SPX-S32W

エス ピー エックス エス / エス ピー エックス エス ダブル

ベルを鳴らさず受信・留守録

おやすみモード（→P.52）

小さなお子様のいたずら防止に

チャイルドロック（→P.72）

ベル音がだんだん大きく

ステップアップ着信音量（→P.33）

ワンタッチで電話ができる

ワンタッチダイヤル（→P.25）

リズムにのってハンドスキャナ

ハンドスキャナ（→P.42）

 ナンバー・ディスプレイ（→P.54）

 キャッチホン/モデムダイヤルイン（→P.65）

注意
- 製品をご使用の前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでも活用できるように大切に保管ください。

はじめに

このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークスSPX-S32/S32W」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

型　　名	機器構成	備　　考
SPX-S32	親機（本機）と子機１台	増設できる子機の台数は最大２台まで
SPX-S32W	親機（本機）と子機２台	増設できる子機の台数は最大１台まで

なお、本書ではSPX-S32について子機を増設した場合を含めて説明しています。SPX-S32Wを購入された方は、SPX-S32に子機を１台増設した場合として本書をお読みください。

本書の見かた

操作がうまくできなかったり、思うように操作が進まないなどということがないよう、守っていただきたい注意事項や気をつけていただきたいことが記載されています。

状況に応じた対応方法などが記載されています。

操作上のアドバイスや、知っておいていただきたいことなどが記載されています。

電 話

電話をかける

親機で

・子機使用中（“ナイセン2　ショウチュウ”と表示されるとき）、コピー中、ファクスの送受信中、登録・設定中のときは、電話をかけられません。
・コピーやファクスを送受信したあと、受話器が温かくなることがあります。

受話器をとってかける

➡ ツー・・・ ➡ 相手先の電話番号 ➡ 通話 ➡

▶ **番号を間違えたら**：一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしてください。
▶ **番号を確認してからかけるには**：受話器を置いたままダイヤルしたあと、受話器をとってください。
▶ **相手先の声を大きくしたい**（受話音量→P.34）

受話器を置いたままかける（オンフックダイヤル）

オンフック ➡ ツー・・・ ➡ 相手先の電話番号 ➡ ➡ ➡ 通話 ➡

▶ **番号を間違えたら**：［オンフック］ボタンを押し、最初からやり直してください。

［オンフック］ボタンの使いかた（通話中）

・親機で通話中に［オンフック］ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずにモニタスピーカから相手先の声が聞こえます。
・オンフック中は、こちらの声は相手先に聞こえません。
・オンフック中に、再度［オンフック］ボタンを押すと通話が切れます。

子機で

・親機が使用中（通話中、ファクスの送受信中、登録・設定中、コピー中など）のときや、他の子機が通話中のときは、電話をかけられません。そのときは受話口から「ピーピーピー」という音が鳴ります。
・通話中に親機の［スタート／コピー］ボタンを押すと、受話口から「ピーピーピー」という音が鳴り、通話は切れます。

子機をとってかける

➡ 通話 ➡ ツー・・・ ➡ 相手先の電話番号 ➡ 通話 ➡

➡ または 切

▶ **番号を間違えたら**：［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手先の電話番号をダイヤルしてください。
▶ **「ツー…」と聞こえないときは**：［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押してください。
▶ **充電器に置いていないとき**：［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手先の電話番号をダイヤルしてください。
▶ **番号を確認してからかけるには**：相手先の電話番号をダイヤルしてから［通話］ボタンを押してください。番号を間違えたら［保留／消去］ボタンを押すごとに1文字ずつ取り消すことができます。
▶ **相手先の声を大きくしたい**（受話音量→P.35）
▶ **受話音量を「特大」にしても音が小さい**（子機の受話音量を全体的に大きくする→P.75）
▶ **子機のボタンを押したときの音を消すには**（子機のキータッチトーンを設定する→P.71）

クイック通話とは

・「ON」のとき
子機を充電器からとるだけでダイヤルできます。または電話に出られます。
・「OFF」のとき（お買い上げ時）
子機を充電器からとり、［通話］ボタンを押してダイヤルします。または電話に出ます。

クイック通話のON／OFFの切り替えかた

“クイックツウワ”を表示させたあと、“クイックツウワ　ON／OFF”を選びます。
ON／OFFの設定は、子機ごとに行えます。

メニュー ➡ ➡ メニュー ➡ ➡ メニュー

“クイックツウワ”を表示させる

クイックツウワ ON
クイックツウワ OFF

電話

23

＜操作手順中のイラスト＞

…親機の受話器をとる操作を表しています。

…親機の受話器を戻す操作を表しています。

…充電器から子機をとる操作を表しています。

…充電器に子機を戻す操作を表しています。

などのボタンは、そのボタンを押す操作を表しています。

文章中にある［▲］［▼］は、親機または子機の［電話帳］ボタンを上下に押す操作を表しています。また、親機または子機の［電話帳］ボタンを左右に押す場合は［<］［>］で表しています。

安全にお使いいただくために ─必ずお読みください─

本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠危険：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

（高温注意）：△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

（分解禁止）：⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

（電源プラグをコンセントから抜け）：●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機の故障、誤動作、不具合、停電、あるいは天災等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。

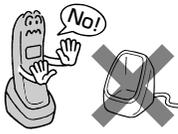
- この取扱説明書は、本機の利用のしかたを説明したものです。
- この取扱説明書をお手元に置き、常に本機を最良の状態でご使用いただくための手引書としてご利用ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本機のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116 番（無料）へお問い合わせください。

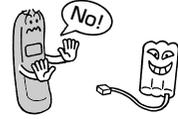
⚠危険

充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを漏液れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。

禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。

電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂の原因となることがあります。

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

⚠警告

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

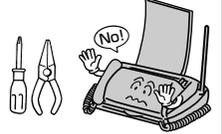
万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠警告

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
修理は販売店にご相談ください。

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。

禁止

本機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
・接地工事（第D種）が行われている接地端子
次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
・ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

禁止

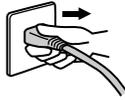
電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

⚠警告

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

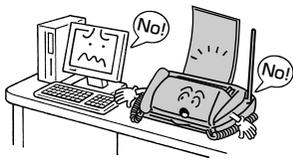
本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。

- 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
- 使用を制限された場所では使用しないでください。例:医療用電子機器の近くなど

禁止

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因になります。

禁止

子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

分解禁止

充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。修理は販売店にご相談ください。

禁止

子機をねじったり、重いものを載せたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

禁止

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

インクフィルム交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。

禁止

モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。

本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。

指をはさまれないよう注意

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を開け閉めするときは、指挟み、指のけがにご注意ください。

禁止

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

禁止

本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色する恐れがあります。

⚠注意

子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、液晶パネルをつかんで持ち上げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となります。

本機の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。本機の破損、故障の原因となります。

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。本機の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

青焼紙と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。

インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。

インクフィルムは開封した状態で放置しないでください。

ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、通話に雑音が入ることがあります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

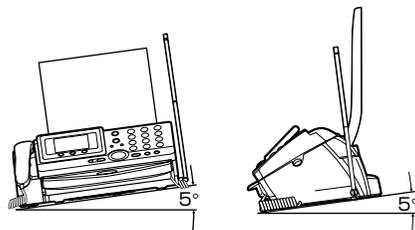
極端に暑い場所（35 ℃以上）や寒い場所（5 ℃以下）では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。

⚠注意

以下のようなところには置かないでください。
- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
- 本機をテレビ等から遠ざける
- 本機またはテレビ等の向きを変える

本機は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

ハンドスキャナや受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。

目次

ハンドスキャナ

留守電

ナンバー･ディスプレイ

キャッチホン／モデムダイヤルイン

便利に使う

こんなときは

はじめにご確認ください

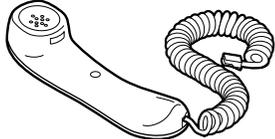
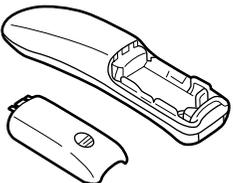
付属品はすべてそろっていますか？

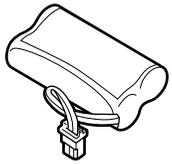
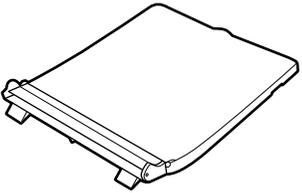
□欄にチェック“ ✓ ”し、確認してください。付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください（→P.99）。

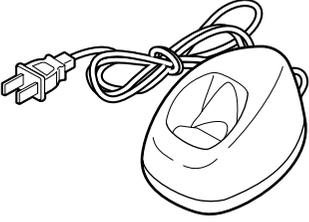
□ 親機（本機） 1台

テスト用インクフィルム 1本
あらかじめ本機にセットしてあります。
このインクフィルムは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクフィルムよりもプリントできる枚数が少なくなりますので、別売のインクフィルムをお買い求めください（→P.98）。

● **インクフィルムを交換するときは**
インクフィルムを交換するときは、指定（型名:**SP-FA430**）のインクフィルムをお使いください。当社製以外のインクフィルムは使用できません。また、当社製であっても、型名:**SIF-A4040**、**SIF-A4030T**のインクフィルムは使用できません。

□ 受話器 1個

□ 記録紙カセット 1個

□ 子機 1台（電池カバー付）
※SPX-S32Wでは2台

□ 電池パック 1個（子機用）
※SPX-S32Wでは2個

□ 子機充電器 1台
※SPX-S32Wでは2台

□ 電話回線接続コード 1本

□ 取扱説明書 1冊 （本書）

□ かんたん取り付けガイド 1部

□ 保証書 1枚
保証書は大切に保管してください。保証期間やご購入店名などの記載事項をご確認ください。

※記録紙は添付されておりません。別途ご用意ください。

各部の名称とはたらき

本機を組み立てたあとの各部の名称です。

親機の前面

記録紙カバー

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

アンテナ

記録紙排出口

チルト式液晶パネル
見やすい角度に調整できます。

ホコリよけカバー
原稿をセットするときに開けます。ファクスの送信やコピーするとき、カバーでかくれたボタンを操作するときをのぞいて閉めてください。

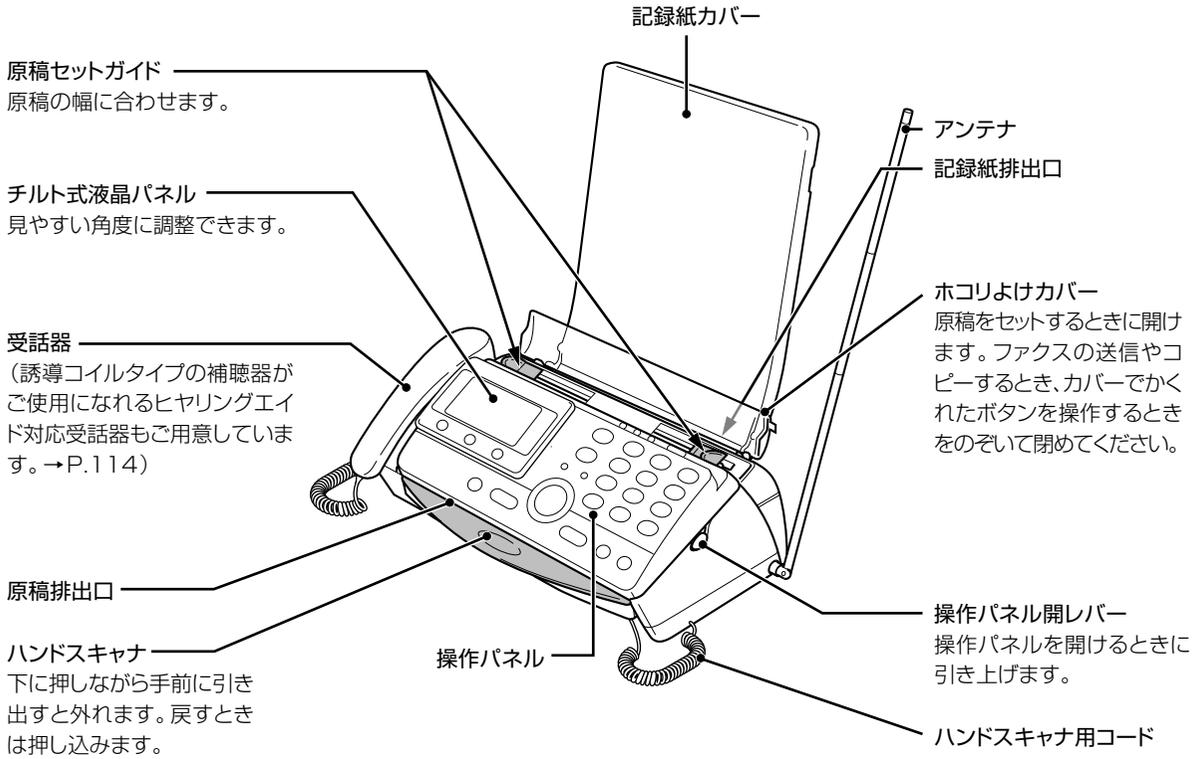
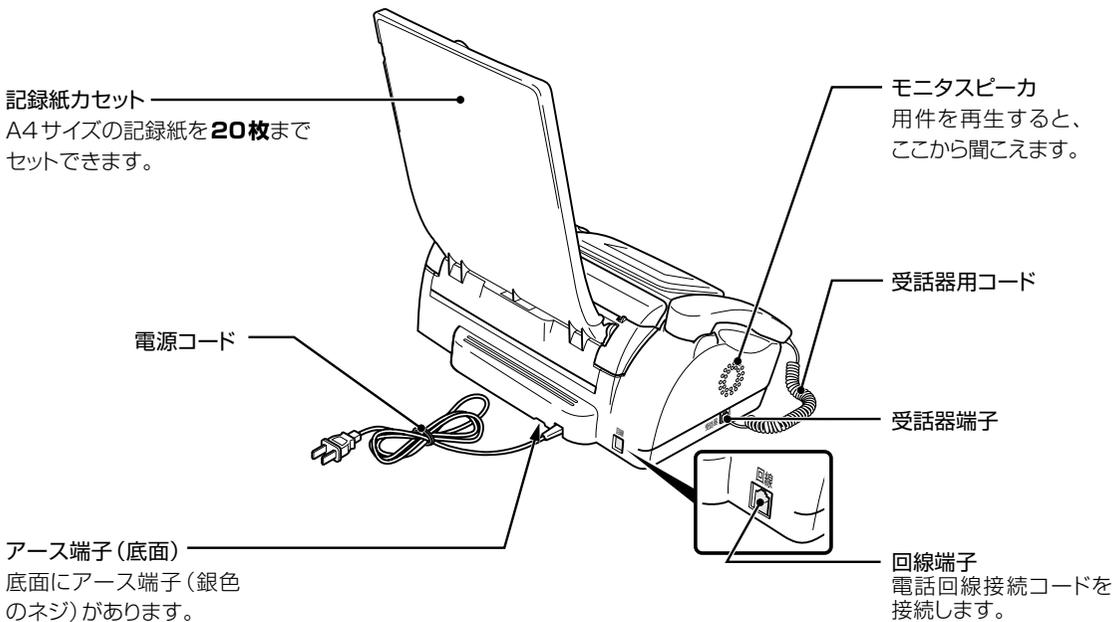
受話器
（誘導コイルタイプの補聴器がご使用になれるヒヤリングエイド対応受話器もご用意しています。→P.114）

原稿排出口

ハンドスキャナ
下に押しながら手前に引き出すと外れます。戻すときは押し込みます。

操作パネル

操作パネル開レバー
操作パネルを開けるときに引き上げます。

ハンドスキャナ用コード

親機の背面

※本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

親機のボタンの名称と使いかた

<操作パネル>

（［おやすみ］ボタン）
おやすみモード設定／解除するときに使います。

（［留守］ボタン）
留守設定／解除するときに使います。

（［消去］ボタン）
用件を消去するときに使います。また、各種の登録時、入力内容を消去するときに使います。

（［再生］ボタン）
用件の再生に使います。

（ダイヤルボタンまたは［1］～［#］）
ダイヤルするときや文字入力するときに使います。

［1］再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使います。

［3］再生中の次の用件を聞くときに使います。

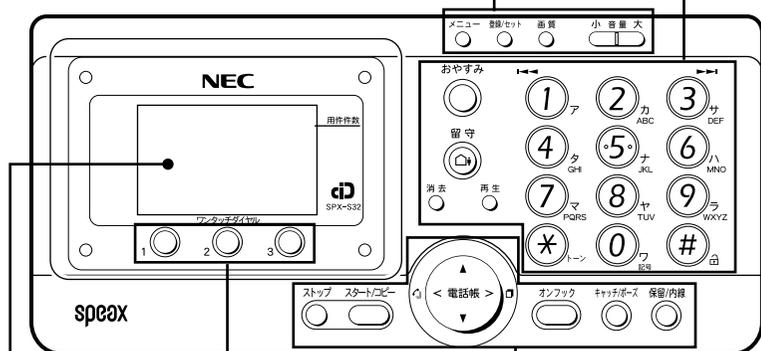
（［＊］）
ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使います。

（［#］）
チャイルドロックを一時解除するときに使います。

（［メニュー］ボタン）
各種設定や登録のときに使います。

（［登録／セット］ボタン）
電話帳の登録や、各種設定のときに使います。

（［画質］ボタン）
画質モードを設定するときに使います。

（［音量］ボタン）
各種音量を調整するときに使います。

ディスプレイの表示について（→P.14）

（［ワンタッチダイヤル］ボタン）
あらかじめ登録しておいた相手先に、ワンタッチで電話やファクスをするときに使います。

（［ストップ］ボタン）
送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使います。また、セットした原稿を排出するときに使います。

（［スタート／コピー］ボタン）
ファクスの送受信や、コピーなどに使います。

（［オンフック］ボタン）
受話器を置いたまま電話をかけるときに使います。

（［キャッチ／ポーズ］ボタン）
キャッチホンを受けるときに使います。
電話番号の間に休止時間（約3秒）を入れるときに使います。

（［保留／内線］ボタン）
子機との内線通話や、電話を保留するときに使います。

（［電話帳］ボタン）
電話帳に登録されている相手先を選ぶときや、カーソルを左右に移動させるときに使います。
また、電話をかけた相手先にもう一度かける（リダイヤル）ときや、かかってきた相手先の電話番号を表示させたりする（ナンバー・ディスプレイ契約時）ときに使います。

：着信データ（ナンバー・ディスプレイ契約時）

：リダイヤル（再ダイヤル）

子機のボタンの名称と使いかた

＜前面＞

受話口

ディスプレイの表示について（→P.14）

1～#（ダイヤルボタンまたは［1］～［#］）
ダイヤルするときや、文字を入力するときなどに使います。

（［］）
ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使います。

キャッチ（［キャッチ］ボタン）
キャッチホンを受けるときに使います。簡易子機間通話の送受話の切り替えに使います（子機が２台以上ある場合のみ）。

内線（［内線］ボタン）
内線通話のときに使います。

保留消去（［保留／消去］ボタン）
電話を保留にするときや、電話番号や文字入力を間違えたときに使います。

送話口

メニュー（［メニュー］ボタン）
各種設定や登録のときに使います。

ワンタッチ（［ワンタッチ］ボタン）
よく電話をかける相手先を登録して、ワンタッチで電話をかけるときに使います。

（［▲］［▼］ボタン）
メニューや電話帳を検索するときなどに使います。

（［＜］ボタン）
1回押す：直前にかけた相手先の電話番号を表示させます。
２回押す：かかってきた相手先の電話番号を表示させます（ナンバー・ディスプレイ契約時）。

（［＞］ボタン）
各種音量を調節するときに使います。

（［＜］［＞］ボタン）
カーソルを左右に移動させるときに使います。

通話（［通話］ボタン）
電話をかけるときや、受けるときに使います。

切（［切］ボタン）
通話を切るときや、登録・設定を途中でやめるときに使います。

子機の背面と充電器

＜背面＞　＜充電器＞

子機の待ち受け中の状態について

子機を充電器からとったあと以下の操作をして、［通話］ボタンが消灯している状態を「待ち受け中」といいます。クイック通話（→P.23）の設定によって操作が異なります。

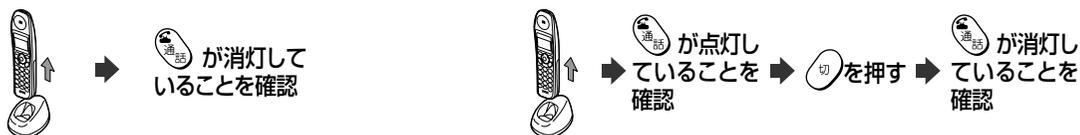
＜クイック通話「OFF」のとき（お買い上げ時）＞

通話 が消灯していることを確認

＜クイック通話「ON」のとき＞

通話 が点灯していることを確認

切 を押す

通話 が消灯していることを確認

ディスプレイの表示について

<親機>

絵表示(ピクト)は全点灯時を表しています。

16桁×2行で文字を表示します。何も操作をしていないときは、日時と留守録の件数が表示されています。

●音量表示

ベル … ベル音量を示します。

ベル切 … 呼出音を鳴らないようにしているときに表示されます。

スピーカ … 留守録の再生音量などのモニタスピーカ音量を示します。

スピーカ切… モニタスピーカから音が出ないようにしているときに表示されます。

受話器 … 通話時の受話音量を示します。

ステップ … ステップアップ着信音量を選んだときに表示されます。

●録音残量表示

…録音時間の残り時間を示しています。

…用件が30件または残りの録音時間が20秒以内となり、録音できないことを示しています。

• バックライトは、登録·設定中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約90秒で消灯します。

●インクフィルム残量表示

インクフィルムのおおよその残量を表示します。

: 51〜95枚

: 16〜50枚

: 1〜15枚

: インクフィルムなし (→P.85)

・目安としてご利用ください。
・インクフィルムを交換した場合は、必ずリセットしてください。(→ P.85) リセットを行わなかった場合、正しく表示されません。
・次のような場合は、インクフィルム残量が表示よりも少なくなっていることがあります。
 ーひんぱんにカバーを開け閉めした
 ーインクフィルムを手で巻き取った

<子機>

絵表示(ピクト)は全点灯時を表しています。

12桁×1行で文字を表示します。何も操作をしていないときは、内線番号が表示されています。

•子機にはバックライトの機能はありません。

内線 … 内線で通話中に表示されます。

外線 … 外線で通話中に表示されます。

着信データ … 過去にかかってきた電話番号を表示させる操作をしたときに表示されます(ナンバー·ディスプレイ契約時)。

リダイヤル … 同じ相手先にもう一度電話をかける操作をしたときに表示されます(リダイヤル)。

(電池マーク) … バッテリが消耗したときに表示されます。

ベル切 … 呼出音が鳴らないようにしているときに表示されます。

■通話時間表示について

電話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される時間はあくまでも目安としてご利用ください。

親機 ツウワジ カン 0' 05" … ダイヤル後、約10秒経つと表示され、相手先が出ると再度0秒から表示し直されます。

子機 0' 05 … [通話]ボタンを押すと通話時間表示が始まり、相手先が出てからも続けて表示されます。また相手先が出なくても表示されます。

・受話器や子機を戻したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。
・通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

記録紙について

安定した品質･性能でお使いいただくために、記録紙はA4サイズ、紙厚0.08mm～0.1mm（500枚包みの場合、厚さ40mm～50mm）のもので、表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙（コピー用紙）をお使いください。

記録紙の種類によって、文字のかすれなど印刷品質が異なります。より鮮明な印刷品質をお求めの場合には、下記の記録紙もお使いいただけます。

- 普通紙

型名　：FUJIFILM　熱転写用紙
ファクス用普通紙
FAX　A4×100

サイズ･数量　：A4･100枚

- 感熱紙は使用できません。
- 記録紙の種類によっては、記録紙給紙不良や記録紙づまりの原因となります。
次のような記録紙は使用しないでください。
  - ○ オーバーコートされた普通紙
  - ○ 一度プリントした紙の裏面
  - ○ 一度複数枚送りした紙
  - ○ 湿っている紙
  - ○ OHP フィルム
  - ○ 薄い紙（紙厚が 0.08mm より薄い紙）
  - ○ 厚い紙（紙厚が 0.1mm より厚い紙）
  - ○ しわ・折れのある紙
  - ○ 表面に光沢のある紙
- 記録紙の品質はメーカーによって異なるため、印刷品質や記録紙給紙性能が異なる場合があります。記録紙を大量に購入されるときには、一度テストプリントすることをお勧めします。
- 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。

▶ **“キロクシガ　ツマリマシタ” と表示されたときは**
（→P.83）

記録紙の保管について

記録紙は日光のあたる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。また、記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含んだりすると、品質が劣化して先端が波打った状態になります。

- 品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

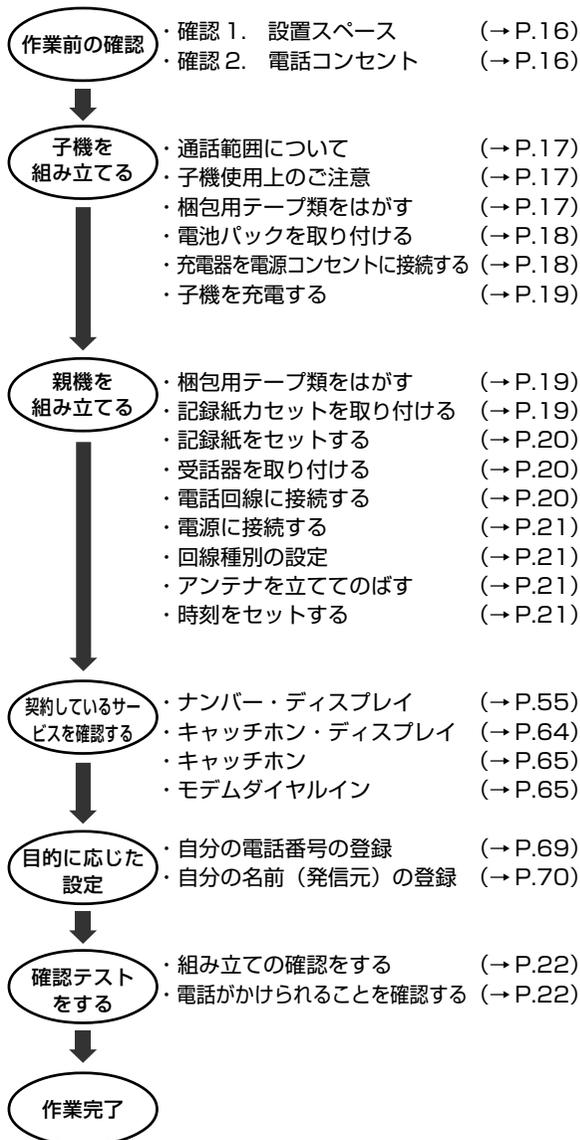
インクフィルムの保管について

本機にセットする前のインクフィルムは袋に入れ、以下のことに注意して保管してください。

- 直射日光を避け、0℃～ 35℃で保管してください。
- 結露した場合は、乾燥後に使用してください。

本機の接続のしかた

作業の流れ

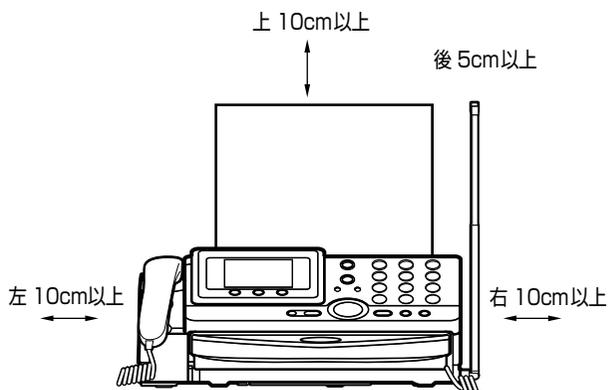
本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。

本機を自由にご活用ください

作業前の確認

確認 1.　設置スペース

親機を置く場所には充分なスペースがありますか?

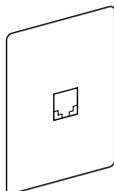
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、右図を参考に必要なスペースを確保してください。

- 親機は壁にかけての使用はできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因になることがあります。
  - ○ ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - ○ 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器および AC アダプタ
  - ○ テレビ、ラジオ、蛍光灯、CD プレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - ○ 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 「安全にお使いいただくために」(→ P.3) の記載も参照してください。

- 直射日光の当たる場所には置かないでください。送信／コピー画質が薄くなったり、本機の誤動作、故障の原因となります。

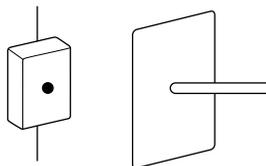
確認 2.　電話コンセント

電話コンセントはどのタイプですか?

コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

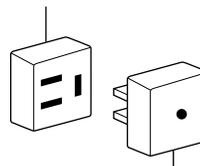
モジュラ式

そのまま接続できます。

カチッとなるまで差し込んでください。

直接配線（ネジ止め式）

このままでは親機を接続できません。

NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにご相談ください。

- 接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

（3ピン）プラグ式

このままでは親機を接続できません。

市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

▶**INS ネット 64 を利用するには** (→ P.82)

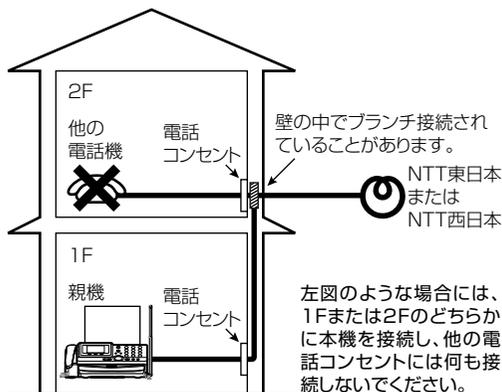
▶ **パソコンやモデムにつなぐには** (→ P.82)

▶**ADSL 回線を利用するには** (→ P.82)

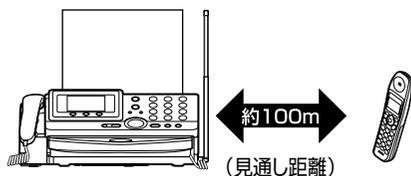
- 他の電話機とブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- 家の中に 2 つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります (→右図)。NTT東日本または NTT 西日本に確認してください。

ブランチ接続すると、こんなことが起こります

- 電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- ファクスを送受信しているとき、ブランチ接続されている電話機の受話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
- ファクスが受信できないことがあります。
- ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。

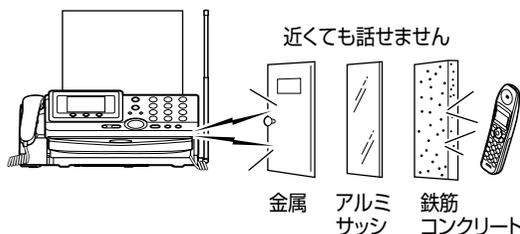
左図のような場合には、1Fまたは2Fのどちらかに本機を接続し、他の電話コンセントには何も接続しないでください。

子機を組み立てる

通話範囲について

●使用できる範囲は、親機と子機の間に障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。

●子機と子機で通話（簡易子機間通話、SPX-S32は子機増設時のみ）するときも、お互い親機と通話できる範囲（→上記）でご使用ください。子機どうしが近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。

●建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。

●親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

●親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。

●親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

・金属製家具の近くなど

・マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合

・蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機使用上のご注意

●子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。

●子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話しは親機を使用するなど、注意してお使いください。

●通話中に「ピーッ、ピーッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると、約15秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。

●通話中に「ピッ、ピッ、ピッ、…」という音がしたときは、電池パックの充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れ、親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。電池パックの充電残量が少なくなる（電池電圧が約2.3V以下になる）と子機は使用できなくなります。

●近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話がつながらない、通話の途中で切れた、などの場合は、いったん切ってからもう一度かけ直してください。

●車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。

●次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。

・ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など

・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタなど

・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CD プレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど

・自動車、オートバイ、ネオンサインなど

●ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

●自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなどに雑音が入ることがあります。

●ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。子機には防水機能がありませんので、故障の原因になります。

梱包用テープ類をはがす

子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

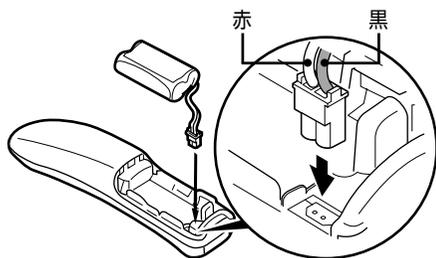
電池パックを取り付ける

⚠危険

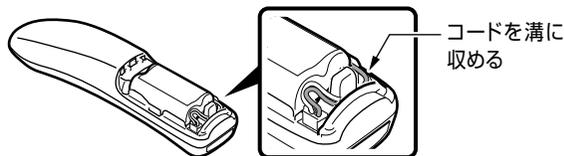
- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
  また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

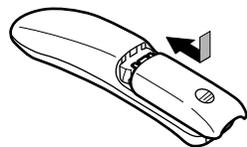
⚠注意

- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

1 電池パックのコネクタを差し込む

⚠注意

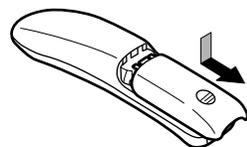
- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。

2 電池パックを取り付ける

3 電池カバーを取り付ける

子機の溝に合わせて、奥に差し込みます。

⚠注意

- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線、故障の原因となります。

電池カバーを外したい

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。

充電器を電源コンセントに接続する

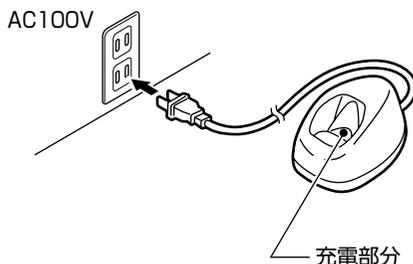
・テレビやステレオなどと同じ電源コンセントに充電器のプラグをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別の電源コンセントにつないでください。近くに別の電源コンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

⚠危険

- 付属の充電器以外を使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

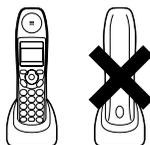
⚠警告

- ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となることがあります。
- 充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のプラグを電源コンセントに差し込みます。

子機を充電する

・お買い上げ時は、充電されていません。
・初めてご使用のときは 10 時間以上充電してください。十分に充電されていないと、使用時に「ピーッ、ピピッ」という音がして子機が使えません。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。
・子機のディスプレイに が表示されているときは、電池残量が足りないため、お使いになれません。

1 ボタンが前にくるように、子機を充電器に置く

裏返しに置くと、正しく充電されません。

2 (切) が赤く点灯し、充電が始まる

⚠注意

●充電器の充電部分に、金属物をのせないでください。発熱･やけどの原因となります。

▶ **子機を使わないときは**：できるだけ充電器に戻しておいてください。充電し過ぎにはなりません。

▶ **子機の使用可能時間は（フル充電時）**：連続通話時は約6時間、連続待ち受け時は約200時間になります。

▶ **充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなるときは**：電池パックの寿命（お使いになり始めてから約２年）の可能性があります（電池パックを交換するときは→P.88）。

▶ **子機を増設するときは**（→P.88）

子機を長時間使わないときは

旅行や引越しなどで子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。充電器の電源プラグをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

親機を組み立てる

梱包用テープ類をはがす

本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

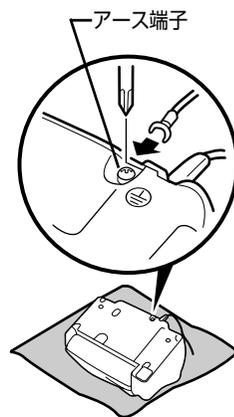
⚠注意

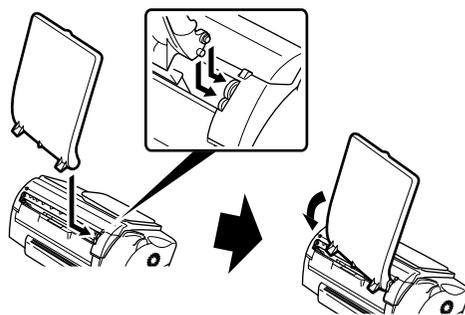
アース端子

●特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は別売品となります。

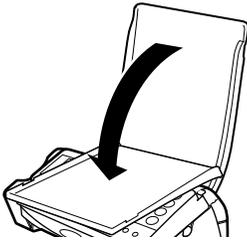
アース接続は、親機を裏返して行います。その際、記録紙カセットを取り外し、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように座布団などを敷いてください。

プラスドライバとアース線を準備してください。

▶ **安全にお使いいただくために**（→P.3）

記録紙カセットを取り付ける

記録紙カセットの片側を先に親機の穴に差し込み、次に逆側を差し込みます。取り付けたあと、記録紙カセットを軽く前後に動かして、外れないことを確認してください。

記録紙をセットする

・必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因となることがあります。

1 記録紙カバーを前に倒す

2 記録紙をさばく

・記録紙をさばかずにセットすると、一度に複数枚の記録紙が送られることがあります。

3 記録紙を入れる

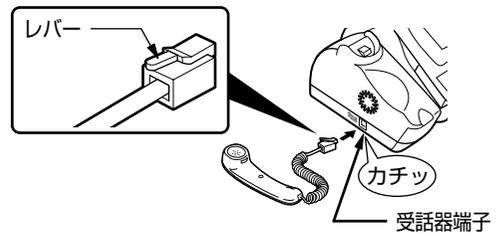
記録紙の先端をそろえて、そっと置いてください(奥まで差し込まないでください)。記録紙の上端が記録紙カセット上側の「記録紙セットの目安範囲」にあることを確認してください。

・セットできる枚数は20枚までです。
・ファクスを受信するとき、送られてきた原稿が1枚でも、原稿の長さによっては、2枚以上の記録紙に分割してプリントされることがあります。このとき、記録紙が1枚しかセットされていない場合、プリントを終了することができず、さらに記録紙を1枚だけ補充しても、また1枚目からプリントされてしまいます。ファクス受信した文書をプリントする場合は、常に多めに記録紙をセットしておいてください。
・記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。
・プリント中は記録紙を追加しないでください。
・記録紙を長期間記録紙カセットにセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙づまりの原因になります。

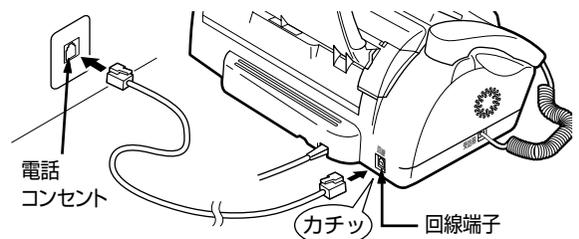
4 記録紙カバーを起こす

・記録紙カバーは必ず取り付けて、起こした状態で使用してください。

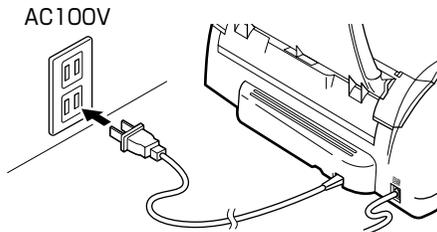
受話器を取り付ける

受話器端子に受話器用コードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

▶ **受話器コードを抜くときは**:レバーを押さえながら引き抜いてください。

電話回線に接続する

付属の電話回線接続コードを親機背面の回線端子と電話コンセントに差し込みます。

▶ **電話コンセントのタイプ**(→P.16)
▶ **INSネット64を利用するには**(→P.82)
▶ **パソコンやモデムにつなぐには**(→P.82)
▶ **ADSL回線を利用するには**(→P.82)

電源に接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。

・電話回線に接続せずに電源に接続すると、しばらくしてデモモード（宣伝用自動表示）が始まります。その場合、電話回線に接続するとデモモードは終了します。

▶ **電話回線に接続する**（→P.20）

回線種別の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに“シバラク　オマチクダサイ”と表示されたあと、“デンワカイセン　カクニンチュウ”と表示され、本機が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。終了すると“PB　ニ　セッテイシマシタ”または“DP　ニ　セッテイシマシタ”のどちらかが約3秒間表示されます。

▶ **“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示されたときは**：手動で設定してください（回線種別→P.68）。ADSLモデム（IP電話機能付きも含む）／ISDNターミナルアダプタなどを本機に接続した場合は、回線種別を正しく選択できない場合があります。ご利用の回線種別をご確認のうえ手動設定してください。ご利用の回線種別がわからない場合は、最寄りのNTTの支店・営業所にお問い合わせください。

▶ **“ハンドスキャナ　サイセット”と表示されたときは**：ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください（ハンドスキャナの取り外し／取り付け→P.42）。

アンテナを立ててのばす

回線種別の設定が終わると、ディスプレイに“アンテナ　ヲ　ノバシテ　セット　ヲ　オシテ　クダサイ”と表示されますので、親機のアンテナをまっすぐ立て、のばしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。

アンテナをのばしたらホコリよけカバーを開けて 登録/セット を押してください。

時刻をセットする

アンテナの設定が終わると、ディスプレイに“ジコクセッテイ　シマス　セット　ヲ　オシテ　クダサイ”と表示されます。

続いて、現在の時刻をセットしてください。

1 登録/セット **を押す**

```
'04  1/ 1  0:00
カンリョウ ハ セット ヲ オス
```

この下線（カーソル）位置の文字を修正できます。

2 **年月日・時刻を入力する**

・年　：西暦の下2 桁
・月日：1～9 は 01～09 と入力
・時刻：24 時間制 0～9 は 00～09 と入力

```
'04 08/20 13:30
カンリョウ ハ セット ヲ オス
```

この例では「0408201330」と入力します。

▶ **入力を間違えたときは**：［<］ボタンまたは［>］ボタンを押し、間違えた文字の下にカーソルを移動させて、入力し直してください。

3 登録/セット **を押す**

```
カンリョウ
```

▶ **時刻を設定し直すときは**（時計を合わせる→P.68）

契約しているサービスを確認する

NTTサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。□ にチェック“✓”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

NTT サービスの契約をしていますか？

□ ナンバー・ディスプレイ（→P.54）
設定が必要です。
ナンバー・ディスプレイの設定（→P.55）
※ネーム・ディスプレイには対応していません。

□ キャッチホン・ディスプレイ（→P.64）
設定が必要です。
キャッチホン・ディスプレイを設定する（→P.64）

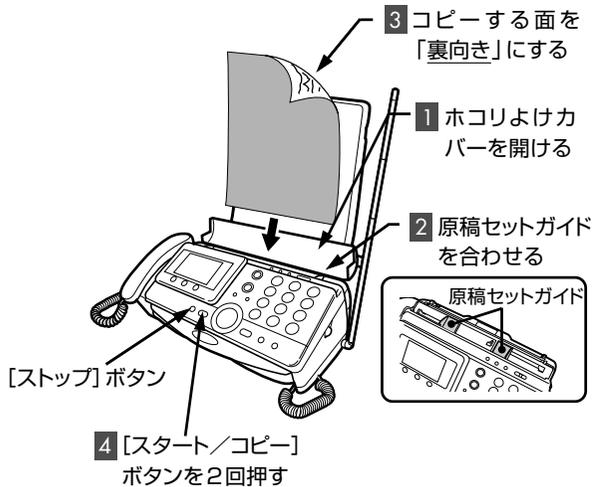
□ キャッチホン（→P.65）
設定の必要はありません。
キャッチホンを利用する（→P.65）

□ モデムダイヤルイン（→P.65）
設定が必要です。
ダイヤルインの登録をする（→P.67）
※PB信号方式のダイヤルインには対応していません。

確認テストをする

組み立て、接続が正しくできたか、確認のための動作テストを行います。

組み立ての確認をする

コピーをとって、確認してみましょう。

1 ホコリよけカバーを開ける

2 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる

3 コピーする面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

原稿が数cm引き込まれます。

4 スタート/コピー を２回押す

コピーが終わると原稿、記録紙が排出され、「ピー」という音がします。

▶ **途中でコピーをやめるときは**：[ストップ] ボタンを押してください。

▶ **白紙が出てきたときは**：原稿の表裏を逆にセットすると白紙になります。コピーする面が「裏向き」になっていることを確認し、もう一度コピーしてください。

▶ **紙づまりのときは**：

“キロクシガ　ツマリマシタ” と表示されたときは（→P.83）

“ゲンコウガ　ツマリマシタ” と表示されたときは（→P.85）

▶ **B4の原稿をコピーすると**（→P.41）

電話がかけられることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

▶ **電話をかけられないときは**（困ったときは→P.91）

▶ **電話をかけられるが、受けられない**：ナンバー･ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。

○契約している場合…「利用する」（お買い上げ時のまま）

○契約していない場合…「利用しない」に設定が必要（ナンバー･ディスプレイの設定→P.55）

▶ **ダイヤルインの契約をしている場合は**（ダイヤルインを利用する→P.65）：ナンバー･ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー･ディスプレイの設定を「利用する」にしてください（→P.55）。

お買い上げ時の状態について

お買い上げ時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています（自動で受ける→P.38）。

▶ **お買い上げ時の設定は**（機能設定／登録早見表→P.106〜107）

操作を間違えたときは

<親機の場合>

ストップ ◯：[ストップ] ボタンを押すと、操作／設定がキャンセルされ、待ち受け状態に戻ります。

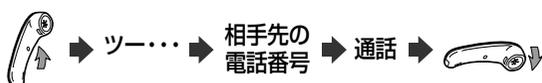
<子機の場合>

切：充電器に戻すか、[切] ボタンを押してください。

電話をかける

親機で

・子機使用中（“ナイセン2　シヨウチュウ”と表示されるとき）、コピー中、ファクスの送受信中、登録・設定中のときは、電話をかけられません。
・コピーやファクスを送受信したあと、受話器が温かくなることがあります。

受話器をとってかける

▶ **番号を間違えたら**：一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしてください。

▶ **番号を確認してからかけるには**：受話器を置いたままダイヤルしたあと、受話器をとってください。

▶ **相手先の声を大きくしたい**（受話音量→P.34）

受話器を置いたままかける（オンフックダイヤル）

▶ **番号を間違えたら**：［オンフック］ボタンを押し、最初からやり直してください。

［オンフック］ボタンの使いかた（通話中）

・ 親機で通話中に［オンフック］ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずにモニタスピーカから相手先の声が聞こえます。
・ オンフック中は、こちらの声は相手先に聞こえません。
・ オンフック中に、再度［オンフック］ボタンを押すと通話が切れます。

子機で

・親機が使用中（通話中、ファクスの送受信中、登録・設定中、コピー中など）のときや、他の子機が通話中のときは、電話をかけられません。そのときは受話口から「ピーピーピー」という音が鳴ります。
・通話中に親機の［スタート／コピー］ボタンを押すと、受話口から「ピーピーピー」という音が鳴り、通話は切れます。

子機をとってかける

▶ **番号を間違えたら**：［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手先の電話番号をダイヤルしてください。

▶ **「ツー…」と聞こえないときは**：［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押してください。

▶ **充電器に置いていないとき**：［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手先の電話番号をダイヤルしてください。

▶ **番号を確認してからかけるには**：相手先の電話番号をダイヤルしてから［通話］ボタンを押してください。番号を間違えたら［保留／消去］ボタンを押すごとに1文字ずつ取り消すことができます。

▶ **相手先の声を大きくしたい**（受話音量→P.35）

▶ **受話音量を「特大」にしても音が小さい**（子機の受話音量を全体的に大きくする→P.75）

▶ **子機のボタンを押したときの音を消すには**（子機のキータッチトーンを設定する→P.71）

クイック通話とは

・「ON」のとき
子機を充電器からとるだけでダイヤルできます。または電話に出られます。
・「OFF」のとき（お買い上げ時）
子機を充電器からとり、［通話］ボタンを押してダイヤルします。または電話に出ます。

クイック通話のON／OFFの切り替えかた

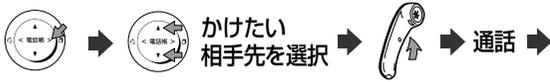
“クイックツウワ”を表示させたあと、“クイックツウワ　ON／OFF”を選びます。
ON／OFFの設定は、子機ごとに行えます。

同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）

親機で

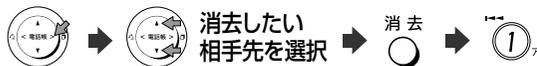
・最新のものから最大10件まで、1件につき最大40桁まで電話番号が記憶されています。
・リダイヤルには、ファクス送信先や話し中で通話できなかった相手先も含まれます。
・子機でかけた相手先に、親機からリダイヤルすることはできません。

 ➡   かけたい相手先を選択 ➡ ➡ 通話 ➡

➡

▶**らくらく電話帳（→右記）でかけたときは**：リダイヤル一覧に相手先名が表示されます。

▶**受話器をとってからかけたときは**：受話器をとったあと（リダイヤル）ボタンを押したときは、最後に電話をかけた相手先に自動的にリダイヤルします。受話器をとるかわりに[オンフック]ボタンを押しても同じです。そのときは相手先が電話に出たら受話器をとってください。

リダイヤルから電話番号を消去するには

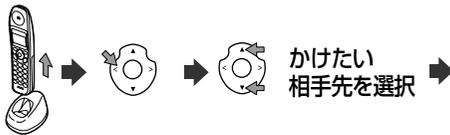
 ➡ 消去したい相手先を選択 ➡ 消去 ➡

▶**消去を中止するには**：[2]（トリケシ）を押し、[ストップ]ボタンを押してください。

子機で

・最新のものから最大10件、1件につき最大20桁まで電話番号が記憶されています。
・リダイヤルには、話し中で通話できなかった相手先も含まれます。
・親機でかけた相手先やファクスを送った相手先に、子機からリダイヤルすることはできません。

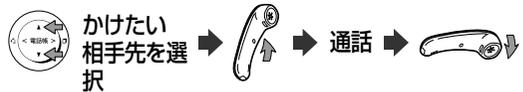
リダイヤルから電話番号を消去するには

 ➡   消去したい相手先を選択 ➡

➡ 保留/消去 表示で確認 ➡ 保留/消去 または メニュー

▶**消去を中止するには**：確認メッセージを表示中に[▲]または[▼]ボタンを押し、"チュウシ　シマスカ?"と表示されたら[メニュー]ボタンを押してください。

らくらく電話帳でかける

親機で

・あらかじめ電話帳に登録してください（→P.28）。最大197件まで登録できます。
・子機で登録した電話帳は、親機では使えません。

 かけたい相手先を選択 ➡ ➡ 通話 ➡

▶**電話帳の表示順は**：相手先名が「空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→相手先名のない電話番号」の順に表示されます。

▶**かけたい相手先をすばやく探すには**（→P.25）

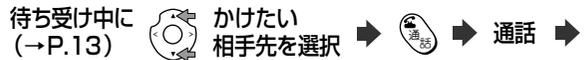
▶**受話器をとってかけるには**：
①受話器をとって[▲]ボタンまたは[▼]ボタンでかけたい相手先を選択します。
②[スタート／コピー]ボタンを押してください。

▶**電話帳が1件も登録されていないときは**："デンワバンゴウミトウロク"と表示されます。

子機で

・あらかじめ電話帳に登録してください（→P.29）。最大80件まで登録できます。
・親機で登録した電話帳は、子機の電話帳に転送しなければ使えません（電話帳転送→P.30）。

待ち受け中に（→P.13） かけたい相手先を選択 ➡ ➡ 通話 ➡

➡ または 切

▶ **電話帳の表示順は**：相手先名が「空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→相手先名のない電話番号」の順に表示されます。

▶**かけたい相手先をすばやく探すには**（→P.25）

かけたい相手先をすばやく探すには

- ディスプレイに相手先が表示されているときに、探したい相手先名の先頭の文字が含まれている行が割り当てられたダイヤルボタンを押します。

  ・該当する行に登録がない場合は、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。

  例:「サトウ」さんを探すときは[3](サ)を押す
- 同じ行に複数の相手先が登録されているときは、同じダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。

  例:[3](サ)を押すたびに「サトウ」「スズキ」…
- 相手先名が記号で始まる場合は、[0]を押すと“−”や“(”、“*”などで始まる相手先名が表示されます。

ワンタッチダイヤルでかける

あらかじめワンタッチダイヤルに登録しておくと、ボタンを押すだけで電話をかけたりファクス(親機のみ)を送ることができます。

▶ **ワンタッチダイヤルに登録する**(→P.31)

登録できる相手先は3件です。

・かけたい相手先が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押して、受話器をとってください。

アイテ:オトウサン
TEL:0612345678

通話

子機で

登録できる相手先は1件です。

待ち受け中に(→P.13) ➡

ヒロシクン ➡ 通話

電話を受ける

・ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手先の電話番号をディスプレイで確認してから電話に出ることができます。

▶ **相手先の声を大きくしたい**(受話音量→P.34)

▶ **ベルの音やメロディを変えたい**(ベルの音色/メロディを変える→P.73)

▶ **ベル音量を調節するには**(ベル音量→P.33)

「ポー・ポー…」という音が聞こえたら

- 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れたら、受話器を戻してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定しているとき(→P.76)は、メッセージが流れません。この場合は、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら

ファクスかもしれません。[スタート/コピー]ボタンを押してみてください。

子機で

・子機のベルは、親機より少し遅れて鳴り、このとき[通話]ボタンが点滅します。

・通話中に親機の[スタート/コピー]ボタンを押すと、受話口から「ピーピーピー」という音が鳴り、通話は切れます。

▶ **充電器に置いていないときは**:ベルが鳴っているときに[通話]ボタンを押すと、電話に出ることができます。

▶ **相手先の声を大きくしたい**(受話音量→P.35)

▶ **ベルの音やメロディを変えたい**(ベルの音色/メロディを変える→P.73)

▶ **ベル音量を調節するには**(ベル音量→P.34)

「ポー・ポー…」という音が聞こえたら

- 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れたら、[切]ボタンを押すか、子機を充電器に戻してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定しているとき(→P.76)は、メッセージが流れません。この場合は、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら

ファクスかもしれません。[内線]ボタンを押してから[6]を押してみてください。

保留にする

通話の途中で相手先に待ってもらう間、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手先に聞こえません。

(次ページに続く)

親機で

・10分以上保留にしたままでいると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。
・内線通話の保留はできません。
・保留中に受話器を戻しても、電話は切れません。受話器をとると、もう一度話しができます。

通話中に 保留/内線 ➡ 保留中 ➡ もう一度話すときは 保留/内線 ➡ 通話中

▶ **親機で保留にした電話を子機でとりたいとき**：受話器を戻し、子機をとって［通話］ボタンを押すと話しができます。

▶ **保留メロディを変えたい**（保留メロディを変える→P.75）

子機で

・10分以上保留にしたままでいると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。
・内線通話の保留はできません。
・保留中に子機を充電器に戻しても、電話は切れません。
・クイック通話（→P.23）が「ON」のときは子機を充電器からとると保留が解除され、「OFF」のときは子機を充電器からとって［通話］ボタンを押すと保留が解除されて、もう一度話しができます。

通話中に 保留/消去 ➡ 保留中 ➡ もう一度話すときは 保留/消去 ➡ 通話中

▶ **子機で保留にした電話を親機でとりたいとき**：子機を充電器に戻すか、［切］ボタンを押したあと親機の受話器をとると話しができます。

▶ **保留メロディを変えたい**（保留メロディを変える→P.75）

親機と子機で通話する（内線通話）

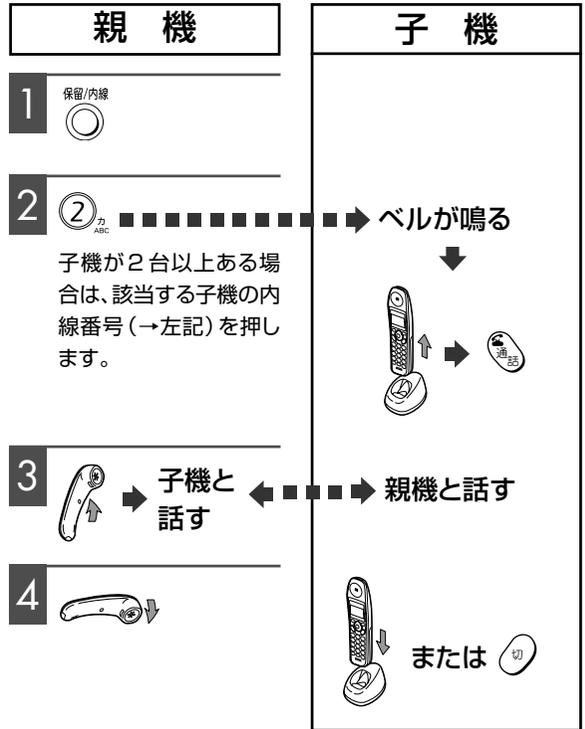
親機と子機で話しをしたり、子機どうしで話しをしたりすること（内線通話）ができます。内線通話をかけるときは、親機や子機に割り当てられた内線番号をダイヤルします。

・内線番号1：親機
・内線番号2：付属の子機（1台目）
・内線番号3：増設した子機（2台目）
・内線番号4：増設した子機（3台目）

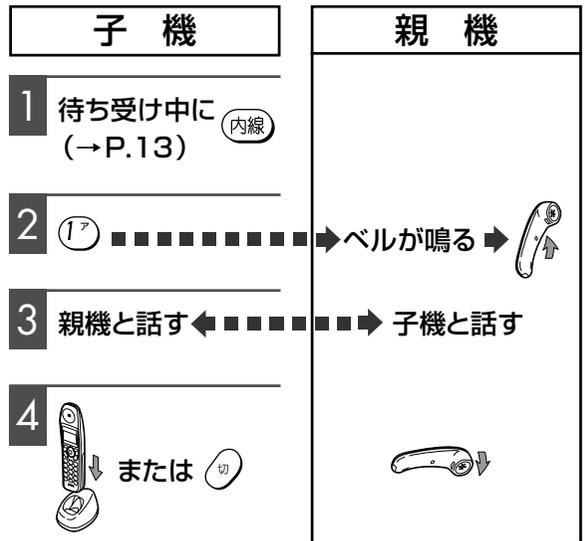
・SPX-S32Wでは、内線3も付属の子機となります。
・どちらかが外線通話中は、内線通話はできません。
・三者通話はできません。
・内線通話は保留できません。
・増設子機は別売です（子機を増設するとき→P.88）。

▶ **親機とすべての子機を一斉に呼び出すには**：子機を2台以上でお使いの場合は、内線番号のかわりに［*］を押すと、親機とすべての子機を一斉に呼び出すことができます。

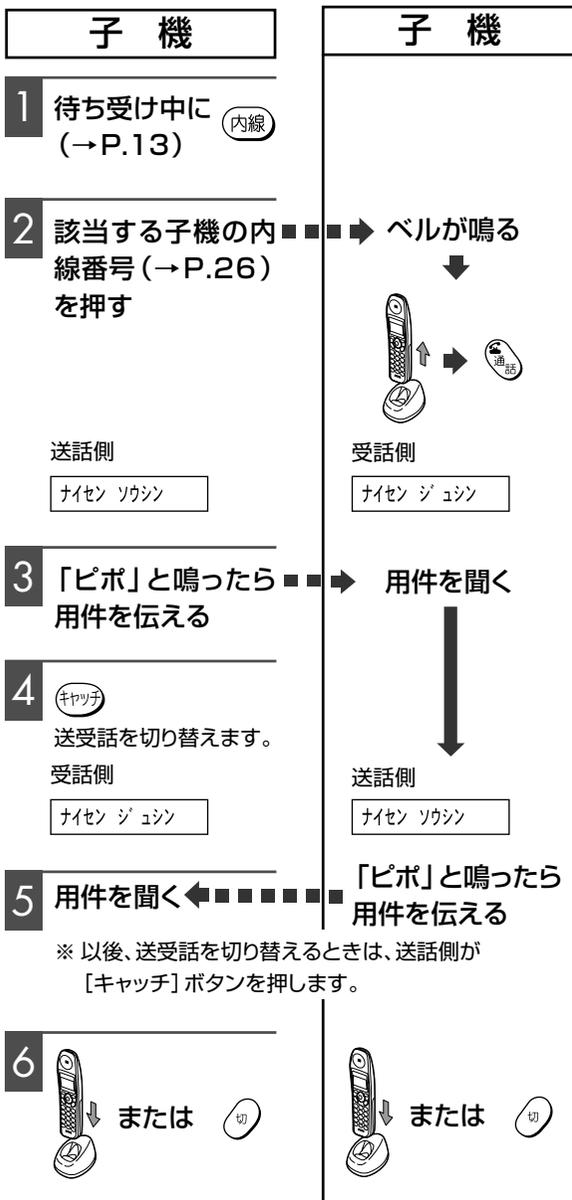
親機から子機にかける

親機	子機
1 保留/内線	
2 ②カ ABC ➡ 子機が2台以上ある場合は、該当する子機の内線番号（→左記）を押します。	ベルが鳴る
3 子機と話す ⬅➡	親機と話す
4	または 切

▶ **内線通話中に外線に出るには**：内線の呼び出し中や、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。外線に出るときは、親機は一度受話器を戻して再度受話器をとります。子機は［通話］ボタンを押してください。

子機から親機にかける

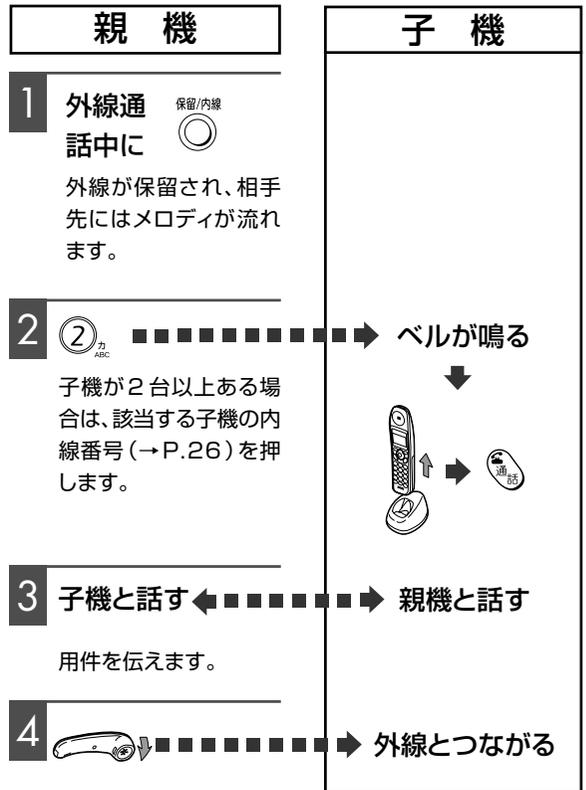
子機	親機
1 待ち受け中に 内線（→P.13）	
2 ①ア ➡	ベルが鳴る
3 親機と話す ⬅➡	子機と話す
4 または 切	

子機から子機にかける

子機を2台以上お使いの場合は、子機と子機で簡易子機間通話（トランシーバー方式）ができます。

- 相手先と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話側と受話側が入れ替わります。
- 親機または他の子機で外線通話中は、簡易子機間通話はできません。
- 三者通話はできません。
- 簡易子機間通話は保留できません。
- 送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話は自動的に終了します。

▶ **簡易子機間通話中に外線がかかってくると**：内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。

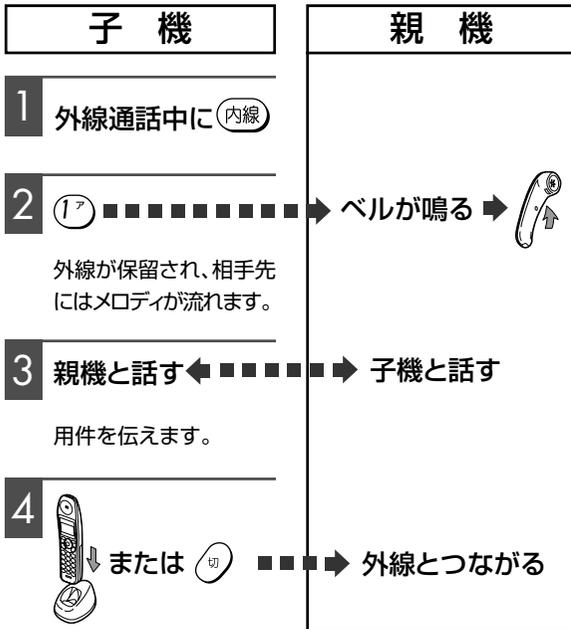
外線電話を他の電話機に転送する（外線転送）

外線電話を親機から子機に、または子機から親機や他の子機に転送することができます。

親機から子機に転送する

▶ **子機が出ないときは**：［保留／内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻ります。

▶ **子機に切り替えたい（1人で転送する）**：外線と通話中に［保留／内線］ボタンを押し、受話器を戻してから子機をとり、［通話］ボタンを押すと、子機で外線と通話ができます。

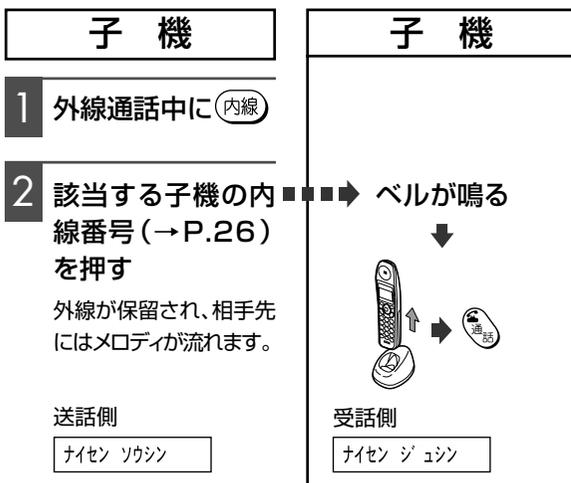
子機から親機に転送する

子　機	親　機
1 外線通話中に（内線）	
2 （1ア）■■■■■■■■■■➡	ベルが鳴る ➡
外線が保留され、相手先にはメロディが流れます。	
3 親機と話す⬅■■■■■■➡	子機と話す
用件を伝えます。	
4 または（切）■■■■➡	外線とつながる

▶ **親機が出ないときは**：［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻ります。

▶ **親機に切り替えたい（1人で転送する）**：外線と通話中に［保留／消去］ボタンを押し、子機を充電器に戻すか［切］ボタンを押したあと、親機の受話器をとると親機で外線と通話ができます。

子機から子機に転送する

子機を2台以上お使いの場合は、子機と子機で簡易子機間通話（トランシーバー方式）ができます。

・相手先と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話側と受話側が入れ替わります。
・送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、自動的に外線が受話側に転送されます。

子　機	子　機
1 外線通話中に（内線）	
2 該当する子機の内線番号（→P.26）を押す ■■■➡	ベルが鳴る ⬇ ➡（通話）
外線が保留され、相手先にはメロディが流れます。	
送話側　ﾅｲｾﾝ ｿｳｼﾝ	受話側　ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ
3 「ピポ」と鳴ったら用件を伝える ■■■■➡	用件を聞く
※ 以後、送受話を切り替えるときは、送話側が［キャッチ］ボタンを押します。	
4 または（切）■■■■➡	外線とつながる

▶ **子機が出ないときは**：［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻ります。

らくらく電話帳に登録する

よく電話やファクスを送る相手先を登録できます。

・ナンバー・ディスプレイを利用している方は、必ず市外局番から登録してください。また「＊」「#」「－」（ポーズ）は入力しないでください。

親機に登録する

登録できる件数は197件までです。相手先名は12文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

・工場出荷の状態で、speax（スピークス）インフォメーションセンターが登録されています。
アイテサキ　デンワバンゴウ
#スピークストイアワセ　0570020940
本件を含んで197件です。登録内容の変更・削除ができます（親機の電話帳の登録内容を変更する→P.29）。
お使いの製品に関するお問い合わせは→裏表紙

1 ホコリよけカバーを開けて（登録/セット）を押す　［ﾄｳﾛｸ:ﾅﾏｴ?］

▶ **電話番号だけ入力するには**：手順3に進んでください。

2 相手先の名前を入力する　［ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ］

文字入力一覧表→本書の最終ページ

▶ **文字入力を間違えたときは**：［<］ボタンまたは［>］ボタンで間違えた文字にカーソルを合わせ、［消去］ボタンを押して入力し直してください。

3 （登録/セット）を押す　［ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ / TEL:?］

4 相手先の電話番号を市外局番から入力する　［ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ / TEL:0312345678_］

▶ **登録を途中でやめるには**：［ストップ］ボタンを押します。

5 登録/セット ○ を押す

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ

▶ **続けて登録するには**：手順2から繰り返します。

6 登録を終了するときは ストップ ○ を押す

▶ **"デンワチョウ　フル"と表示されたときは**：すでに相手先が197件登録されています。不要な相手先を消去して、新しい相手先を登録してください（親機の電話帳の登録内容を消去する→右記）。

▶ **登録した内容を確認するには**（親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする→P.79）

▶ **親機の電話帳を子機で使うには**（親機の電話帳を子機に転送する（電話帳転送）→P.30）

親機の電話帳の登録内容を変更する

1 [電話帳] を押し、変更したい相手先を表示させる

2 ホコリよけカバーを開けて 登録/セット ○ を押す

1:ｼｮｳｷｮ
2:ﾍﾝｺｳ

3 ②カ ABC を押す

ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0312345678

▶ **名前を変更しないときは**：手順6に進んでください。

4 [電話帳] を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

5 名前を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録/セット ○ を押す

ﾅﾏｴ:NEC
TEL:0312345678

▶ **電話番号を変更しないときは**：手順9に進んでください。

7 [電話帳] を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録/セット ○ を押す

ﾍﾝｺｳ ｼﾏｼﾀ

・手順1の操作では、ワンタッチダイヤルで登録した相手も表示されます。その際、登録内容を変更／消去した場合、ワンタッチダイヤルの登録内容も同時に変更されます。

親機の電話帳の登録内容を消去する

1 [電話帳] を押し、変更したい相手先を表示させる

2 ホコリよけカバーを開けて 登録/セット ○ を押す

1:ｼｮｳｷｮ
2:ﾍﾝｺｳ

3 ①ア を押す

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
1:ｼﾞｯｺｳ　2:ﾄﾘｹｼ

4 ①ア を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

▶ **消去を途中でやめるには**：手順4で［2］（トリケシ）を押し、［ストップ］ボタンを押してください。

子機に登録する

登録できる件数は80件までです。相手先名は12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。

・各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。

1 待ち受け中（→P.13）に (メニュー) を押す

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ

2 (メニュー) を押す

_ﾅﾏｴ?

3 相手先の名前を入力する

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

文字入力一覧表→本書の最終ページ

▶ **文字入力を間違えたときは**：［保留／消去］ボタンを押し、入力し直してください。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると表示されているすべての文字が消えます。

4 (メニュー) を押す

_ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ?

5 相手先の電話番号を市外局番から入力する

▶ **12桁を超えて入力したときは**：スクロール表示されます。

▶ **ポーズを入れるときは**：［キャッチ］ボタンを押してください。

6 (メニュー) を押す

▶ **"デンワチョウ　フル"と表示されたときは**：すでに相手先が80件登録されています。不要な相手先を消去して、新しい相手先を登録してください（子機の電話帳の登録内容を消去する→P.30）。

（次ページに続く）

▶ **登録を途中でやめるには**：[切] ボタンを押します。

▶ **リダイヤルに記録されている電話番号を登録するときは**：待ち受け中に[<]ボタンを押し、[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して登録したいリダイヤルデータを表示させ、「子機に登録する」(→P.29)の手順2に進んでください。リダイヤルデータの登録は、子機でのみ行うことができます。

子機の電話帳の登録内容を変更する

1 で変更したい相手先を選択する

ﾆｯﾎﾟ ﾝﾃﾞﾝｷ

2 (メニュー) を押す

ﾆｯﾎﾟ ﾝﾃﾞﾝｷ

▶ **名前を変更しないときは**：手順5に進んでください。

3 で、変更したい文字を点滅させる

4 名前を入力し直す

[保留／消去] ボタンを押すと、点滅している文字が1文字消えます。[保留／消去] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

5 (メニュー) を押す

0312345678

▶ **電話番号を変更しないときは**：手順8に進んでください。

6 で、変更したい数字を点滅させる

7 番号を入力し直す

[保留／消去] ボタンを押すと、点滅している数字が1文字消えます。[保留／消去] ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての数字が消えます。

8 (メニュー) を押す

▶ **登録を途中でやめるには**：[切] ボタンを押します。

子機の電話帳の登録内容を消去する

・複数の子機をご利用の場合は、子機ごとに消去の操作を行ってください。すべての子機の登録内容を、一括して消去することはできません。

1 で、消去したい相手先を選択する

ﾆｯﾎﾟ ﾝﾃﾞﾝｷ

2 (保留消去) を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?

3 (保留消去) または (メニュー) を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

▶ **消去を途中でやめるときは**：手順2のあと[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押し、"チュウシ　シマスカ?"と表示されたら[メニュー]ボタンを押してください。

親機の電話帳を子機に転送する（電話帳転送）

親機に登録した電話帳の内容を、子機に転送することができます。電話帳の転送のしかたには次の2つがあります。

・電話帳の内容を一度に全部転送する（一斉転送）

・1件ずつ転送する（個別転送）

転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。

・子機から親機には転送できません。
・17桁以上の電話番号は転送されません。
・子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
・子機の電話帳がすでに80件登録されていると転送できません。
・子機の電話帳の登録件数が80件になった時点で転送は終了します。
・転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
・転送中、相手先の子機には"テンソウ　チュウ"と表示され、使用できません。

一度に転送する（一斉転送）

1 ホコリよけカバーを開けて メニュー を押す

ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 (2 カ ABC) を押す

ﾃﾞﾝﾜ ｷﾉｳ

3 登録/セット を押す

4 メニュー を7回押す

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾃﾝｿｳ

5 登録/セット を押す

ｲｯｾｲ ﾃﾝｿｳ

6 登録/セット を押す

ﾃﾝｿｳｻｷ ﾅｲｾﾝ2

7 登録/セット を押す

ﾃﾝｿｳ ｦ ｶｲｼｼﾏｽ
ｽﾀｰﾄ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

8 スタート/コピー を押す

「転送件数／登録件数」が数字で表示されます。

ﾅｲｾﾝ2
ﾃﾝｿｳ ﾁｭｳ　1/45

⋮

ｾｲｼﾞｮｳ ｼｭｳﾘｮｳ

9 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

待ち受け中に[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押すと、登録してある電話帳が表示されます。

▶ **"…○○　ケン　テンソウデキマセン"と表示されたときは**：転送しようとした相手先電話番号の中に17桁以上の番号が混ざっていると、その番号は転送されません。転送されなかった件数を表示します。手順9 のあと、転送されなかった番号を修正して、1 件ずつ転送（個別転送）するか、一度に転送（一斉転送）し直してください（個別転送→下記）。

▶ **"テンソウ　デキマセン"と表示されたときは**：転送しようとした相手先電話番号がすべて17桁以上の場合に表示され、番号はすべて転送されません。電話帳の内容を修正して、転送し直してください。

▶ **"デンワチョウ　フル"と表示されたときは**：すでに子機の電話帳に80件登録されています。子機の電話帳から不要な相手先を消去して、転送し直してください（子機の電話帳の登録内容を消去する→P.30）。

▶ **子機が2台以上あるときは**：手順6のあと[<]ボタンまたは[>]ボタンを押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください（→P.26）。

1 件ずつ転送する（個別転送）

1 ホコリよけカバーを開けて メニュー を押す

キノウセンタク シテクダ゛サイ

2 ②カABC を押す

デ゛ンワ キノウ

3 登録/セット を押す

4 メニュー を７回押す

デ゛ンワチョウ テンソウ

5 登録/セット を押す

イッセイ テンソウ

6 ＜電話帳＞ を押し、"コベツ　テンソウ"を表示させる

コベ゛ツ テンソウ

7 登録/セット を押す

テンソウサキ ナイセン2

8 登録/セット を押す

アイテ:ニッポ゛ンデ゛ンキ
TEL:0312345678

9 ＜電話帳＞ を押し、転送したい登録内容を表示させる

10 登録/セット を押す

テンソウ ヲ カイシシマス
スタート ヲ オシテクダ゛サイ

11 スタート/コピー を押す

ナイセン2
テンソウ チュウ
⋮
セイジ゛ョウ シュウリョウ
⋮
アイテ:ニッポ゛ンデ゛ンキ
TEL:0312345678

▶ **続けて転送するには**：手順9から繰り返してください。

12 終了するときは ストップ を押す

13 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

▶ **"テンソウ　デキマセン"と表示されたときは**：電話番号が17桁以上の相手先を転送しようとすると、手順10で[登録／セット]ボタンを押したあと、"テンソウ　デキマセン"と表示されます。

▶ **"デンワチョウ　フル"と表示されたときは**：すでに子機の電話帳に80件登録されています。子機の電話帳から不要な相手先を消去して、転送し直してください（子機の電話帳の登録内容を消去する→P.30）。

▶ **子機が2台以上あるときは**：手順7のあと[<]ボタンまたは[>]ボタンを押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください（→P.26）。

ワンタッチダイヤルに登録する

よく電話やファクスを送る相手先の名前や電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単に電話やファクス（親機のみ）ができます。親機に登録したワンタッチダイヤルは、らくらく電話帳に登録されます。

・ナンバー・ディスプレイを利用している方は、必ず市外局番から登録してください。また「＊」「#」「−」（ポーズ）は入力しないでください。

親機に登録する

登録できる相手先は3件です。相手先名は12文字、電話番号は32桁まで登録できます。

1 ₁◎ 〜 ₃◎ を押す（どれか1つ）

トウロクサレテイマセン
⋮
トウロク
1:スル　　2:シナイ

（次ページに続く）

電話

2 ① を押す

トウロク：ナマエ?

▶ **電話番号だけ入力するには**：手順4に進んでください。

3 相手先の名前を入力する

ナマエ：オトウサン

文字入力一覧表→本書の最終ページ

▶ **文字入力を間違えたときは**：[<]ボタンまたは[>]ボタンで間違えた文字にカーソルを合わせ、[消去]ボタンを押して入力し直してください。

4 ホコリよけカバーを開けて 登録/セット を押す

ナマエ：オトウサン
TEL：?

5 相手先の電話番号を市外局番から入力する

ナマエ：オトウサン
TEL：0612345678_

▶ **登録を途中でやめるには**：[ストップ]ボタンを押してください。

6 登録/セット を押す

オトウサン
トウロク シマシタ

親機のワンタッチダイヤルの登録内容を変更する

1 変更したいワンタッチダイヤルボタンを押す

アイテ：オトウサン
TEL：0612345678

2 ホコリよけカバーを開けて 登録/セット を押す

1：ショウキョ
2：ヘンコウ

3 ② を押す

ナマエ：オトウサン
TEL：0612345678

▶ **名前を変更しないときは**：手順6に進んでください。

4 を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

5 名前を入力し直す

[消去]ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録/セット を押す

ナマエ：オカアサン
TEL：0612345678

▶ **電話番号を変更しないときは**：手順9に進んでください。

7 を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す

[消去]ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録/セット を押す

ヘンコウ シマシタ

▶ **登録した内容を消去するには**： 手順3で[1](ショウキョ)を押すと"1：ジッコウ 2：トリケシ"と表示されますので、[1]を押してください。

子機に登録する

登録できる相手先は1件です。相手先名は12文字まで、電話番号は最大16桁まで登録できます。

・親機では登録できません。

1 待ち受け中(→P.13)に メニュー を押す

2 で、「ワンタッチダイヤル」を表示させる

ワンタッチダ゛イヤル

3 メニュー を押す

_ナマエ?

▶ **電話番号だけ入力するには**：手順5に進んでください。

4 相手先の名前を入力する

ニッポ゜ンデ゛ンキ

文字入力一覧表→本書の最終ページ

▶ **文字入力を間違えたときは**：[保留／消去]ボタンを押し、入力し直してください。[保留／消去]ボタンを2秒以上押し続けると表示されているすべての文字が消えます。

5 メニュー を押す

_デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ?

6 相手先の電話番号を市外局番から入力する

▶ **12桁を超えて入力したときは**：スクロール表示されます。

▶ **ポーズを入れるときは**：[キャッチ]ボタンを押してください。

7 メニュー を押す

▶ **登録内容を変更・削除するには**：登録と同じ手順で行ってください。手順3と手順5で、すでに登録されている相手先の名前と電話番号が表示されるので、[保留／消去]ボタンを押し、それぞれ入力し直して手順を進めてください。それぞれを空白にすれば、削除したことになります。

通話中の会話を録音する(通話録音)

親機で通話中の会話を録音することができます。メモのかわりにご利用ください。また、録音内容を相手先に聞かせることもできます。

通話録音をする

- 子機では通話録音できません。
- 内線通話は、通話録音できません。
- 録音時間の残りが約20秒以内のときは、通話録音できません。
- 通話録音の1件は留守電の用件1件分としてカウントされます。留守電の用件と合わせた合計が約15分または最大30件まで録音できます。
- 自分で録音した応答メッセージや受信したファクスの内容が残っていると、録音できる時間は少なくなります。
- 録音開始時の「ピー」という音は、相手先にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。

▶**通話を保留したいときは**：通話録音中は、保留できないため、通話録音を終了してから保留にしてください。

録音の途中でメモリがいっぱいになったときは

録音の途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」というメッセージが流れ、画面に"メモリガ　イッパイデス"と表示されます。メモリがいっぱいになると、録音は中断されます。

通話録音した会話を聞く／不要な用件を消去するには

通話録音した内容は、留守番電話に録音した用件と同じ操作で再生／消去することができます。

▶**録音された用件を聞く**：親機で（→P.47）子機で（→P.47）

▶**不要な用件を消去する**：親機で（→P.47）子機で（→P.48）

通話中の相手先に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手先に聞かせることができます。このとき、留守番電話に録音されている用件があると、その内容も再生されます。

- 子機では、録音内容を相手先に聞かせることはできません。

▶**再生中の操作**（→P.47）

音量を調整する

操作後、目的の音量が鳴った時点で設定されます。外線と内線に共通の設定です。音量ボタンを操作する前にホコリよけカバーを開けてください。

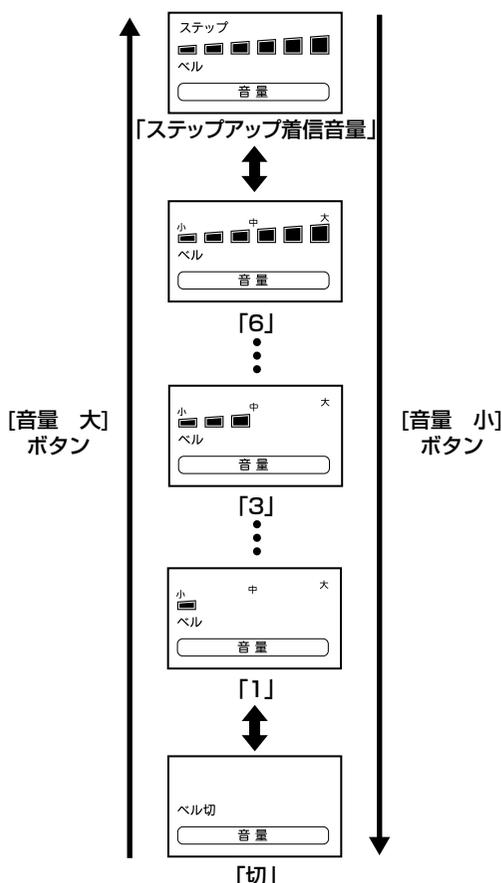
ベル音量

- ベル音量を調節すると、外線着信時と内線呼び出し時のベル音量が同時に同じ音量に設定されます。

待ち受け中に操作します。

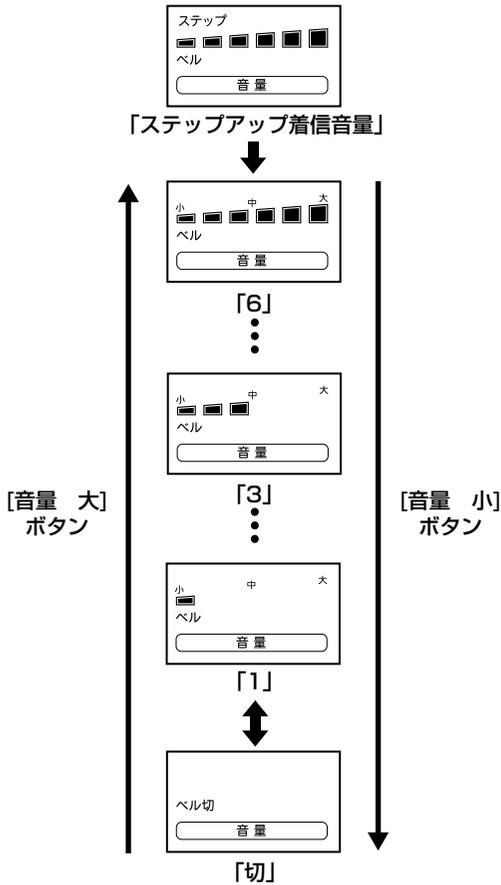
「切」、「1」～「6」、「ステップアップ着信音量」の8種類から選ぶことができます。

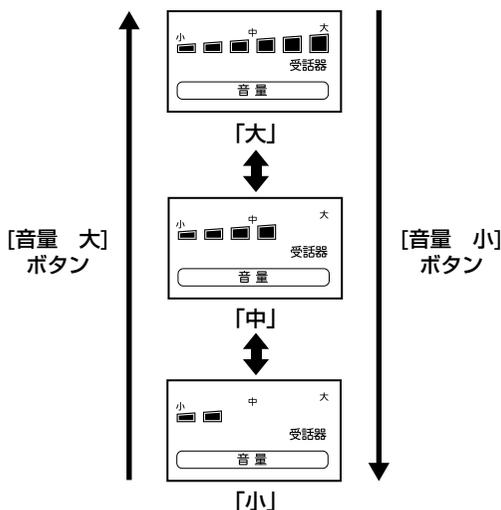
［音量　大］ボタンまたは［音量　小］ボタンを1回押すと、現在のベル音量で鳴り（「切」に設定してあるときは鳴りません）、もう一度［音量　大］ボタンまたは［音量　小］ボタンを押すと切り替わり、「切」を含めて7段階で調整できます。

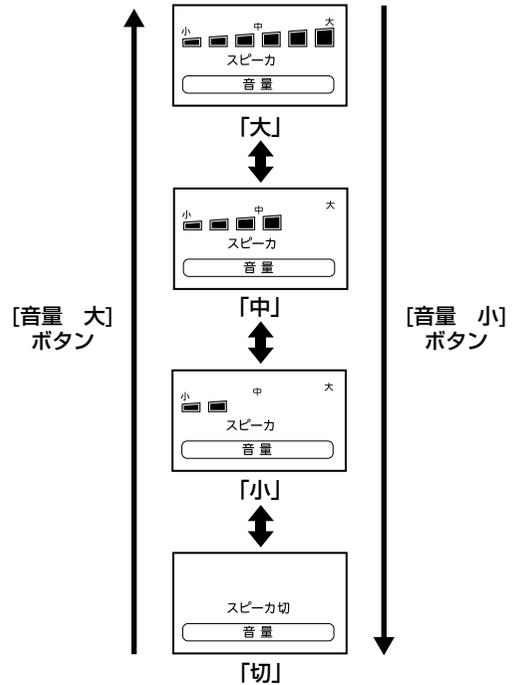
ステップアップ着信音量を選ぶと、ベル音量が1から6の大きさにむかってだんだん大きくなります。

▶**待ち受け中のベル音量調整の音を止めたいときは**：［ストップ］ボタンを押します。

着信中に音量を調整するときは

ステップアップ着信音量を選んでいたときには、[音量　大] ボタンを押すと今鳴っている音量から一段階上げ、[音量　小] ボタンを押すと一段階下げます。次回の着信時にはその段階の音量で鳴ります。

着信中にはステップアップ着信音量に変更できません。

受話音量

通話中に操作します。

モニタスピーカと留守電の再生音量

[オンフック] ボタンを押し、「ツー」という音が聞こえている状態、または用件再生中などに操作します。

子機で

ベル音量

待ち受け中に操作します。

[>] ボタンを軽く2秒以上押すたびに「ピッ」または「ピー」(OFFのとき) と音がして、次の順番で音量が変わります。

受話音量

［通話］ボタンを押し、「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。

［>］ボタンを押すたびに、次の順番で音量が変わります。

▶ **通話中に受話音量を調整するときは**：通話状態のまま［>］ボタンを押すと、押すたびに音量が変わります。

▶ **音量を「特大」にしても音が小さいときは**：受話音量を全体的に大きくしてください（子機の受話音量を全体的に大きくする→P.75）。

トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご利用の方だけお読みください。

テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。

・この操作は、一時的にトーン（プッシュ）信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。

ダイヤルボタンを押す（トーン信号で送られる）

ファクス／コピーの前に

読み取れる原稿のサイズと厚さ

1枚だけセットする場合と2枚以上セットする場合で、読み取れる原稿の長さと厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合	2枚以上セットする場合
最大	257（幅）×1000（長さ）mm＊	257（幅）×364（長さ）mm（B4サイズ）
最小	128（幅）×128（長さ）mm	128（幅）×128（長さ）mm
厚さ	0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

＊ シングルコピーの場合はA4サイズ、マルチコピーの場合はB4サイズまでです（コピーする→P.41）。

この取扱説明書の本ページの厚さが0.08mmです。

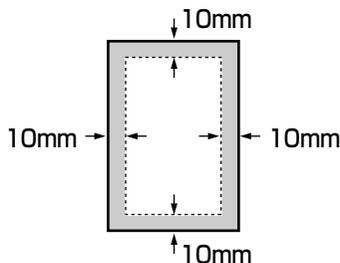
そのままでは読み取れない原稿

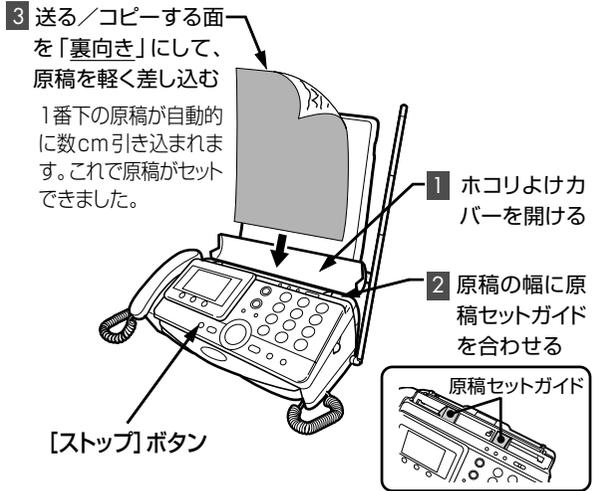
次のような原稿は、あらかじめ普通紙に複写機でコピーしておくか、またはハンドスキャナを使ってください（ハンドスキャナでコピーする→P.43）。

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○＊
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○
感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○
ノリやテープで貼り合せた紙	○	×
小さすぎる紙（128×128mm未満）	○	○＊
薄すぎる紙（0.05mm未満）	○	○＊
厚すぎる紙（0.15mmを超える紙）	○	○

＊ 白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

読み取れる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。

原稿セットのしかた

・記録した文書が記録紙排出口に残っている場合は、取り除いてから原稿をセットしてください。
・クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
・インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
・幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。原稿がつまったり、送信漏れが出たりする原因となります。

1 ホコリよけカバーを開ける

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる

一度にセットできる原稿枚数は、5枚までです。

原稿セットガイドは、原稿の幅にきちんと合わせてください。原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。

3 送る面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

1番下の原稿が自動的に数cm引き込まれます。これで原稿がセットできました。

ファクスを送る（→P.37）

コピーする（→P.41）

▶ **原稿を複数枚セットすると**：下から順に送られます。

▶ **セットした原稿を取り除くには**：[ストップ] ボタンを押すと、原稿が排出されます。無理に原稿を引き抜くと、原稿読み取り部に傷がつくので注意してください。

▶ **6枚以上の原稿を送る／コピーするときは**：何回かに分けてください。コピーやファクス送信中に原稿を追加すると、原稿がつまったり、送信漏れが出たりする原因となります。

▶ **コピーしてはいけないもの**：個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります（→P.41）。

写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクス／コピーすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

＜画質モードの決めかた＞

下表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い上げのとき:**フツウ**

画質モード	原稿の状態
フツウ（普通）	文字がこのくらいの大きさ
チイサイ（小さい）	文字がこのくらいの大きさのとき
コマカイ（細かい）	文字がこのくらいの大きさのとき
シャシン（写真） 64階調ハーフトーン	写真のとき

- 「コマカイ」「シャシン」に設定すると、「フツウ」や「チイサイ」に比べ、送信に時間がかかります。
- 黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信に時間がかかります。
- 色地の原稿を送るときは「フツウ」または「チイサイ」に設定してください。「コマカイ」「シャシン」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。
- 「コマカイ」に設定した場合、相手先の機種によっては「チイサイ」で送信することがあります。
- 「シャシン」に設定したとき、白い部分にゴマ模様の記録が出たら、読み取り濃度を薄くしてみてください（読み取り濃度→P.76）。
- 画質モードによってはモーター音が大きくなることがありますが故障ではありません。

画質モードを選ぶ

- コピーのとき（→P.41）は「フツウ」に設定しても「チイサイ」でコピーされます。

1 原稿をセットする

フツウ

「原稿セットのしかた」（→P.36）
現在の画質モードが表示されます。

2 画質 を繰り返し押す

押すごとに画面の表示が変わります。

→ フツウ → チイサイ → コマカイ → シャシン

原稿の色にご注意

- 青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります（ブルーブラックや紺色に近い青の場合は問題ありません）。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。
- 赤は、黒と同様に鮮明に読み取ることができます。ただし、赤などの濃い地色の紙に黒で書かれた原稿は、地色と文字色がいずれも黒くなってしまうため、鮮明にファクス／コピーできません。

▶**色のついた原稿や文字のうすい原稿のときは**（読み取り濃度→P.76）

ファクスを送る

受話器をとらずに送ったり、相手先と話してから送ったりできます。

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- 相手先がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送信すると、A4サイズに縮小されて送信されます。
- 相手先の機種によっては送信時間が長くかかることがあります。

ファクスを自動で送る（自動送信）

受話器をとらずにファクスを送ります。

原稿セット（→P.36） ➡ 画質 で画質モードを選ぶ ➡ 相手先の電話番号 ➡ スタート/コピー ➡ 送信 ➡ 送信完了

▶**番号をダイヤルするかわりに**：ワンタッチダイヤル（→P.25）、リダイヤル（→P.24）、らくらく電話帳（→P.24）、ナンバー･ディスプレイ契約時には着信データ（コールバック→P.62）も使うことができます。

▶**送信を途中でやめるときは**：［ストップ］ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。

▶**自分の名前や電話番号などを相手先の記録紙にプリントする**（発信元記録→P.70）

▶**海外にファクスを送るときは**（海外にファクスを送るとき→P.77）

▶**ファクスの送信結果、受信結果の一覧を出力する**（通信管理レポートをプリントする→P.81）

▶**"サイハッコ　マチ　1カイメ" と表示された**：相手先が話し中などで送信できなかったときは、1分間隔で5回までかけ直します（オートリダイヤル）。それでも送信できないときは、不達レポートがプリントされます（送信できなかったときは→P.38）。

相手先と話してから送る（手動送信）

相手先に電話をかけて話してから、そのままファクスを送ることができます。

・相手先から電話がかかってきた場合でも、話しをしたあとにそのままこちらからファクスを送ることができます。

原稿セット（→P.36）➡ 電話をかける ➡ 通話 ➡

➡ 相手先が受信操作 ➡ スタート/コピー ➡

▶**相手先が電話に出ずに「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえたら**：相手先のファクスが自動受信になっているので、そのまま［スタート／コピー］ボタンを押せば送信できます。

▶**相手先が受信操作する前に［スタート／コピー］ボタンを押したときは**：相手先が受信操作をすれば送信できます。

▶**送信後、続けて話したいときは**：受話器を戻さないでください（相手先も）。

▶**送信を途中でやめるときは**：［ストップ］ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。

送信できなかったときは

ファクスを正常に送信できなかったときは、自動で不達レポートがプリントされます。プリントされないように設定することもできます（不達レポートを出力する→P.77）。

・送信の中断操作をしたときは、不達レポートはプリントされません。通信管理レポートでご確認ください（通信管理レポートをプリントする→P.81）。

<プリント例>

フタツ　レポート

2004. 8. 20　14:33

ニッポンデンキ

ツウシン カイシ ニチジ	ツウシン ジカン	アイテサキ	モード	マイスウ	ツウシン ケッカ
8. 20　14:33		カトウ	G3	0	ハナシチュウ

<不達レポートの通信結果の意味>

「ハナシチュウ」
・相手先が通話中である

「ヨビダシ」
・相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

「ムオウトウ」
・相手先が受信できない状態になっている
・相手先が電話に出ない
・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

「××（2桁の英数字）」
・エラーコードが表示されたとき（→P.89）

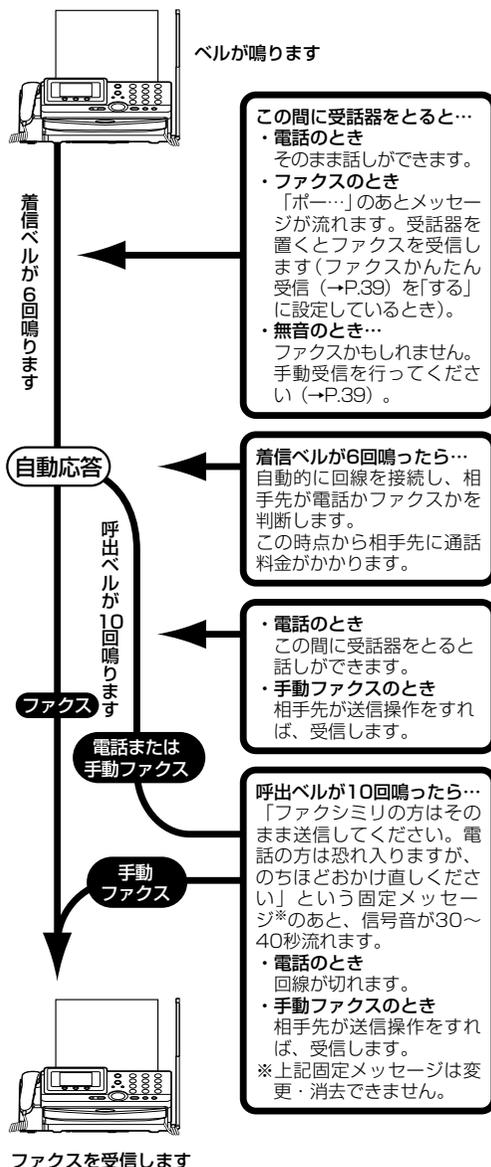
ファクスを受ける

ファクスは、着信モードの設定によって自動で受けたり、通話のあとに手動で受けたりすることができます。

・記録した文書は、記録紙排出口に10枚以上ためないでください。また、記録紙カバーに、シールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。

自動で受ける

お買い上げ時の着信モードの設定は「電話／ファクス切替」になっています。この場合は、本機が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは、自動的に受信します。電話のときは、呼出ベルが鳴ります。

<電話／ファクス自動切替のしくみ>

・電話がつながると、相手先では受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手先に通話料金がかかります。

▶ **「留守」を設定したときには**：電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なります（→P.45）。

▶ **着信ベル回数を変える**（→P.74）

▶ **呼出ベル回数を変える**（→P.74）

▶ **ベルを鳴らさずに受信するには**：着信ベル回数を、0回に設定してください（→P.74）。

▶ **ファクスの送信結果、受信結果の一覧を出力する**（通信管理レポートをプリントする→P.81）

自動切替をやめるには（着信モード→P.73）

着信モードの設定を、いつも電話で受ける（電話専用）／いつもファクスで受ける（ファクス専用）に変更することができます。

・電話／ファクス切替

設定回数着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。

・電話専用

ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料が相手先にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使うことができます。ファクスを受信するときは手動またはファクスかんたん受信で行ってください。

・ファクス専用

設定回数着信ベルが鳴ったあと自動的にファクスを受信します。かかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。ただし、着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手先が電話ならば話しができます。

メモリオーバーによる通信異常がひんぱんに起こるときは

本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。

▶ **不要な用件を消去する**（→P.47）

▶ **メモリ受信を「しない」に設定する**（→P.78）

▶ **不要なメモリ文書を消去する**（→P.78）

ファクスかんたん受信とは

電話に出たとき、相手先がファクスだった場合は「ポー・ポー…」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。

メッセージに従って受話器を戻すと、自動的にファクスを受信できる機能です。メッセージが流れる前に受話器を戻すと、回線が切れて受信できません。メッセージが流れてから受話器を戻してください。

ただし、以下の場合には、ファクスかんたん受信ができません。手動で受信してください。

・相手先が無音のとき

・こちらから電話をかけたとき

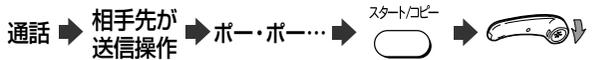
▶ **ファクスかんたん受信**（→P.76）

手動で受ける（手動受信）

ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときなどは、手動で受信してください。

<ファクスがかかってきたとき>

<話しをしてから受信するとき>

通話 ➡ 相手先が送信操作 ➡ ポー・ポー… ➡ スタート/コピー ➡

▶ **受信後、続けて話したいときは**：受話器を戻さないでください（相手先も）。

子機で

・受信後、続けて話しをすることはできません。

<ファクスがかかってきたとき>

<話しをしてから受信するとき>

通話 ➡ 相手先が送信操作 ➡ ポー・ポー… ➡ 内線 ➡

▶ **「ポー・ポー…」という音が聞こえないときは**：相手先の機種によっては聞こえないことがあります。上記の「ファクスがかかってきたとき」の操作を試してみてください。

▶ **「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れるときは**：「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ファクスかんたん受信がはたらいているので、受話器または子機を戻すと自動的に受信します。お買い上げ時は、ファクスかんたん受信は「する」に設定されています（ファクスかんたん受信→P.76）。

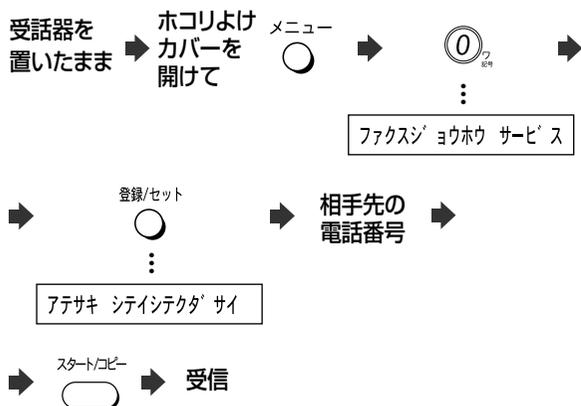
▶ **相手先が送信する前に受信操作をしたときは**：相手先が送信操作をすれば、受信できます。

ファクス情報サービスを利用する

いろいろな情報をファクスで取り寄せることができます。

- ・ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

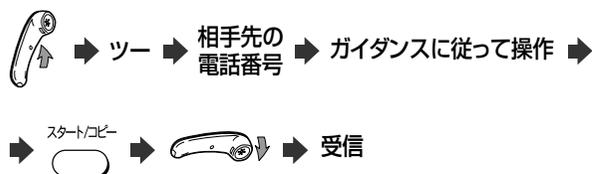
＜提供元がポーリング方式のとき＞

ポーリング方式とは、相手先にあらかじめ用意されている原稿を、受信側から操作して受信する利用方法です。

＜提供元がガイダンス方式のとき＞

ガイダンス方式には、次の２つの利用方法があります。

- ・ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法
- ・ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法

利用するファクス情報サービスに合わせて入力してください。

- ・ダイヤル回線を使っているときに、情報番号などをトーン（プッシュ）信号で入力する必要があるときは、トーン信号に切り替えてください（→ P.35）。

▶ **番号を間違えたら**：一度受話器を戻し、もう一度ダイヤルしてください。

送られてきた文書をメモリが記憶する（メモリ代行受信）

こんなときにメモリがかわって受信します。

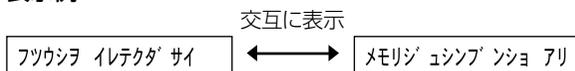
- 記録紙がセットされていない
- インクフィルムがない
- サーマルヘッドが過熱した
- 記録紙がつまっている
- 操作パネルが開いている

- ・メモリの残りが少ないと、文書を記憶できないことがあります。
- ・メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信できません。不要な用件などを消してください（不要な用件を消去する→ P.47）。
- ・メモリ受信中にメモリがいっぱいになってしまった場合、通信異常となります。ただし、メモリに記憶することができたページまでは、プリントすることができます。
- ・ファクスを受信するとき、送られてきた原稿が１枚でも、原稿の長さによっては、２枚以上の記録紙に分割してプリントされることがあります。このとき、記録紙が１枚しかセットされていない場合、プリントを終了することができず、さらに記録紙を１枚だけ補充しても、また１枚目からプリントされてしまいます。ファクス受信した文書をプリントする場合は、常に多めに記録紙をセットしておいてください。
- ・メモリ受信の設定が「しない」の場合は、メモリ代行受信は行われません（→ P.78）。

メモリ代行受信されると、ディスプレイには下記のように表示されます。

表示例

交互に表示

ﾌﾂｳｼｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ ⟷ ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりを直すと、自動的にプリントされます。

記憶できる文書量

相手先が画質モードを「普通」で送信したとき、A4（700文字程度）の原稿を約25枚（最大10文書）記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

コピーする

本機を使って、簡単にコピーをとることができます。本機でとったコピーで、相手先に送るファクスの状態を確認することができます。

・一度にコピーできる部数は 1 ～ 20 部です。
・コピー中に記録紙カバーや記録紙カセットを取り外さないでください。記録紙づまりの原因となります。
・原稿は自動的に排出されますので、無理に引き抜かないでください。

シングルコピー

1 原稿をセットする

「原稿セットのしかた」（→P.36）

2 ホコリよけカバーを開けて 画質 を押し、画質モードを選ぶ

3 スタート/コピー を押す

`ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ　　＝ --`

この状態で約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します。

4 もう一度 スタート/コピー を押す

`ｺﾋﾟｰﾁｭｳ　　　P01`

▶ **B4→A4に縮小したい**：マルチコピーを使ってコピーしてください（→下記）。

マルチコピー

1 原稿をセットする

「原稿セットのしかた」（→P.36）

2 ホコリよけカバーを開けて 画質 を押し、画質モードを選ぶ

3 スタート/コピー を押す

`ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ　　＝ --`

4 ダイヤルボタンを押し、コピー部数を入力する

`ｺﾋﾟｰﾌﾞｽｳ　　＝ 03`

コピー部数

1～20部まで入力できます。
入力後、約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します。

5 スタート/コピー を押す

`ｹﾞﾝｺｳﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ P01`

⋮

`ｺﾋﾟｰﾁｭｳ　　　P01`

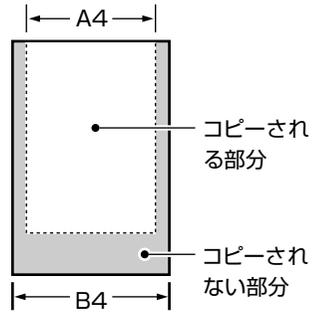
▶ **コピーを途中でやめるには**：［ストップ］ボタンを押してください。

▶ **拡大／縮小コピーするときは**：ハンドスキャナを使ってコピーしてください（→P.43）。

▶ **A4／B4の定型を超える長さの原稿のときは**：定型を超えた部分はコピーされません。原稿が縦方向に長い場合は、ハンドスキャナを使ってコピーしてください（ハンドスキャナでコピーする→P.43）。

B4の原稿をコピーすると

<シングルコピーのとき>

右図の部分がコピーされます（B4→A4の縮小は行われません）。

<マルチコピーのとき>

B4→A4に縮小されてコピーされます。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

・貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

ハンドスキャナ

ハンドスキャナの取り取り外し／取り付け

・使用したあとは、必ず親機に戻してください。ハンドスキャナは、親機の原稿読み取り用として使います。
・ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。
・原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください（→P.86）。

取り外す

1 ハンドスキャナを下に押しながら手前に引き抜く

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

取り付ける

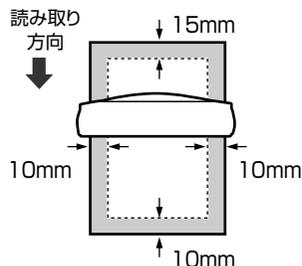
・ハンドスキャナのコードをはさまないようにしてください。断線の原因になります。

1 原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込む

ハンドスキャナの使いかた

本などのとじられた原稿や、親機にセットできない原稿（→P.36）などをコピーしたり送信したりできます。

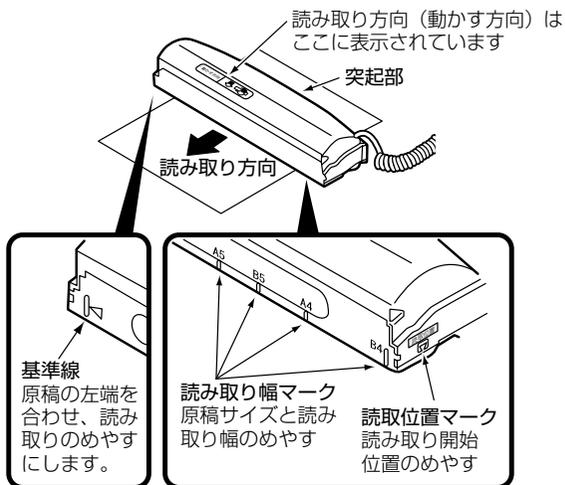
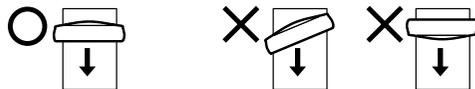
読み取れる原稿サイズ

読み取り幅･位置マークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、▭部分は読み取れないことがあります。

幅	B4サイズまで*
長さ	コピー　：記録紙がなくなるまで ファクス：メモリがいっぱいになるまで

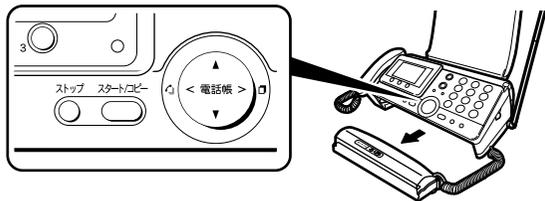
* B4→A4縮小時の読み取り可能な最大サイズです。等倍の場合はA4サイズまでです。

・次のような原稿には使わないでください。きれいに読み取れなかったり、本機が故障する原因になります。
○ 表面に凹凸のある原稿
○ コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
○ 表面が汚れている原稿
○ インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
・コピーしてはいけないものがあります（→P.41）。
・読み取り濃度を設定するとき（→P.76）は、ハンドスキャナを取り外す前に設定してください。

ハンドスキャナの置きかた／動かしかた

・ハンドスキャナを読み取り方向と逆に動かした場合、反転して印刷されますが、故障ではありません。
・ハンドスキャナは、斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。読み取り方向に、まっすぐ動かしてください。

▶ **下が透けて見える原稿を読み取りたいときは**：フィルムやトレーシングペーパーなどは、白い紙の上に置いてから読み取ってください。

ハンドスキャナでコピーする

・光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンドスキャナの原稿読み取り面を顔に向けないでください。

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大／縮小することもできます（→P.44）。

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

3 ホコリよけカバーを開けて、原稿に合わせて画質を選ぶ

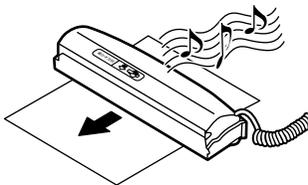
画質 を押すごとに切り替わります。

チイサイ ◀――▶ シャシン

4 スタート/コピー を押す

コピ゚ーチュウ　A4→A4

5 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます（読み取り時のメロディを流す／止める→P.44）。

▶ **ハンドスキャナを30秒以上動かさないと**：読み取りを終了します。

▶ **メロディが流れているときは**：メロディの速さに関係なく正常に読み取ります。

▶ **「ピッピッ…」と音がするときは**：ハンドスキャナを動かす速度が速すぎて正常に読み取れていません。

6 読み取りが終わったら ストップ を押す

▶ **［ストップ］ボタンを押さないままハンドスキャナを取り付けると**：ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿とは違うものをプリントする場合があります。必ず［ストップ］ボタンを押してください。

7 プリントが終わるまで待つ

ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

8 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

ブザーが鳴り“メモリ　フル”と表示されたときは

しばらくするとコピーが可能になります。

A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合

プリントが記録紙1ページに収まらない場合、次のページにプリントされます。
ハンドスキャナでファクスを送る（→下記）ときも同様です。

ハンドスキャナでファクスを送る

・電話で話したあとに、続けてハンドスキャナで読み取った原稿を送ることはできません。
・送信が終わると、メモリの内容は消去されます。
・送信中に通信異常が起きた場合、メモリの内容は消去されます。このときは、最初からやり直してください。
・光源自体は無害ですが、強い光が出ますのでハンドスキャナの原稿読み取り面を顔に向けないでください。

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大／縮小することもできます（→P.44）。

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

3 ホコリよけカバーを開けて、原稿に合わせて画質を選ぶ

画質 を押すごとに切り替わります。

チイサイ ◀――▶ シャシン

4 相手先の番号をダイヤルする

・受話器を置いたままダイヤルします。
・ワンタッチダイヤル、らくらく電話帳を使って相手先を指定することもできます。
（ワンタッチダイヤルでかける→P.25）
（らくらく電話帳でかける→P.24）

5 スタート/コピー を押す

コピ゚ーチュウ　A4→A4

6 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。

▶ **ハンドスキャナを30秒以上動かさないと**：読み取りを終了します。

▶ **ブザーが鳴り“メモリ　フル”と表示されたときは**：読み取りを終了します。

▶ **「ピッピッ…」と音がするときは**：ハンドスキャナを動かす速度が速すぎて正常に読み取れていません。

（次ページに続く）

7 読み取りが終わったら ストップ を押す

8 プリントが終わるまで待つ

9 プリント内容を確認する

1:ソウシン 2:トリケシ

10 送信してよければ 1 を押す

▶ **読み取り直すには**：［2］(トリケシ)を押し"ショウキョシマシタ"→"ヨミトリマチ　A4 → A4 "と表示されたら、手順5からやり直してください。

▶ **送信をやめるには**：［ストップ］ボタンを押してください。

11 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

送信中に取り付けても中断はされません。

B4サイズの原稿を送りたいときは

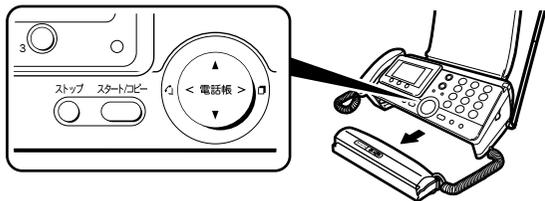
相手先がB4 の用紙を使っていても、A4 サイズに縮小して送られます。B4サイズのままで送りたいときは、あらかじめ複写機でコピーしておき、親機にセットして送信してください。

"サイハッコ　マチ　1カイメ"と表示されたときは

オートリダイヤルがはたらき、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます(送信できなかったときは→P.38)。

原稿を拡大／縮小する

お買い上げのとき：A4→A4

ハンドスキャナで送信やコピーをするときは、原稿を拡大または縮小することができます。

1 ハンドスキャナを取り外す

2 ホコリよけカバーを開けて メニュー を押す

ヨミトリキロクハバ A4→A4
トウバイ :100%

3 を押し、倍率を選ぶ

等倍 100%：A4 → A4
拡大 115%：B5 → A4
拡大 141%：A5 → A4
縮小　82%：B4 → A4

4 登録/セット を押す

5 ファクス、またはコピーする

(ハンドスキャナでファクスを送る→P.43)
(ハンドスキャナでコピーする→P.43)

6 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

読み取り時のメロディを流す／止める

お買い上げのとき：流す

原稿を読み取るときにメロディを流したり、止めたりすることができます。

1 ハンドスキャナを取り外す

2 ホコリよけカバーを開けて メニュー を2回押す

メロディハンドスキャナ ○×

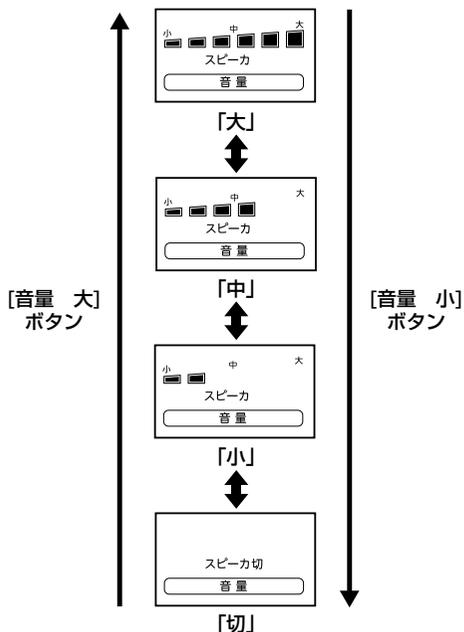
3 を押し、カーソルを合わせる

○×：メロディを流す
○×：メロディを流さない

4 登録/セット を押す

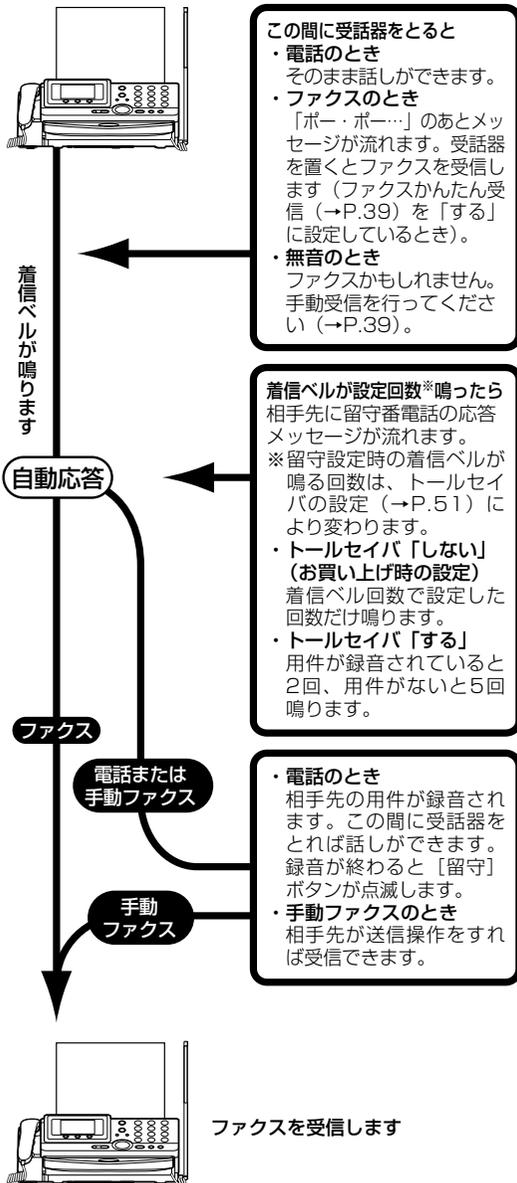
5 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

メロディの音量を調整したいときは

メロディが流れているときに［音量］ボタンを押します。

メロディを「流す」にしたのに鳴らないときは

モニタスピーカ音量を「切」にすると、メロディ音も鳴りません(→上図)。

「留守」を設定すると

外出していて電話に出られないときなどに、相手先の用件を録音することができます。相手先がファクスのときは自動で受信できます。

＜着信ベルの鳴る回数は＞

トールセイバの設定（→P.51）によって変わります。

・トールセイバ「する」のとき

用件が録音されていると２回鳴って留守機能がはたらきます。用件が録音されていないと5回鳴って留守機能がはたらきます。

・トールセイバ「しない」のとき

録音されている用件の有無にかかわらず、着信ベル回数（→P.74）で設定した回数だけ鳴ります。

着信ベル回数を0回に設定していると、着信ベルは鳴りません。また着信モード（→P.73）を「電話専用」にして、トールセイバを「しない」に設定している場合は、着信ベルが５回鳴って留守機能がはたらきます。

▶**外出先から「留守」を設定したり、用件を聞くには**（外線リモート→P.49）

▶**用件が録音されたら外出先に転送するには**（用件転送→P.50）

▶**録音できる時間は**：1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます。また合計15分を超えない限り最大30件まで録音可能です。この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます。

▶**相手先を確認してから電話に出るには（居留守モニタ）**：留守設定中に電話がかかってくると、相手先の声がモニタスピーカから聞こえるので、相手先を確認してから受話器をとって電話に出ることができます。

本機の固定応答メッセージの種類は

流れる応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。

・通常

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」

※通常の応答メッセージは、自分で録音した応答メッセージに変えることができます（→P.48）。

以下の応答メッセージは、固定応答メッセージのため、変更、消去することはできません。

・用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいのとき）

「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

・用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき

「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

・用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）

「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

留守番電話を使う

「留守」を設定する

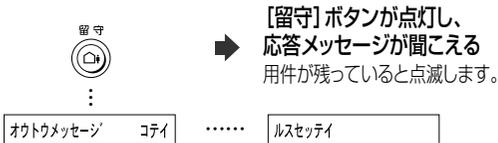
親機で

・「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、「留守」を設定できません。「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、すぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。
また、メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。

不要な用件を消去する（→ P.47）
メモリ文書消去（→ P.78）

留守

➡ ［留守］ボタンが点灯し、応答メッセージが聞こえる
用件が残っていると点滅します。

オウトウメッセージ　コテイ　……　ルスセッテイ

▶ **モニタスピーカ音量を調節するには**（モニタスピーカと留守電の再生音量→P.34）：応答メッセージが流れている間に調節してください。

▶ **応答メッセージを選択するには**：本機の固定応答メッセージ、自分で録音した2種類の応答メッセージ（→P.48）の中から選択できます。応答メッセージが流れている間に［<］ボタンまたは［>］ボタンを押して、応答メッセージを選択してください。

▶ **電話帳に登録している相手先にだけ自作の応答メッセージを流したい**：ナンバー・ディスプレイを利用している場合は設定できます（応答メッセージ選択→P.56）。

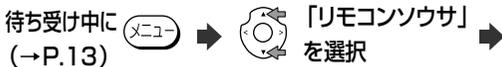
［留守］ボタンを押しても応答メッセージが聞こえないときは

・モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。モニタスピーカ音量を調節してください（モニタスピーカ音量→P.34、上記）。
・自作の応答メッセージが正しく録音されていないことが考えられます。もう一度録音し直してください（→P.48）。
・着信中に［留守］ボタンを押した場合は留守設定がされますが、モニタスピーカからはメッセージが聞こえません。

子機で

・子機で「留守」を設定するときは、応答メッセージを選択することはできません。

待ち受け中に（→P.13） ➡ 「リモコンソウサ」を選択 ➡

➡ メニュー ➡ 20秒以内に ➡ 「留守設定をしました」 ➡

▶ **［7］ボタンを押す前に「ピーピーピー」と音がして待ち受け中に戻るときは**：親機が使用中です。しばらくしてから操作し直してください。

「留守」を解除する

親機で

・録音された件数と用件が自動で再生されます。
・用件が１件再生されるごとに、録音された日時が音声で流れます（タイムスタンプ）。
・用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは［ストップ］ボタンを押してください。

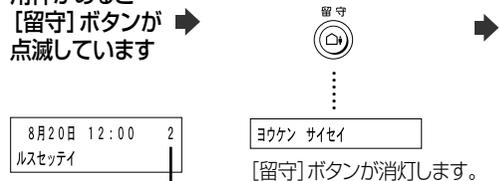
用件があると［留守］ボタンが点滅しています ➡

➡

8月20日　12:00　　2
ルスセッテイ

用件の件数

ヨウケン　サイセイ

［留守］ボタンが消灯します。

➡ 「用件は○件です」用件が再生される ➡ 「用件は以上です」

サイセイチュウ　1/2

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

１秒ごとに“＊”が表示されます。

▶ **録音された用件がないときは**：「用件はありません」というメッセージが流れます。

▶ **ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は**：用件再生時に相手先の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は相手先の名前が表示されます。

子機で

待ち受け中に（→P.13） ➡ 「リモコンソウサ」を選択 ➡

➡ ➡ 20秒以内に ➡ 「留守設定を解除しました」 ➡

▶ **［9］を押す前に「ピーピーピー」と音がして待ち受け中に戻るときは**：親機が使用中です。しばらくしてから操作し直してください。

録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。留守設定中でも用件を聞くことができます。通話録音した内容も同時に再生されます。

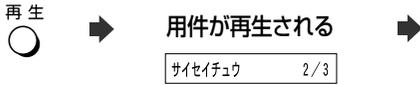
親機で

・モニタスピーカ音量が「切」になっていると、用件が聞こえません。モニタスピーカ音量を調節してください（→P.34）。

再生 ○ ➡ 用件が再生される

サイセイチュウ　　　2/3

➡ 「用件は以上です」

サイセイシュウリョウ*・・・・・

1秒ごとに"*"が表示されます。

▶ **用件が録音されていないときは**：「用件はありません」というメッセージが流れます。

▶ **通話中の相手先に用件を聞かせたい**（通話中の相手先に録音内容を聞かせる→P.33）

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞き直したりできます。

押すボタン	本機の動き
再生	再生速度を切り替えます。（通常→高速→低速→通常…）。
1	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
3	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます（そのあとに［再生］ボタンを押すと、1件目から再生します）。
消去	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後「消去しました」というメッセージが流れます。

子機で

待ち受け中に（→P.13） メニュー ➡ 「リモコンソウサ」を選択 ➡

➡ メニュー ➡ 20秒以内に 2 ➡ 用件が再生される ➡

➡ または 切

再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞き直したりできます。

押すボタン	本機の動き
1	1回押すと、再生中の用件をはじめから再生します。続けて2回押すと、1つ前の用件を再生します。
2	押すたびに再生速度を切り替えます（通常→高速→低速→通常…）。
3	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
8	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、「消去しました」というメッセージが流れます。
#	再生を止めます（そのあとに［2］ボタンを押すと、1件目から再生します）。

不要な用件を消去する

再生した用件を一度にすべて消去したり、特定の用件を消去したりすることができます。一度消去した用件は再生できません。

親機で

特定の用件だけを消す

消去したい用件を再生中に 消去 ○ ➡ 「消去しました」 ➡ ストップ ○

サイセイチュウ　　　3/5

聞き終わった用件を一度に消す

一度も再生しなかった用件は消去されません。少しでも再生した用件は消去されます。

再生終了後"*"が表示（約6秒間）中に 消去 ○ ➡ 「再生済みの用件を消去しました」

サイセイシュウリョウ***・・・

すべての用件を一度に消す<全用件消去>

・一度も再生していない用件もすべて消去されます。

ホコリよけカバーを開けて メニュー ○ ➡ 4 ➡

ルスバンデンワ キノウ

➡ 登録/セット ○ ➡ 登録/セット ○ ➡ 「消去しました」

ゼンヨウケン ショウキョ

留守電

子機で

特定の用件を消去する

消去したい用件を再生中に 8ヤTUV ➡「消去しました」➡ または 切

用件をすべて聞いてから一度に消去する

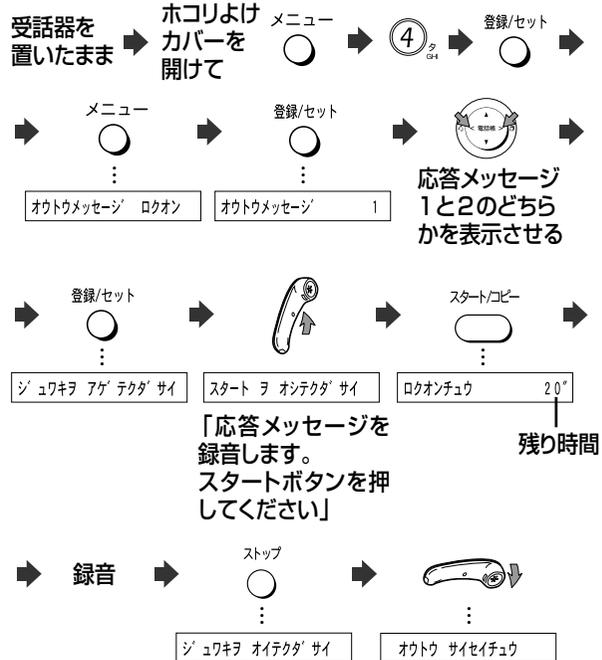
再生終了後「ピッピッピッ…」と聞こえている間（約6秒間）に ➡

➡「再生済みの用件を消去しました」➡ または 切

応答メッセージを録音／消去する

「留守」を設定したとき相手先に流す応答メッセージを録音したり、消去することができます。

- ・2 種類の応答メッセージを録音でき、何度でも録音し直すことができます。録音時間はそれぞれ最大 20 秒までです。
- ・メモリの残量が少なくて20秒まで録音できないときは、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れます。不要な用件を消去してから録音してください（→ P.47）。
- ・ナンバー・ディスプレイを利用している方は、電話帳に登録している相手先にだけ自作の応答メッセージを流すことができます（応答メッセージ選択→ P.56）。
- ・留守設定中でも録音できます。
- ・録音していないときは、本機の固定応答メッセージが流れます（→ P.45）。
- ・本機の録音方式は、人間の声の音域に合わせた設定になっています。一緒に音楽などを録音することはお勧めできません。
- ・本機の固定応答メッセージは消去できません。

親機で録音します。子機では録音できません。

▶**録音中に電話がかかってきたときは**：録音が中断されます。その場合は最初から録音し直してください。

▶**録音の途中で止まってしまった**：約20秒経過すると自動的に録音が止まります。20秒以内で終わるように応答メッセージを変え、録音し直してください。

▶**録音し直したい**：最初から録音し直してください。前に録音していた応答メッセージは消去されます。

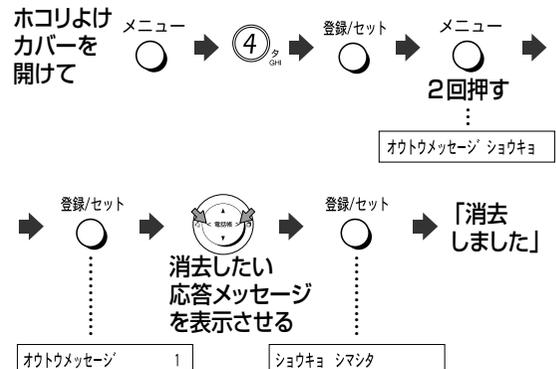
▶**録音を終わるとき［ストップ］ボタンを押さずに受話器を戻してしまった**：「ガチャン」という音が録音されてしまいます。先に［ストップ］ボタンを押してから受話器を戻してください。

応答メッセージの例

「はい○○です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。約3分間録音できます。ファクシミリの方は送信してください」

録音した応答メッセージを消去するには

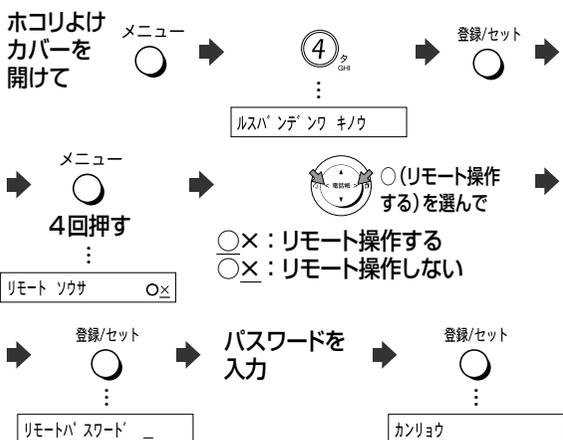
自分で録音した応答メッセージだけ消去できます。

本機の固定応答メッセージは消去できません。

外出先から留守番電話を操作する（外線リモート）

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い上げのとき：リモート操作しない

リモート操作の設定とリモートパスワード（４桁の数字）を登録しておくと、留守設定中に録音された用件を外出先から聞くことができます。

・パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

▶ **パスワードを間違えたときは**：［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

▶ **すでにパスワードが登録されているときは**：新しいパスワードを入力すると、前のパスワードは消去されます。

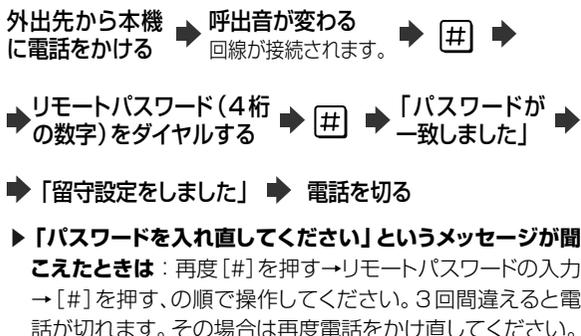
外出先から「留守」を設定する

・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
・着信モードを「電話専用」に設定しているときは（→P.73）、外出先から「留守」を設定することはできません。
・ダイヤルインをご利用の場合は、外出先から親機用の番号に電話をかけて、以下の操作をしてください。

外出先から本機に電話をかける ➡ 呼出音が変わる 回線が接続されます。 ➡ ＃ ➡

➡ リモートパスワード（４桁の数字）をダイヤルする ➡ ＃ ➡ 「パスワードが一致しました」 ➡

➡ 「留守設定をしました」 ➡ 電話を切る

▶ **「パスワードを入れ直してください」というメッセージが聞こえたときは**：再度［#］を押す→リモートパスワードの入力→［#］を押す、の順で操作してください。３回間違えると電話が切れます。その場合は再度電話をかけ直してください。

外出先から用件を聞く

・外出前に「留守」を設定しておいてください。
・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
・リモート操作コードの入力は応答メッセージの再生中に行ってください。
・携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
・リモート操作で用件を聞いても、用件は消去されません。

外出先から本機に電話をかける ➡ 応答メッセージが聞こえたら＃ ➡

➡ 応答メッセージが止まる ➡ リモートパスワード（４桁の数字）をダイヤルする ➡ ＃ ➡

➡ 「パスワードが一致しました。用件は○件です」 ➡ 用件再生 ➡ 電話を切る

▶ **［#］を押しても応答メッセージが止まらないときは**：リモートパスワードをダイヤルする前に、再度［#］を押してください。

▶ **外出先から用件の有無を簡単に知りたい**：トールセイバを「する」に設定してください（トールセイバ→P.51）。

▶ **ナンバー・ディスプレイを利用している場合は**：用件が再生されたあと、相手先の番号が音声で聞こえます。

▶ **再生以外の操作をしたい**：上記の操作でリモートパスワードを入力して［#］を押したあと、外線リモート操作コード（→P.50）を入力してください。

▶ **再生中に早送りや巻き戻しをしたい**：外線リモート操作コード（→P.50）を入力してください。

▶ **用件再生終了後、何も操作しないと**：約20秒後に電話が切れます。

外線リモート操作コード

「外出先から用件を聞く」(→P.49)の操作で、リモートパスワードを入力して[#]を押したあと、または再生中に以下の操作を行うことができます。

操作内容	リモート操作コード(押すボタン)	本機の動き
巻き戻し	#1#	再生中に押すと、1つ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中にこの操作を行うと、先頭の用件を再度再生します。
用件再生	#2#	用件を先頭から再生します。再生中に押すと再生速度を切り替えます(通常→高速→低速→通常…の順)。
早送り	#3#	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	#61#	用件転送を設定します(→右記)。
用件転送解除	#62#	用件転送を解除します(→右記)。
留守設定	#7#	「留守」を設定します。
用件消去	#8#	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピッピッピッ…」と音がしている間(約6秒間)に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守解除	#9#	「留守」を解除します。

▶ **外線リモート操作コード表を持ち歩きたい**：P.105の「外線リモート」の表をハンドスキャナでコピーしてください(→P.43)。

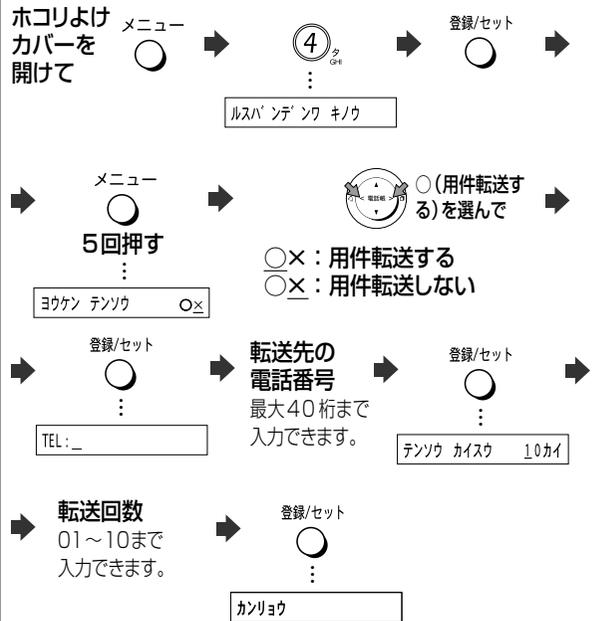
用件が録音されたら外出先に転送する(用件転送)

留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に転送することができます。

転送先を登録する

お買い上げのとき：用件転送しない

留守設定中に録音された用件を転送するときは、あらかじめ用件転送を「する」に設定し、携帯電話や外出先の電話機の番号を登録しておきます(→右記)。

- 用件を転送するときは、リモート操作の設定とリモートパスワードの登録を必ず行ってください(→P.49)。
- 転送先の電話番号は1ヵ所のみ登録できます。
- 転送先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を最大10回まで設定できます。
- プッシュ信号が出せる電話機を通知先に指定してください。
- 転送先が携帯電話またはPHSのときは、電源が入っていない場合や電波が届かない場合など、転送されないことがあります。
- 録音された用件が6秒未満のときは、転送されません。
- おやすみモードのときは用件転送されません。
- 用件が録音されてから転送されるまでの間に停電などで親機の電源が切れた場合は、用件転送されません。

▶ **転送先の電話番号を間違えたときは**：[<]ボタンまたは[>]ボタンでカーソル移動するか[消去]ボタンを押し、入力し直してください。

▶ **登録した電話番号や転送回数を変えたい**：最初から登録し直すと、新しい登録内容に上書きされます。

用件転送を設定／解除する

用件転送の設定を行うと、「留守」の設定／解除と同時に用件転送が設定／解除されます。

▶ **用件転送をやめたい**：用件転送を「しない」に設定してください(→上記)。

▶ **外出先から用件転送だけを解除するには**：外線リモート操作コードの「#62#」を押してください(→左記)。

用件転送先での受けかた

・あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です（→P.49）。

1 転送先で電話に出る

2 「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえている間、またはメッセージのあと3秒以内に[#]を押す

メッセージが止まります。

止まらないときは、再度［#］を押してください。

3 リモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に[#]を押す

メッセージが5回流れる間にパスワードを入力しないと、自動的に電話が切れます。

4 「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが聞こえ、用件が再生される

「パスワードを入れ直してください」と聞こえたら、［#］→パスワード入力→［#］と入力し直してください。3回間違えると電話が切れます。

5 用件再生が終わったら電話を切る

▶ **再生以外の操作をしたい**：手順4の「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが流れたあと、外線リモート操作コード（→P.50）を入力してください。

▶ **再生中に早送りや巻き戻しをしたい**：外線リモート操作コード（→P.50）を入力してください。

▶ **繰り返して用件転送される**：パスワードを入力する前に電話を切ると、回線によってはこのようなことが発生します。この場合は、「用件転送先での受けかた」（→上記）の手順を最後まで行ってください。

▶ **転送先が話し中のときや誰も電話に出ないときは**：5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。また、自動的にかけ直そうとしている間（待ち受け中）に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

用件の有無を外出先から簡単に確かめる（トールセイバ）

お買い上げのとき：**しない**

トールセイバとは、留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切ると、通話料金がかかりません。

・一度聞いた用件でも、残っていると（消去しない限り）トールセイバがはたらきます。
・子機は親機より遅れてベルが鳴り始めます。そのため、留守番電話の用件が録音されているときに着信した場合、トールセイバを「する」に設定していると、子機が鳴らずに留守応答になることがあります。

おやすみモード

電話やファクスが着信したときのベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。

・おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信するとプリントされずにメモリに記憶されます。
・おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、キータッチトーン、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。ただし、子機からの内線呼び出しのベル音は鳴ります。
・おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます（→P.53）。

おやすみモードの設定／解除

おやすみモードにすると

相手先から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルは鳴りません。

●ナンバー・ディスプレイを利用すると、特定の相手先からかかってきたときにだけ着信ベルを鳴らすことができます（とくていコール→P.60）。

↓

回線が接続され、相手先に留守番電話の応答メッセージが流れます。

相手先がファクスのとき → **受信内容はプリントされずメモリに記憶されます。**

●受信終了時の「ピー」という音は聞こえません。
●おやすみモードを解除すると、受信内容がプリントされます。

↓

ファクスの受信が終わると［おやすみ］ボタンが点滅します。

相手先が電話のとき → **相手先の用件が録音されます。**

●このとき、相手先がファクスの送信操作をするとファクスの受信が始まります。

●留守設定のときと異なり、相手先の声はモニタスピーカから聞こえません。

↓

録音が終わると［留守］ボタンが点滅します。

・メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、受信できないことがあります。

おやすみモードの設定のしかた

・おやすみモードにしようとして、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、「留守」を設定できません。「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、すぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。
また、メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。

不要な用件を消去する（→P.47）
メモリ文書消去（→P.78）

1 おやすみ **を押す**

ﾙｽｾｯﾃｲ

［おやすみ］ボタンと［留守］ボタンが点灯します。

おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときは、［留守］ボタンが点滅します。ファクスの受信文書があるときは［おやすみ］ボタンが点滅します。

1 おやすみ ◎ **を押す**

［おやすみ］ボタンと［留守］ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件が再生されます。ファクスを受信しているときはプリントされます。

▶**留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたとき**：おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。［留守］ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。

おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。お買い上げのときは、おやすみモードのタイマ切替は設定されていません。

- おやすみモード開始時刻と終了時刻は別々に設定します。
  - ・設定した開始時刻と終了時刻になると、自動的におやすみモードを設定／解除します。
  - ・開始時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードを設定します。解除は手動で行います。
  - ・終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードを解除します。設定は手動で行います。
- 次の場合は、おやすみモードを自動的に解除したとき、留守設定になります。
  - ・留守設定してからおやすみモードにしたとき
  - ・用件が録音されているとき

・留守録の用件がいっぱい（メモリフル）のときはおやすみモードに切り替わりません。不要な用件を消去してください。また、メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。

不要な用件を消去する（→P.47）
メモリ文書消去（→P.78）

・おやすみモードのときに停電した場合、おやすみモードは解除されます。時計を再セットするまで、おやすみモードのタイマ切替は機能しません（時刻をセットする→P.21）。

1 ホコリよけカバーを開けて メニュー を押す

2 4 を押す

ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ ｷﾉｳ

3 登録/セット を押す

4 メニュー を6回押す

ｵﾔｽﾐﾓｰﾄﾞ ﾀｲﾏｷﾘｶｴ

5 登録/セット を押す

ｵﾔｽﾐ ｵﾝ ○×

カーソル

6 電話帳 を押し、カーソルを移動させる

○×：開始時刻を登録する

○×：開始時刻を登録しない

▶ **開始時刻を登録しないときは**：手順9に進んでください。

7 登録/セット を押す

ｵﾔｽﾐ ｵﾝ ＝ 00:00

8 開始時刻を入力する

24時間制で入力してください。0～9は頭に「0」を付けてください。

9 登録/セット を押す

ｵﾔｽﾐ ｵﾌ ○×

10 電話帳 を押し、カーソルを移動させる

○×：終了時刻を登録する

○×：終了時刻を登録しない

▶ **終了時刻を登録しないときは**：手順13に進んでください。

11 登録/セット を押す

ｵﾔｽﾐ ｵﾌ ＝ 00:00

12 終了時刻を入力する

24時間制で入力してください。0～9は頭に「0」を付けてください。

13 登録/セット を押す

ｶﾝﾘｮｳ

▶ **時間を間違えて入力したとき**：［<］ボタンまたは［>］ボタンでカーソル移動するか、［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話をかけた方またはファクスを送った方の電話(ファクス)番号などが、受信側の画面に表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約(有料)が必要です。

契約している場合は、ナンバー·ディスプレイを「利用する」に必ず設定してください(ナンバー·ディスプレイの設定→P.55)。お買い上げ時は「利用する」に設定されています。

キャッチホン・ディスプレイ(有料)をご契約になると、お話し中に別の人から電話がかかってきたときに電話番号などが表示されます(→P.64)。

・次の場合は電話番号が表示されません。
○ 国際電話
○ オペレーター扱いの通話(100番・106番)
○ 相手先が番号非通知のとき
○ 相手先が公衆電話からかけてきたとき
○ 相手先が圏外からかけてきたとき
○ 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

ナンバー・ディスプレイサービスを利用した便利な機能

ナンバー·ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。

- かけてきた相手先の電話番号と日時を確認する(着信データの活用→P.61)
- 着信データを使って電話をかける(コールバック→P.62)
- 着信データを電話帳に登録する(かんたん登録→P. 63)
- 留守中にかけてきた相手先を確認する(留守録着信データ→P.63)
- 電話に出たくない相手先には着信拒否のメッセージを流す(着信拒否→P.57)
- 電話帳に登録している相手先に自作応答メッセージを流す(応答メッセージ選択→P.56)
- 相手先によって親機だけ/子機だけベルを鳴らしたり、着信ベルの音色やメロディを変える(着信鳴り分けとプライベートコール→P.59)
- おやすみモードを設定しているときに特定の相手先からの電話やファクスのときだけ着信ベルを鳴らすことができる(とくていコール→P.60)
- 電話番号を通知してこない相手先にメッセージを流す(番号リクエスト→P.56)

・ナンバー・ディスプレイを利用した機能は、電話帳に番号を登録する際に「−(ポーズ)」「*」「#」を使用すると、番号が一致したと見なされなくなります。また、電話番号は同一市内の場合でも、必ず市外局番から登録してください。
・着信拒否を「する」に設定している場合でも、親機の登録・設定中/コピー中は、対象となっている相手先からの電話にメッセージは流れません。

ご利用にあたって

ナンバー·ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。

・本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
○ 転送電話(ボイスワープを除く)
○ ダイヤルQ2(情報提供側)
○ テレドーム(情報提供側)
○ ノーリンギング情報サービス(センター回線)
・ブランチ接続では使えません(→P.16)。
・構内交換機やホームテレホンなどに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用になれないことがあります。
・停電時は、ナンバー・ディスプレイはご利用できません。

＜お問い合わせ先＞

NTT東日本·NTT西日本
ナンバー·ディスプレイ　カスタマーセンター
フリーダイヤル　:**0120-848521**
受付時間:午前9:00〜午後5:00(月曜〜土曜)

ダイヤルインサービスを同時に利用するときは

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要がありますので、ナンバー·ディスプレイ　カスタマーセンターに連絡してください。

ISDN回線を利用しているときは

ナンバー·ディスプレイ対応のターミナルアダプタを使用してください。ターミナルアダプタの種類によっては、ナンバー·ディスプレイを利用できないことがあります。

ネーム·ディスプレイについて

本機は、ネーム·ディスプレイサービスには対応しておりません。

表示の見かた

電話がかかってくると、相手先の番号が次のように表示されます。

＜ワンタッチダイヤル、電話帳に登録されていない相手先のとき＞

親機	子機
ｱｲﾃ:0312345678	0312345678

＜ワンタッチダイヤル、電話帳に登録されている相手先のとき＞

親機	子機
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ TEL:0312345678	ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録している

親機と子機、それぞれに登録した名前が表示されます。

- 相手先が番号非通知のとき　ﾋﾂｳﾁ
- 相手先が公衆電話のとき　ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ
- 相手先が海外など、圏外からかけてきたとき　ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ
- 一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったとき　ｼﾞｭｼﾝｴﾗｰ

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー･ディスプレイを利用している相手先に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。

- 電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごとの非通知	回線ごとの非通知
相手先に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	[1][8][6]のあと相手先の番号をダイヤル
相手先に電話番号を通知しない	[1][8][4]のあと相手先の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

▶ **自分の契約がどちらかわからないときは**：NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

必要な設定

ナンバー・ディスプレイの設定

（お買い上げのとき：**利用する**）

- ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」、契約していない場合は「利用しない」に必ず設定してください。この設定が間違っていると、電話が受けられないことがあります。
- モデムダイヤルインを契約している場合は、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、「利用する」に設定してください。

ホコリよけカバーを開けて

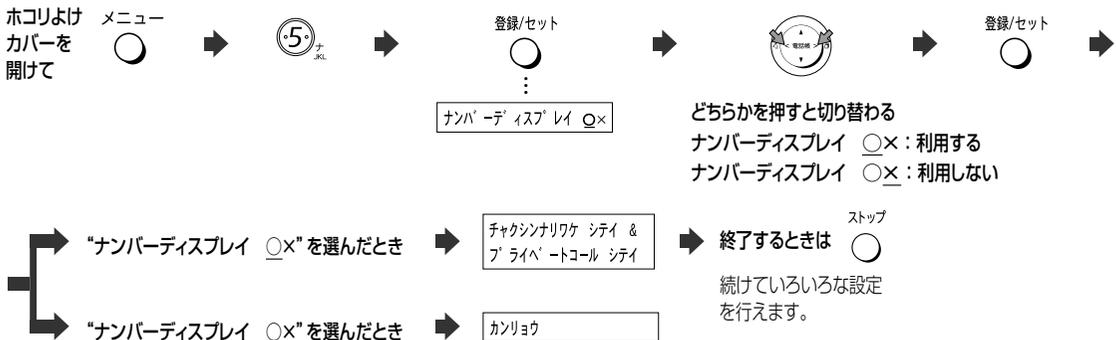
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

どちらかを押すと切り替わる
ナンバーディスプレイ　○×：利用する
ナンバーディスプレイ　○×：利用しない

"ナンバーディスプレイ　○×"を選んだとき

ストップ

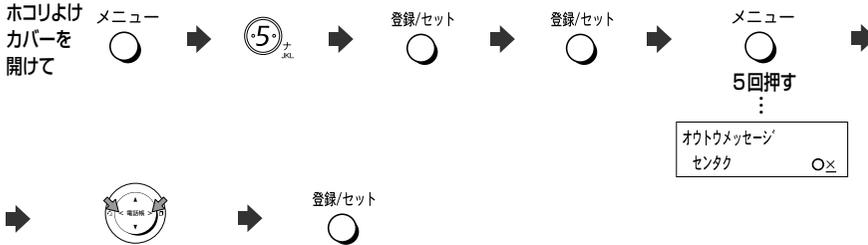
続けていろいろな設定を行えます。

ナンバー・ディスプレイ

電話帳に登録している相手先に自作メッセージで応答する<応答メッセージ選択>

（お買い上げのとき：**すべての相手先に自作応答メッセージを流す**）

留守設定中に電話がかかってきたとき、電話帳に登録してある相手先にだけ自作応答メッセージで、登録していない相手先には固定応答メッセージを流すことができます。

ホコリよけカバーを開けて → メニュー → 5 → 登録/セット → 登録/セット → メニュー 5回押す

オウトウメッセージ
センタク ○×

→ どちらかを押すと切り替わる → 登録/セット

センタク ○×：電話帳登録者のみ自作応答メッセージを流す
センタク ○×：すべての相手先に自作応答メッセージを流す

・相手先に流す自作応答メッセージは、留守設定のときと同じメッセージです。
・自作応答メッセージを録音していない場合は、すべて固定応答メッセージになります（応答メッセージを録音／消去する→P.48）。

電話番号を通知してこない相手先にメッセージを流す<番号リクエスト>

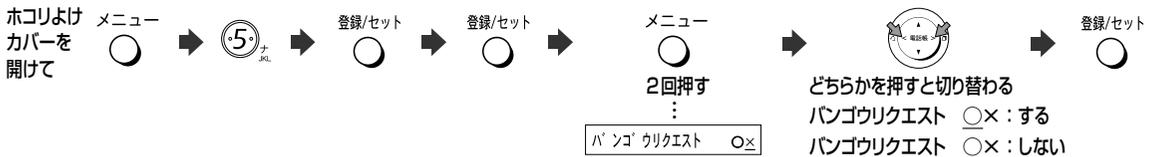
（お買い上げのとき：**しない**）

非通知の相手先からかかってきたとき、ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。

・非通知の相手先に流すメッセージ…「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」（固定）

ホコリよけカバーを開けて → メニュー → 5 → 登録/セット → 登録/セット → メニュー 2回押す → どちらかを押すと切り替わる → 登録/セット

バンゴウリクエスト ○×

バンゴウリクエスト ○×：する
バンゴウリクエスト ○×：しない

・番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も、非通知の相手先からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
・公衆電話や表示圏外からの電話は、通常どおり着信します。

電話を受けたくない相手先を設定する<着信拒否>

（お買い上げのとき：着信拒否**「する」**、公衆電話拒否**「しない」**、表示圏外拒否**「しない」**）

着信拒否に登録してある相手先からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージを流して電話を切ることができます。また、公衆電話からの着信や条件等により電話番号を通知できない電話からの着信（表示圏外）を拒否することもできます。

・着信拒否の相手先に流すメッセージ…「申し訳ありませんがお取り次ぎできません」（固定）

着信拒否機能を利用する／しないを設定する

・着信拒否を「する」に設定すると、留守設定中も、着信拒否に登録されている相手先からの電話は留守録音やファクス受信ができません。

着信拒否する相手先を登録する

受けたくない相手先の電話番号（10件まで）を、あらかじめ着信拒否に登録しておきます。着信拒否に登録する場合、すでに登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。

着信データの番号を着信拒否に登録する

・子機からは着信拒否の登録はできません。

▶ **"チャクシンキョヒ リスト フル"と表示されたときは**：着信拒否を登録できるのは10件までです。リストから不要な電話番号を消去してください。

（次ページに続く）

登録内容を確認する

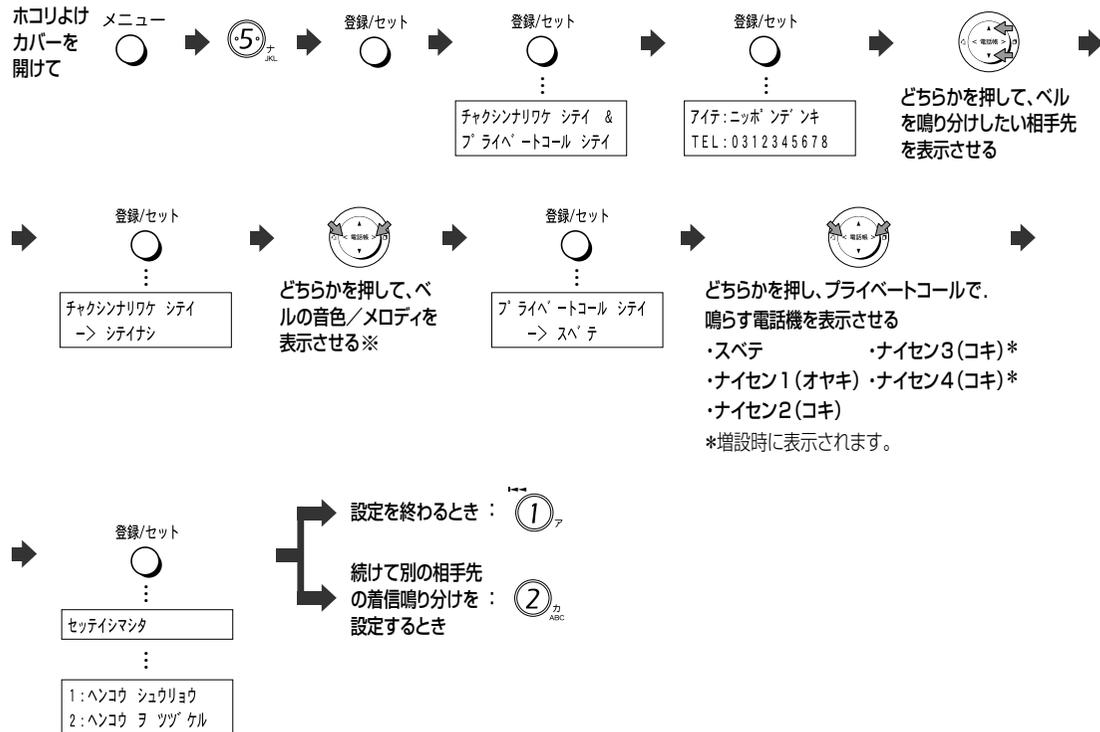
▶ **“チャクシンキョヒ　リスト　ミトウロク”と表示されたときは**：着信拒否する相手先が１件も登録されていません。

着信拒否リストから消去する

かけてくる相手先によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>

（お買い上げのとき：着信鳴り分け **「シテイナシ」**、プライベートコール **「スベテ」**）

電話帳に登録してある相手先からかかってきたときは、ベルの音色やメロディを変えることや（着信鳴り分け）、親機だけのベルまたは子機だけのベルを鳴らすことができます（プライベートコール）。

ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。

※ベルの音色／メロディの種類について ：

- シテイナシ ：「ベルの音色／メロディを変える」で指定したベル（→ P.73）
- ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
- ベル（ナリワケ） ：「ヒョウジュン」とは違う音色
- メロディ（A） ：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- メロディ（B） ：春
- メロディ（C） ：トルコ行進曲

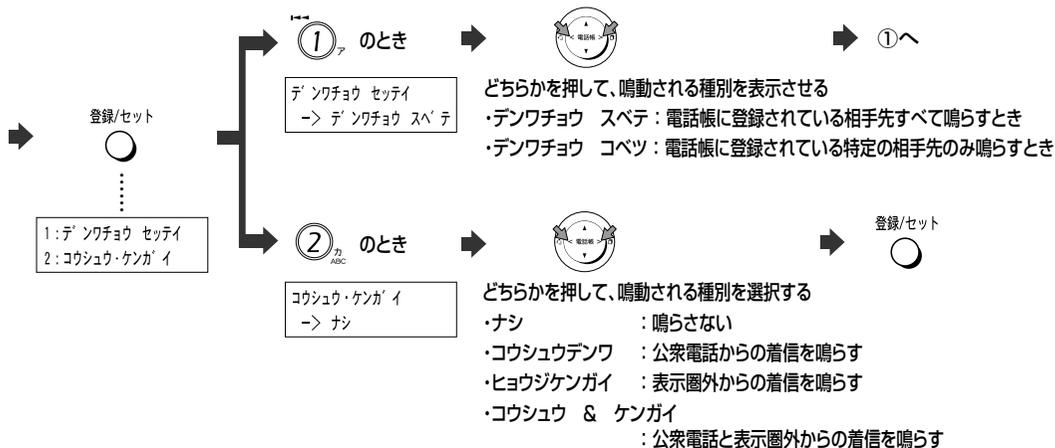
- 電話帳に登録されている番号に「＊」「＃」「ー」（ポーズ）が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、ナンバー・ディスプレイの機能が正常にはたらきません。電話帳に登録するときはご注意ください。

▶ **“デンワバンゴウミトウロク” と表示されたときは**：電話帳に何も登録されていません。

▶ **選択中の着信ベルを確認したいときは** ：［<］ボタンまたは［>］ボタンで着信ベルの音色／メロディを選択しているとき、親機の［音量　大］ボタンまたは［音量　小］ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます（音量を調整する→ P.33)。途中でやめたい場合は［ストップ］ボタンを押してください。子機の［>］ボタンでは音量の調節はできません。

かけてくる相手先によって着信ベルを鳴らす<とくていコール>

（お買い上げのとき：とくていコール**「する」**、電話帳設定**「電話帳すべて」**、公衆・圏外**「なし」**）

本機をおやすみモード（→P.52）に設定していると電話やファクスが入ったときに着信ベルは鳴りませんが、とくていコールに設定された相手先から電話やファクスが入ってきたときには着信ベルを鳴らすことができます。

- 子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、トールセイバを「する」に設定していて留守番電話の用件が録音されている場合、子機のベルが鳴らないことがあります（トールセイバ→P.51）。

▶ **とくていコールによって鳴るベルの音色**：

- 電話帳に登録されている相手先の場合は「かけてくる相手先によって着信ベルを変える」（→P.59）で設定した音色で鳴ります。
- 公衆電話や表示圏外の場合は「ベル（ヒョウジュン）」の音色で鳴ります（ベルの音色／メロディを変える→P.73）。

着信データの活用

電話がかかってきた日時と相手先の名前または電話番号が、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから順に消去されます。

・親機では、電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

▶ **着信データをプリントしたいときは**（ナンバー･ディスプレイの着信データをプリントする→P.80）

過去にかかってきた相手先を確認する＜着信データの表示＞

親機で

他の着信データを見る

ディスプレイには、最新の着信データから順に表示されます。

電話帳に登録している相手先

着信した順番（新しい順）　着信した日時

```
01)    8月20日 21:44
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
```

相手先の名前が表示されます。

電話帳に登録していない相手先

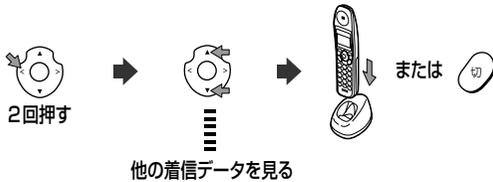
着信した順番（新しい順）　着信した日時

```
01)    8月20日 21:44
ｱｲﾃ:0312345678
```

相手先の電話番号が表示されます。

▶ **“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されたときは**：着信データが記憶されていません。ナンバー･ディスプレイサービスに加入していない場合、着信データは残りません（→P.54）。

子機で

2回押す

他の着信データを見る

```
0312345678  ⇄  8月20日 21:44
```

電話機に登録してある相手先の場合、相手先の名前が表示されます。

・子機にかかってきた場合は、相手先の電話番号などがディスプレイに表示されたときに着信データとして記憶されます。電波の届かないところに置くと記憶されません。

▶ **着信データの表示を切り替えたいときは**：［>］ボタンを押すと、相手先の名前（電話帳に登録してある場合）→電話番号→着信日時の順に、表示が切り替わります。［<］ボタンを押すと、相手先の名前（または電話番号）の表示に戻ります。

着信データを消す

親機で

消去したい着信データを表示させる → 消去 →

ショウキョ シマスカ?
1:ジッコウ 2:トリケシ

→ 1 →

ショウキョ シマシタ

約3秒後に次の着信データが表示されます。

→ ストップ

子機で

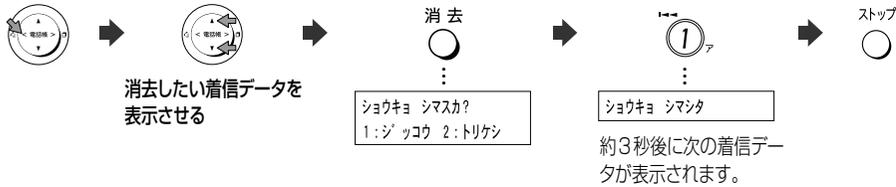
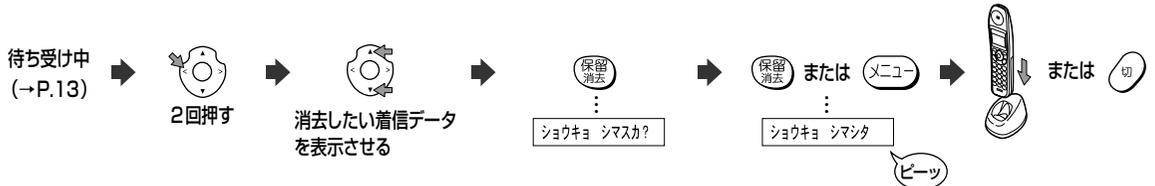
待ち受け中(→P.13) → 2回押す → 消去したい着信データを表示させる → 保留/消去

ショウキョ シマスカ?

→ 保留/消去 または メニュー

ショウキョ シマシタ

ピーッ

→ または 切

▶ **途中で消去をやめたいときは**：“ショウキョ　シマスカ?”と表示されたところで［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押し“チュウシ　シマスカ?”と表示されたら［メニュー］ボタンを押してください。

着信データを使って電話をかける<コールバック>

着信データの電話番号へ簡単に電話をかけることができます。

親機で

かけたい相手先を表示させる → 通話

▶ **“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されたときは**：着信データが記憶されていないので、コールバックできません。

▶ **ファクスを送信したいときは**：原稿をセットしてから、親機で送信したい相手先を表示させ［スタート／コピー］ボタンを押してください。

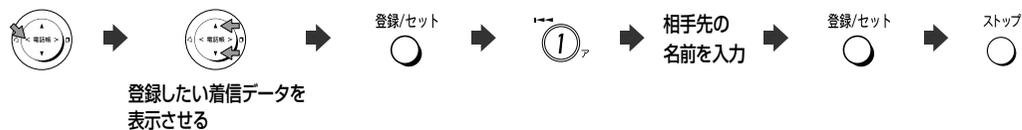
子機で

待ち受け中(→P.13)

2回押す → かけたい相手先を表示させる → 通話 → 通話

着信データを電話帳に登録する<かんたん登録>

着信データの電話番号を電話帳に登録できます。子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

親機で

▶ **“チャクシンデータ　アリマセン” と表示されたときは**：着信データが記憶されていないので、登録できません。

▶ **“デンワチョウ　フル” と表示されたときは**：電話帳から不要な電話番号を消去してください（親機の電話帳の登録内容を消去する→P.29）。

▶ **文字入力のしかたがわからないときは**（文字入力一覧表→本書の最終ページ）

子機で

▶ **文字入力のしかたがわからないときは**（文字入力一覧表→本書の最終ページ）

▶ **“デンワチョウ　フル” と表示されたときは**：電話帳から不要な電話番号を消去してください（子機の電話帳の登録内容を消去する→P.30）。

留守中にかけてきた相手先を確認する<留守録着信データ>

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手番号を確認することができます。外線リモートや子機のリモコン操作で用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手先であれば、応答メッセージが流れている間に相手先が電話を切っても記憶されます。

（録音された用件を聞く→P.47）
（外出先から用件を聞く→P.49）

・留守録着信データには次のような制限があります。
　－ 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
　－ 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
　－ 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

親機で

留守録の用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳に登録している相手先

```
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
ｻｲｾｲﾁｭｳ        1/ 5
```

相手先の名前が表示されます。

電話帳に登録していない相手先

```
ｱｲﾃ:0312345678
ｻｲｾｲﾁｭｳ        1/ 5
```

相手先の電話番号が表示されます。

子機で

ディスプレイに留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあと時間と相手先の電話番号が音声で聞こえます。

・相手先が用件を録音していないと、用件のかわりにビジートーン（話中音）が聞こえ、そのあと時間と相手先の電話番号が聞こえます。

・相手先の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

キャッチホン・ディスプレイについて

通話中にキャッチホンが入ったとき、かけてきた相手先の電話番号を約30秒間表示します。表示の見かたはナンバー･ディスプレイの表示と同じです。キャッチホン･ディスプレイを利用するためには、キャッチホンとナンバー･ディスプレイを契約（有料）したうえで、キャッチホン･ディスプレイの契約（有料）をしてください。

▶**ダイヤルインサービスも同時に利用したいときは**：必ずモデムダイヤルインサービスでご利用ください。「ナンバー･ディスプレイカスタマーセンター」（→P.54）または最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

▶**ISDN回線を利用しているときは**：キャッチホン･ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する

（お買い上げのとき：**利用しない**）

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン･ディスプレイを契約したときに設定します。

6回押す

キャッチホン　○×

どちらかを押すと切り替わる
キャッチホン　○×：利用する
キャッチホン　○×：利用しない

キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

・キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー･プップッ」のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手先の電話番号を受信する間（約１秒間）通話が途切れます。

・子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。

・次の場合、キャッチホンが着信しても、相手先の電話番号が表示されないことがあります。

－ 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録･設定操作中、通話録音中、通話再生中、外線転送中

－ 大声で通話したとき

－ 周囲の雑音が大きいとき

－ NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき

・キャッチホン・ディスプレイをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
　－ ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承願います。
　－ 通話中にキャッチホン・ディスプレイにより割り込まれた相手先がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（→P.76）は動作しません。手動受信の操作（→P.39）によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方とのお話しに戻ることができません。親機の［キャッチ］ボタンまたは子機の［キャッチ］ボタンをもう一度押して、先に通話していた方とお話しください。なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手先は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話しを終えられることをお勧めします。

キャッチホン・ディスプレイの表示について

・着信拒否を設定している相手先（着信拒否リスト、公衆電話拒否、表示圏外拒否）の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。

・番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手先もキャッチホン着信して“ヒツウチ”と表示されます。

・プライベートコールに指定されている番号も表示されます。

・キャッチホンに応答する前に相手先が電話を切っても、約30秒間表示されます。

・キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。

キャッチホン／モデムダイヤルイン

キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用すると、相手先と話し中、別の方からかかってきた電話に出ることができます。

ご利用にあたって

キャッチホンを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

キャッチホン·ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかけてきた相手先の番号を表示できます（キャッチホン·ディスプレイについて→P.64）。

・ファクスの送受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送受信が中断されることがあります。

キャッチホンを受ける

・キャッチホンが入っていないときに［キャッチ］ボタンを押さないでください。電話が切れてしまいます。

通話中 ➡ 「プルルー・プップッ」（キャッチホンの着信音）➡

➡ 親機では キャッチ/ポーズ ／ 子機では キャッチ ➡ あとからかけてきた相手先と通話 ➡

➡ ［キャッチ］ボタンを押すごとに通話の相手先を切り替えられる

▶ **一方と通話中、もう一方の相手先は**：自動的に保留になります。

キャッチホンで入った相手先がファクスのときは

いったん最初の相手先に切り替え、電話を切ってもらってください。そのあと、あとから入ったファクスに切り替え、手動受信の操作をしてください（手動で受ける→P.39）。

ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

モデムダイヤルインを利用する

モデムダイヤルインを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

ご利用にあたって

モデムダイヤルインを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

契約の際に以下の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

窓口:**116**（無料）

受付時間:午前9:00～午後5:00（月曜～土曜）

・ ダイヤルインの種類は「モデムダイヤルイン」
・ 電話番号（送出番号）は「下４桁」
  「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
・ ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

・本機は PB 信号方式のダイヤルインには対応していません。お申し込み時には、モデム信号方式のダイヤルイン（モデムダイヤルイン）を指定してください。
・モデムダイヤルインは、NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT 東日本または NTT 西日本の窓口などにお問い合わせください。
・ブランチ（並列）接続では使えません（→ P.16）。
・電話番号が複数になっても電話回線は 1 本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
・停電中は、電話もファクスも使えません。
・ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると、電話が使えなくなることがあります。

ISDN回線を利用しているときは

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い上げ時の設定）のままにしてください（→P.67）。

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

・ 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話／ファクス自動切替がはたらきます。自動切替をしたくないときは、着信モードを「電話専用」に設定してください（→P.73）。
・ ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られてきたとき

ベルが鳴り、電話に出ると「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっています。ファクスかんたん受信（→P.76）、またはファクスの手動受信（→P.39）の操作をしてください。

また、ファクス用の番号に電話がかかってきたときは、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

「留守」を設定しているとき

・電話用の番号にかかってくると、留守番電話の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
・ファクス用の番号にかかってくると、ファクスの受信はできますが、用件の録音はできません。
・子機用の番号にかかってくると、子機のベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信もできます。

ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。

● Aさんの場合
・ 電話用とファクス用の番号を分けたい
・ 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい

● Bさんの場合
・ 子機を１台増設したい（→P.88）
・ 親機と子機2台で、3つの電話番号を使い分けたい
・ ファクス専用の番号は必要ない

1 NTT東日本またはNTT西日本と契約する

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	XXX - aaaa（電話用）	XXX - cccc（親機用）
ダイヤルイン追加番号	XXX - bbbb（ファクス用）	XXX - dddd（付属子機用） XXX - eeee（増設子機用）

2 ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行う

必要な登録設定（→下記）	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	−
内線１（親機）	aaaa	cccc
共通鳴動	○*	×
内線２（子機１）	aaaa	dddd
内線３（子機２）	−	eeee

* 親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴らします。

3 以上で、次のように利用できる

・Aさんに電話をするときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。
・ベルが鳴っていない親機や子機でも電話に出られます。

動作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aさんに電話	XXX - aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aさんにファクス	XXX - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bさんの親機に電話	XXX - cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bさんの付属子機に電話	XXX - dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけ鳴る
Bさんの増設子機に電話	XXX - eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけ鳴る
Bさんにファクス	XXX - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

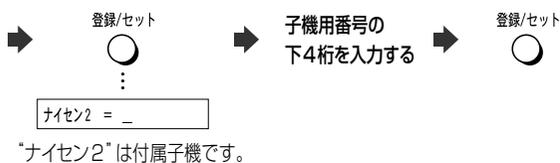
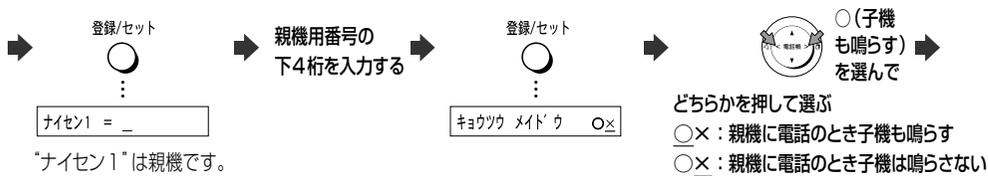
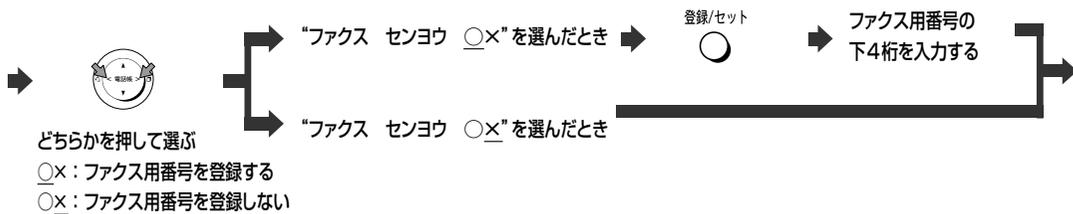
ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は

ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコールが優先されます。このため、電話帳に登録してある相手先からかかってきたときは、ベルが鳴る電話機が変わることがあります（かけてくる相手先によって着信ベルを変える→P.59）。

ダイヤルインの登録をする

・ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行うと、電話がつながらなくなることがあります。
・ダイヤルインサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください（ナンバー・ディスプレイの設定→P.55）。
・ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にした場合には、ダイヤルインが「利用しない」に設定されます。

ダイヤルインの登録

（お買い上げのとき：**利用しない**）

▶ **増設子機があるときは**：“ナイセン2”（付属子機）用の番号を入力し、[登録／セット] ボタンを押すと、“ナイセン3　=＿”、“ナイセン4　=＿”が表示されます。

▶ **電話番号を変更したいときは**：同じ手順で最初から登録し直してください。

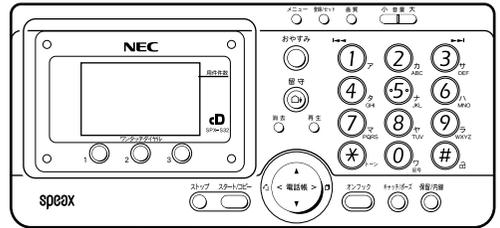
▶ **ダイヤルインを利用しない、または利用を解除したいときは**：上記操作でダイヤルインを「利用しない」“×”を選び、[登録／セット] ボタンを押してください。

便利に使う

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明しています。

操作について

本機の設定や登録は、ディスプレイの表示を見ながら行います。

まずホコリよけカバーを開けて［メニュー］ボタンを押し、次に設定項目の番号を入力して各設定を行います。詳しい手順は各設定ごとの説明をお読みください。受話器を置いたままで操作してください。全部の操作が終わりましたらホコリよけカバーを閉めてください。

・設定や登録を行う途中で、90秒以上何も操作しなかったときは、待ち受け中に戻ります。

▶ **設定を途中でやめるときには** ：［ストップ］ボタンを押してください。

初期設定

時計を合わせる<時刻セット>

・時刻がずれてきたときや、時刻をセットしなかったときに行ってください（時計の精度は平均月差±60秒以内。周囲の温度により、月差の度合いは変わります）。

・時刻は24時間制で、年は西暦の下2桁を入力してください。月日や時刻が1桁のときは頭に0を付けてください。
（例:2004年8月20日6時5分→0408200605 と入力）

▶ **修正したいときには** ：［<］ボタンまたは［>］ボタンを押して修正したい箇所にカーソルを合わせ、入力し直してください。

回線種別の自動／手動設定

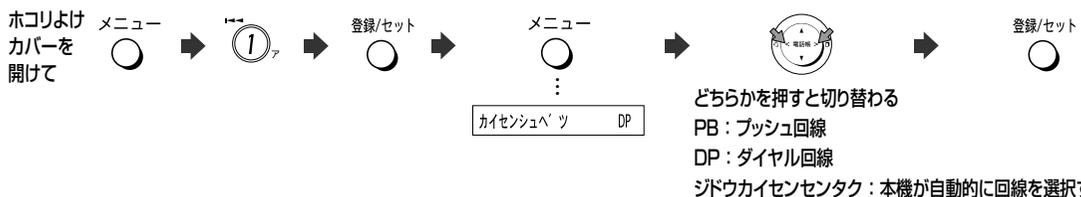
（お買い上げのとき：**ダイヤル回線（DP）**）

・使用している電話回線種別（プッシュ回線、ダイヤル回線）を自動または手動で設定します。

・INSネット64を利用していて、ターミナルアダプタに本機を接続する場合は、プッシュ回線（PB）に設定してください。

・ADSL 回線を利用している場合も、回線種別を設定してください。

・お買い上げ後、はじめて回線を接続したとき、本機は「自動回線選択」を行います。
・回線種別を手動で設定すると、次回の電源 ON 時には「自動回線選択」を行いません。

どちらかを押すと切り替わる
PB：プッシュ回線
DP：ダイヤル回線
ジドウカイセンセンタク：本機が自動的に回線を選択する

▶ **“デンワカイセン　カクニン”と表示されたときは**：電話回線の接続を確認してください。

▶ **“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示されたときは**：自動回線選択できていません。上記手順で、PBかDPを手動で設定してください。

ディスプレイの表示濃度を変える

（お買い上げのとき：■■■□□）

ディスプレイに表示される文字の濃度を、5段階で変えることができます。

ホコリよけカバーを開けて → メニュー → 1 → 登録/セット → メニュー 2回押す → どちらかを押すと切り替わる → 登録/セット

ﾋｮｳｼﾞ ﾉｳﾄﾞ ■■■□□

■□□□□：よりうすく表示
■■□□□：うすく表示
■■■□□：普通の濃さで表示
■■■■□：濃く表示
■■■■■：より濃く表示

自分の電話番号の登録

（お買い上げのとき：**自分の番号未登録**）

ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手先の通信管理レポートなどにプリントされます。

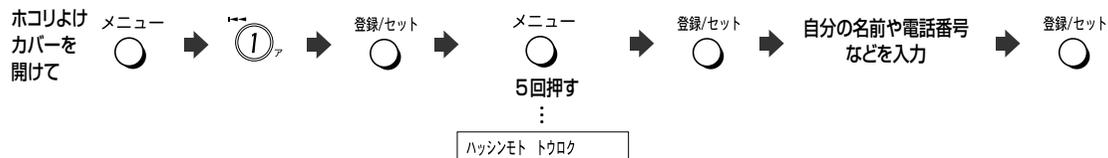
自分の電話番号を消去する

・ここで登録した電話番号は、相手先の記録紙にはプリントされません（自分の名前や電話番号などを相手先の記録紙にプリントする→P.70）。
・相手先の機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
・引越しなどで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。

自分の名前や電話番号などを相手先の記録紙にプリントする

ファクスを送ったとき、相手先の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントすることができます。発信元をプリントすると、相手先はどこからファクスがきたのかを簡単に知ることができます。

・発信元をプリントするには、発信元の登録と発信元を相手先の記録紙にプリント「する」の設定が必要です。
・発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。最大40 文字（空白を含む）まで入力できます。

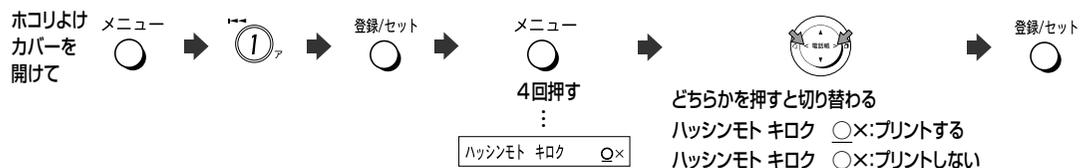
発信元を登録する＜発信元登録＞（お買い上げのとき：**発信元未登録**）

▶ **入力のしかたがわからないときは**（文字入力一覧表→本書の最終ページ）

▶ **発信元を削除または変更したいときは**：発信元を削除するときは、上記操作の「自分の名前や電話番号などを入力」で登録した内容を［消去］ボタンですべて消してから［登録／セット］ボタンを押してください。変更するときは、同手順で変更したい箇所に［<］ボタンまたは［>］ボタンでカーソルを合わせ［消去］ボタンで消し、修正してから［登録／セット］ボタンを押してください。

▶ **自分の電話番号もプリントさせたいときは**：数字もすべて文字として入力してください。自分の電話番号の登録（→P.69）を行っても、相手先の記録紙にはプリントされません（文字入力一覧表→本書の最終ページ）。

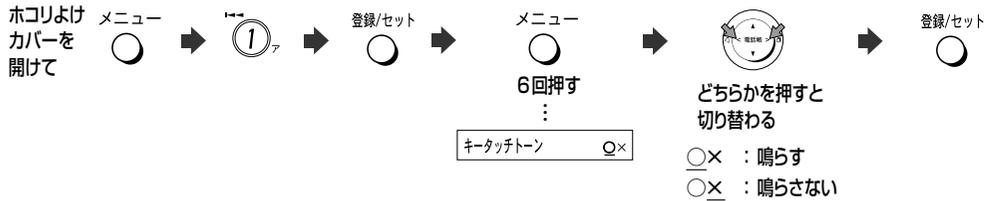
▶ **登録できたか確認したいときは**：システムリスト（→P.80）をプリントしてください。

発信元をプリントする／しないを設定する＜発信元記録＞（お買い上げのとき：**する**）

・「しない」を設定すると、日付・時刻やページ番号もプリントされません。

親機のキータッチトーンを設定する

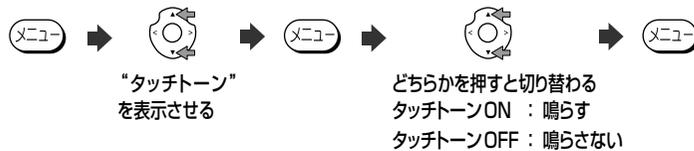
（お買い上げのとき：**鳴らす**）

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行われていることをこの音で確認します。

キータッチトーンを鳴らさないように設定することもできます。

子機のキータッチトーンを設定する

（お買い上げのとき：**鳴らす**）

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行われていることをこの音で確認します。

増設子機がある場合は、子機ごとにキータッチトーンを鳴らすか、鳴らさないかを設定することができます。

・キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や、設定終了を知らせる音が鳴らなくなります。ただし、キータッチトーンのON／OFFを設定したときの音は鳴ります。

待ち受け中のバックライト（消灯／点灯）を設定する

（お買い上げのとき：**消灯**）

待ち受け中のバックライトを消灯状態にしておくか、かすかに光っている状態（点灯）にしておくか、設定することができます。

・待ち受け中の点灯状態は、何か操作しているときに点灯する状態に比べて、若干暗く設定されています。

チャイルドロックを設定する

（お買い上げのとき：**しない**）

チャイルドロックはキー入力を受け付けなくする機能です。

お子様がいらっしゃるご家庭では、チャイルドロックを設定しておくと解除するまでキー入力を受け付けませんので、誤って電話をかけてしまったり、設定が変更されたりすることがなくなるので安心です。

・チャイルドロックを設定すると、バックライトが消灯したあと自動的にチャイルドロックの状態になります。
・電話をかけるなど本機をお使いになるときは、チャイルドロックを一時解除してください。
・チャイルドロックの一時解除は親機の［#］を２秒以上押します。
・次の場合は、自動的に一時解除されます。
　○ 外線着信したとき
　○ 子機を使用しているとき
　○ 操作パネルを閉めたとき
・チャイルドロック中でも原稿セットはできますが、送信やコピーのスタートはロックを解除してから行ってください。
・操作パネルが開いているときは、ディスプレイに“＊チャイルドロック　チュウ＊”が表示されません。
・子機から設定することや子機から一時的に解除する操作はできません。

チャイルドロックを一時的に解除する

＊チャイルドﾞロック チュウ＊ → [#] ２秒以上押す → チャイルドﾞロック ヲ イチジﾞカイジﾞョ シマシタ

ベルの音色／メロディを変える

（お買い上げのとき：**ベル（標準）**）

着信ベルの音色を変えることができます。また、ベルのかわりにメロディを流すことができます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も変わります。

ホコリよけカバーを開けて　メニュー ➡ 2カABC ➡ 登録/セット ➡ 電話帳 ➡ 登録/セット

ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ
 ->ﾍﾞﾙ(ﾋｮｳｼﾞｭﾝ)

どちらかを押すと切り替わる
- ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
- ベル（ナリワケ）　：「ヒョウジュン」とは違う音色
- メロディ（A）　：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- メロディ（B）　：春
- メロディ（C）　：トルコ行進曲

・ナンバー・ディスプレイを契約し、着信鳴り分けを設定している相手先からの電話は、着信鳴り分けで設定した着信ベルが鳴ります。

▶**選択中の着信ベルを確認したいときは**：［<］ボタンまたは［>］ボタンで着信ベルの音色／メロディを選択しているとき、親機の［音量　大］ボタンまたは［音量　小］ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます（音量を調整する→P.33）。途中でやめたい場合は［ストップ］ボタンを押してください。子機の［>］ボタンでは音量の調節はできません。

いつも電話で受ける、またはファクスで受ける<着信モード>

（お買い上げのとき：**電話／ファクス切替**）

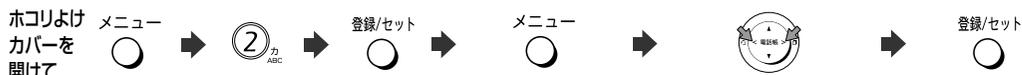
着信モードを設定すると、いつも電話で受けたり、ファクスで受けたりできます。

・電話／ファクス切替 … 設定回数着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。

・ファクス専用 … 設定回数着信ベルが鳴ったあと自動的にファクスを受信します。かかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。ただし、着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手先が電話ならば話しができます。

・電話専用 … ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料が相手先にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使うことができます。ファクスを受信するときは手動またはファクスかんたん受信で行ってください。

（手動で受ける→P.39）
（電話に出て相手先がファクスだったときは簡単に受信する→P.76）

ホコリよけカバーを開けて　メニュー ➡ 2カABC ➡ 登録/セット ➡ メニュー ➡ 電話帳 ➡ 登録/セット

ﾁｬｸｼﾝﾓｰﾄﾞ
->ﾃﾞﾝﾜ/ﾌｧｸｽ ｷﾘｶｴ

どちらかを押すと切り替わる
- 「デンワ／ファクス キリカエ」
- 「ファクスセンヨウ」
- 「デンワセンヨウ」

・電話専用に設定し、トールセイバを「しない」に設定（→P.51）している場合、留守設定中は、着信ベルが５回鳴ったあと留守番機能がはたらきます。
・ファクス専用で着信ベルを０回に設定すると、相手先がファクスのときは着信ベルが１回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話が受けられません（着信ベル回数を変える→P.74）。
・留守設定中は、ファクス専用の設定をしても留守設定が優先されます（「留守」を設定する→P.46）。

着信ベル回数を変える

（お買い上げのとき：**6回**）

・電話／ファクス切替、またはファクス専用に設定しているとき、自動的に回線が接続されるまでに鳴るベルのことを着信ベルといいます。回数は0 ～19 回の間で設定できます。
・入力する回数が1 桁のときは、頭に0 を付けて2 桁にしてください（例:8 回→08 と入力）。

▶**着信ベル回数の入力を間違えたときは**：［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

▶**ベルを鳴らさずにファクスを受けたいときは（無鳴動着信）**：着信ベルの回数を0 回に設定してください。なお、選択している着信モードにより、次のように動作します。

・電話／ファクス切替 …相手先が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。相手先がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください（手動で受ける→P.39）。
・ファクス専用 …………着信ベルが1 回も鳴らずにファクスを受信します。電話は受けられません。

・着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手先に料金がかかります。
・着信ベルの回数は、なるべく7回以下で設定してください。8回以上に設定すると相手先がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
・トールセイバを「する」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定にかかわらずトールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときはトールセイバを「しない」に設定してください（トールセイバ→P.51）。
・子機の着信ベルは、親機よりも遅れてベルが鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。
・電話専用を設定している場合は、“＊＊カイ”と表示され、変更はできません。

呼出ベル回数を変える

（お買い上げのとき：**10回**）

・電話／ファクス切替に設定しているとき、自動的に回線が接続されたあとに鳴るベルのことを呼出ベルといいます。回数は1 ～19 回の間で設定できます。
・入力する回数が1 桁のときは、頭に0 を付けて2 桁にしてください（例:8 回→08 と入力）。

▶**呼出ベル回数の入力を間違えたときは**：［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

・回線が接続された時点から相手先に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。
・ファクス専用や電話専用を設定している場合は、“＊＊カイ”と表示され、変更はできません。

保留メロディを変える

（お買い上げのとき：**保留メロディ 1 「聖者の行進」**）

電話を保留したときに相手先に流すメロディ音を「聖者の行進」または「茶色の小瓶」から選べます。

▶**選択中の保留メロディを確認したいときは**：［<］ボタンまたは［>］ボタンで保留メロディを選択しているとき、親機の［音量　大］ボタンまたは［音量　小］ボタンを押すと、選んだメロディが鳴ります。このとき、確認時のモニタ音量を調節することはできますが、相手先に聞こえる保留音の音量は変えられません。途中で止めたいときは、［ストップ］ボタンを押してください。子機の［>］ボタンでは音量の調節はできません。

・子機では相手先に聞こえる保留音の種類を変えることはできません。

子機の受話音量を全体的に大きくする

（お買い上げのとき：**標準**）

相手先の声が聞き取りにくいときは、親機で受話音量を「大きい」に設定してください。

・内線通話時の受話音量は変更されません。
・すべての子機の受話音量が大きくなります。子機ごとに受話音量を変えたいときは、子機側で設定してください（受話音量→P.35）。

子機の送話音量を全体的に大きくする

（お買い上げのとき：**標準**）

相手先でこちらの子機の声が聞き取りにくいときは、親機で送話音量を「大きい」に設定してください。
相手先で声が聞き取りやすくなります。

・内線通話時の送話音量は変更されません。

ファクスやコピーの読み取り濃度を変える<読み取り濃度>

（お買い上げのとき：■■■□□）

原稿に色が付いているときや原稿の文字がうすいときなどは、相手先が読みやすいように読み取り濃度を調整してください。必ず、ファクス送信やコピーの前に設定してください。ファクス送信やコピーが終わったら「普通」（■■■□□）に戻してください。

ホコリよけカバーを開けて メニュー ➡ 3 ➡ 登録/セット ➡ （どちらかを押すと切り替わる） ➡ 登録/セット

ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ ■■■□□

どちらかを押すと切り替わる
■□□□□：よりうすく読み取る（濃い色の原稿）
■■□□□：うすく読み取る（下地に色が付いている原稿や新聞）
■■■□□：普通に読み取る（コピーした原稿や黒ペンで書いた原稿）
■■■■□：濃く読み取る（エンピツで書いた原稿）
■■■■■：より濃く読み取る（うすい色の原稿）

・次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
　ー 青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません）
　ー うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
　ー 赤い紙に黒で書かれた原稿（赤色は黒色と同様に読み取るため、まっ黒になってしまいます）
・受信したファクスが不鮮明なときは、相手先で調整し、送信し直してもらってください。

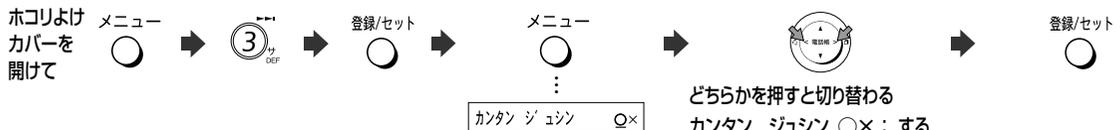
▶ **読み取りの具合を確認したいときは**：ファクス送信をする前にコピーを取って確認してください（コピーする→P.41）。

電話に出て相手先がファクスだったときは簡単に受信する<ファクスかんたん受信>

（お買い上げのとき：**する**）

電話に出て相手先がファクスのときは「ポー･ポー･ポー…」という音が聞こえ、「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」とメッセージが流れます。このときは、受話器を戻すだけでファクスを受信できます。

ホコリよけカバーを開けて メニュー ➡ 3 ➡ 登録/セット ➡ メニュー ➡ （どちらかを押すと切り替わる） ➡ 登録/セット

ｶﾝﾀﾝ ｼﾞｭｼﾝ ○×

どちらかを押すと切り替わる
カンタン　ジュシン ○×：する
カンタン　ジュシン ○×：しない

・相手先が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合はファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」に設定した場合は、相手先がファクスの場合は親機では［スタート／コピー］ボタン、子機では［内線］ボタンを押したあと［6］を押すと受信できます。

海外にファクスを送るとき

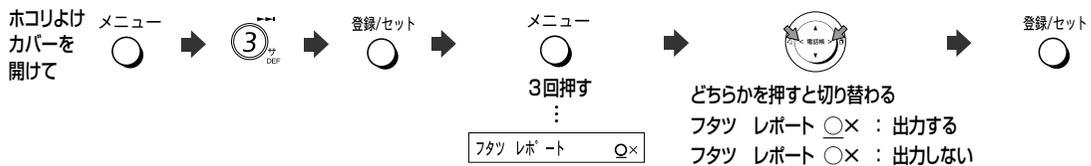
（お買い上げのとき：**しない**）

海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に戻してください。

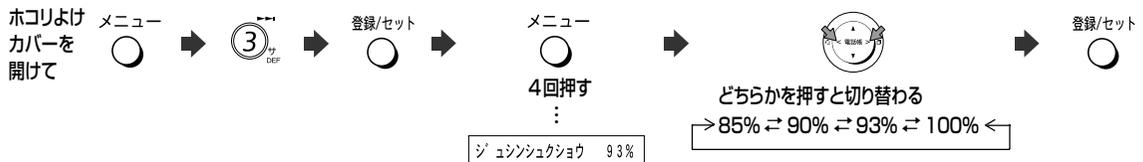
・海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。

不達レポートを出力する

（お買い上げのとき：**出力する**）

ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポートを出力することができます（送信できなかったときは→P.38）。

受信したファクスを縮小する<受信縮小率>

（お買い上げのとき：**93%**）

受信した文書を、縦方向に93%、90%、85%のいずれかの縮小率で縮小して、プリントすることができます。

・相手先が、発信元記録を付けてファクスを送信してきた場合、A4サイズよりもわずかに大きくなってしまい、複数枚の記録紙に分断してプリントされることがあります。このようなときは、縮小してプリントするように設定してください。
・縮小することにより、原稿によっては画質が劣化する場合があります。この画質劣化を解消したいときは、受信縮小率を100%に設定してください。
・受信縮小率を100%に設定すると、受信した原稿を等倍（原寸大）でプリントします。

受信したファクスを分割記録する<分割記録>

（お買い上げのとき：**する**）

受信したファクスが記録紙１枚分より長いときに印刷可能範囲を超えた分をプリントしないようにできます。

・１枚分に入りきらなかった部分は削除されるので、内容を確認することはできません。

ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する<メモリ受信>

（お買い上げのとき：**する**）

メモリ受信を「する」に設定すると、ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積してからプリントします。受信中にインクフィルムや記録紙がなくなった場合でも、メモリに蓄積してあるため、あとからプリントすることができます。

・「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。そのときは、不要な用件を消去する（→ P.47）か、メモリ受信を「しない」に設定してください。
・「しない」に設定したとき、ファクス受信中に以下が起こると通信異常となり、それ以降のファクスはプリントされません（メモリ代行受信も行いません）。そのときは、以下の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください（メモリ代行受信→ P.40）。
　ー 記録紙がなくなった　ー 操作パネルが開いた　ー サーマルヘッドが過熱した
　ー インクフィルムがなくなった　ー 記録紙がつまった

メモリ受信したファクスを消去する

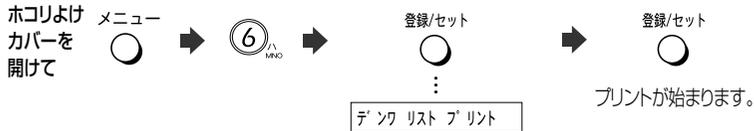
・メモリ受信したファクスを強制的に消去します。
・ファクス受信文書が２通以上あった場合には、１回の操作で最も古い受信文書が１通だけ消去されます。
・記録紙がセットされていないなど、プリントできない状態で操作してください。

・消去された文書を元に戻すことはできません。
・２通以上のファクス受信文書を、一度に消去することはできません。

リストプリント

あなたが登録や変更した内容などをプリントできます。

親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする

・電話番号リストは、次の順にプリントされます。
　空白+文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 名前を登録していない電話番号
・電話番号リストは、1ページに50件までプリントされます。

・子機の電話帳の登録内容はプリントされません。
・電話帳に電話番号が登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“デンワバンゴウミトウロク”と表示されます。

▶**途中でプリントをやめたいときは**：［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

デ゛ンワ バ゛ンゴ゛ウ リスト（1）
2004. 8.20 11：56
ニッポンデ゛ンキ

アイテサキ	デ゛ンワ バ゛ンゴ゛ウ	チャクシン ナリワケ	プ゜ライベ゛ート コール	トクテイ コール
イトウ	0312345670	シテイナシ	スベ゛テ	スル
カトウ	0612345678	ベ゛ル（ナリワケ）	ナイセン1（オヤキ）	シナイ
キクオ	0312345679	ベ゛ル（ヒョウシ゛ュン）	ナイセン2（コキ）	シナイ

便利に使う

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする

ホコリよけカバーを開けて　メニュー → 6 ハ MNO → 登録/セット → メニュー → 登録/セット

チャクシンデ゛ータ プ゛リント

プリントが始まります。

・子機に記憶された着信データはプリントできません。
・ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信データは記憶されません。
・着信データが記憶されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されます。

▶ **途中でプリントをやめたいときは**：［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合

チャクシンデ゛ータ　リスト

2004. 8. 20　12：50

ニッポ゜ンデ゛ンキ

Ｎｏ.	チャクシンニチジ゛	チャクシンデ゛ータ	アイテサキ
1	8. 20　12：47	123456	ニチデ゛ンタロウ
2	8. 20　11：47	ヒツウチ	
3	7. 21　12：00	コウシュウデ゛ンワ	

本機の設定状態（システムリスト）をプリントする

▶ **途中でプリントをやめたいときは**：［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

システム　リスト

2004. 8. 20　16：13

ニッポ゜ンデ゛ンキ

コ　ウ　モ　ク	ナ　イ　ヨ　ウ
カイセンシュベ゛ツ	DP
ヒョウジ゛ノウド゛	フツウ
ジ゛ブ゛ンノ バ゛ンゴ゛ウ	0312345678
ハッシンモト　キロク	スル
ハッシンモト	ニッポ゜ンデ゛ンキ

通信管理レポートをプリントする

ファクスを送信または受信した履歴を、最新の20 件までプリントします。

▶ **途中でプリントをやめたいときは**：［ストップ］ボタンを押してください。

・通信データがない場合にはプリントされません。ディスプレイに“ツウシンデータ　アリマセン”と表示されます。

プリント例

ツウシン　カンリ　レポ゜ート

2004.　8.25　13:54

（ソウシン）　　ニッポ゜ン　デ゛ンキ

ツウシン　カイシ　ニチジ゛	ツウシン　ジ゛カン	アイテサキ	モート゛	マイスウ	ツウシン　ケッカ
8.23　13:07	0’27”	30	ECM	1	O.K.
8.23　13:43	0’26”	イトウ	ECM	1	O.K.
8.25　13:43	0’29”	カトウ	ECM	1	O.K.

＜通信管理レポートの通信結果の意味＞

「ハナシチュウ」
・相手先が通話中である

「ヨビダシ」
・相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

「ムオウトウ」
・相手先が受信できない状態になっている
・相手先が電話に出ない
・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

「××（2桁の英数字）」
・エラーコードが表示されたとき（→P.89）

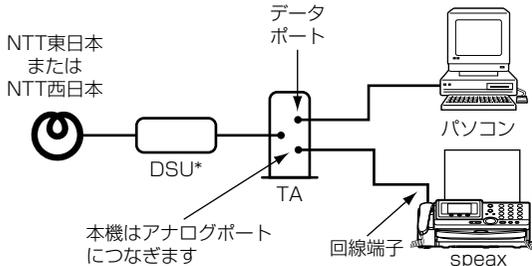
「O.K.」
・通信が正常に行われた

「チュウダン」
・通信中に（自分が）中断操作をした

「ショウキョ」
・メモリ受信したファクスを消去した（→P.78）

INS ネット 64 を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットやパソコン通信をしながら電話が使えます。

・INSネット64を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。
・本機のほかに、次の機器が必要です。
○ ISDN ターミナルアダプタ（TA）
○ デジタルサービスユニット（DSU）

＊ TAの機種によってはDSUが内蔵されています。詳しくはTAの取扱説明書を参照してください。

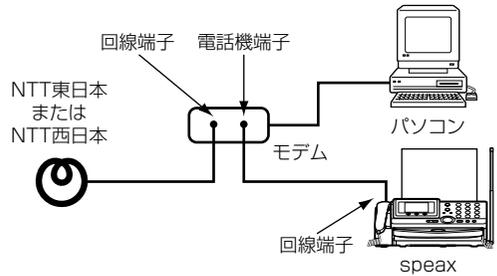
・回線種別の設定は TA の取扱説明書を参照して、設定してください（回線種別の自動／手動設定→ P.68）。
・TA の設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、「0077」などから始まる番号や、電話帳登録（→P.28）で「ポーズ」を入力した番号に電話をかけられないことがあります。

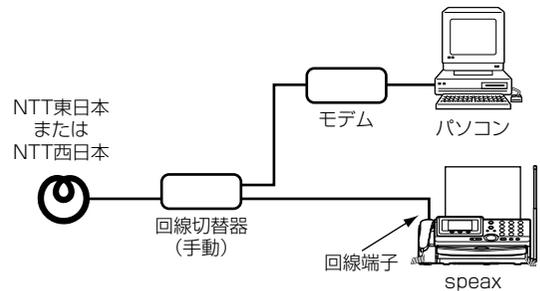
▶ **ナンバー・ディスプレイを利用するときは**：INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

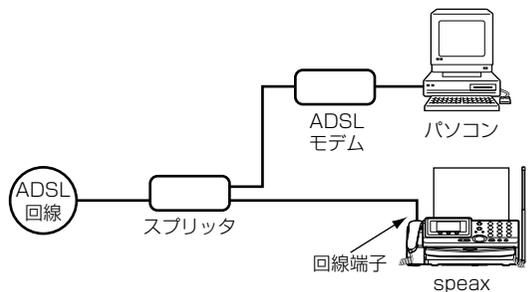
▶ **ダイヤルインサービスを利用するときは**：TAの取扱説明書に従って設定してください。TAの機種または設定によって、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合はダイヤルインを「利用しない」に設定してください（ダイヤルイン→P.66、67）。

パソコンやモデムにつなぐには

INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信をする場合は、モデムやモデム内蔵パソコンに本機をつなぎます。

・回線種別は手動で設定してください（回線種別の自動／手動設定→ P.68）。
・モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるようにするときは、本機の「電話／ファクス自動切替」がはたらく前に着信するように設定してください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書を参照してください。
・モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
・本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。

回線切替器を使うときは

下図のようにつなぎます。

ADSL 回線を利用するには

・ADSL 回線を利用するには、ADSL 接続事業者と、電話共用型（タイプ 1）の契約が必要です（有料）。
・本機のほかに、次の機器が必要です。
○ ADSL モデム
○ スプリッタ
・誤った接続をすると、通話中の雑音や本機誤動作の原因となります。ご加入のADSL接続事業者に正しい接続方法をお問い合わせください。

・本機はスプリッタのTEL（またはPHONE）端子につなぎます。詳しくはスプリッタまたはADSLモデムの取扱説明書を参照してください。

ADSL回線に切り替わったときに、電話やファクスが使えなくなるときがあります。そのようなときは、次のことを確認してください。

・ブランチ接続をしていませんか? ブランチ接続をしている場合は、本機以外に接続されている機器を外してください(ブランチ接続→P.16)。
・スプリッタを交換することで、電話やファクスが使えるようになる場合があります。詳しくはご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

・ADSL関連機器によっては、正常に動作しないことがあります。お気づきの点がありましたら、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。
・ADSLモデムと接続した場合、回線の自動選択ができないことがあります。ご使用の回線種別を確認のうえ、手動設定してください(→P.68)。

IP電話機能付きADSLモデムにつないだとき

電話として使うとき

次のようなことが起きることがあります。

・ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない
・携帯電話に電話がかけられない
・特殊な相手先(フリーダイヤルなど)に電話がかけられない

このような場合、本機が正常に動作するかどうか、次の確認作業を行ってください。

1.本機をADSLモデムから取り外す
2.ADSLモデムを電話コンセントから取り外す
3.本機を直接、電話コンセントに接続する

この状態で正常に動作する場合は、本機に異常はありません。ご契約内容の条件やADSLモデムの設定などが原因として考えられますので、ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

ファクスとして使うとき

ADSL回線との接続状態やインターネットの状態などによっては、ファクスが正常に送受信できないことがあります。ひんぱんに送受信の異常が発生する場合は、一般電話(加入電話)の回線を経由して電話する方法でご使用ください。一般電話(加入電話)の回線を経由して電話する方法はADSLモデムごとに異なります。

詳しくは、お使いのADSLモデムの取扱説明書をご覧になるか、ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

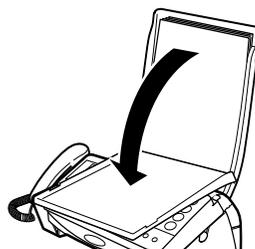
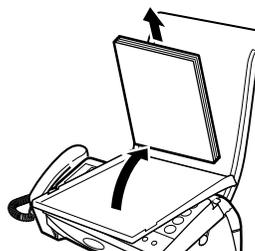
紙づまりのときは

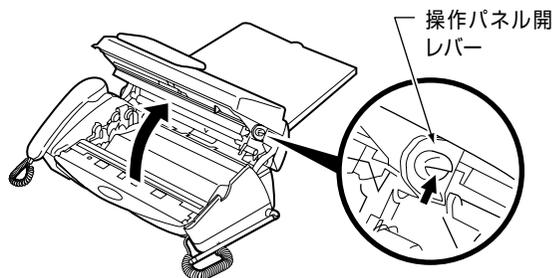
“キロクシガ ツマリマシタ”と表示されたとき

“キロクシガ ツマリマシタ”と“ソウサパネル アケテクダサイ”が交互に表示される場合は、記録紙がつまったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。操作パネルを開け、記録紙がつまっているかどうかを確認してください。

・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

<操作パネルを開ける>

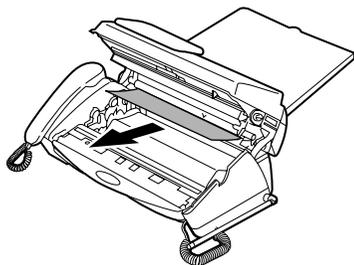
1 記録紙カバーを前に倒す

2 記録紙カセット内にある記録紙を取り除き、記録紙カバーを閉じる

3 操作パネルを開ける

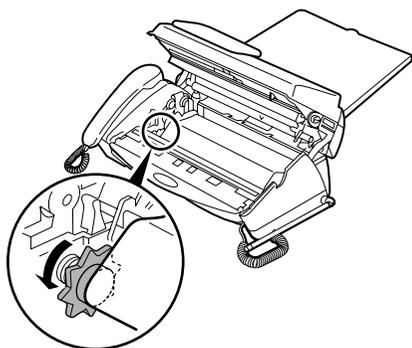
親機右側面にある操作パネル開レバーを引き上げながら、矢印の方向に操作パネルを開けてください。

<記録紙がつまっていなかった場合>

給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください(→P.87)。

<記録紙がつまっていた場合>

1 記録紙を取り除く

つまった記録紙を矢印の方向に引き抜きます。

- 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を親機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

2 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

3 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端（矢印の位置）を、矢印の方向に「カチッ」という音がするまで押し込みます。

- 操作パネルの前端を押すと、閉まりにくい場合があります。

操作パネルを閉じると、"インクフィルムヲ　コウカンシタ?　1:ハイ　2:イイエ" が表示されます。

4 ②カ ABC を押す

5 記録紙をセットする（→P.20）

▶ **"キロクシガ　ツマリマシタ" と繰り返し表示されたときは**：
記録紙給紙用ローラを清掃してください（→P.87）。

"ソウサパネルガ　アイテイマス"と"インクフィルム　コウカン"が交互に表示されたときは

- 操作パネルが浮いています。確実に閉めてください。操作パネルがきちんと閉じていないと、記録紙づまりや原稿づまりの原因となります。
- ハンドスキャナを親機から取り外している状態で操作パネルを閉めたり、電源を入れたりすると表示される場合があります。ハンドスキャナを親機に戻してください。
- ハンドスキャナでコピー中にインクフィルムがなくなったり、インクフィルムがなくなっている状態でハンドスキャナを外すと、この表示が出ます。インクフィルムを交換してください（→P.85）。

"ゲンコウガ　ツマリマシタ"と表示されたとき

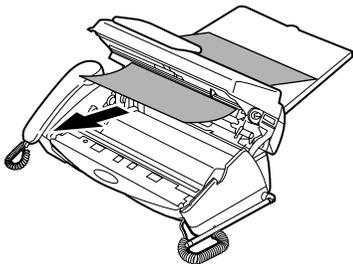
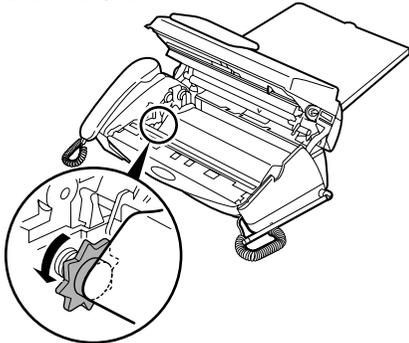
コピーやファクス送信中の原稿がつまっています。

・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

1 記録紙カセット内にある記録紙を取り除き、操作パネルを開ける

「操作パネルを開ける」(→P.83)

2 原稿を取り除く

つまった原稿を矢印の方向に引き抜きます。

3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

4 操作パネルを閉じる

「記録紙がつまっていた場合」の手順3(→P.84)

5 ②(カ ABC) を押す

6 記録紙をセットする(→P.20)

▶ **"ゲンコウガ　ツマリマシタ"と"ローラヲ　セイソウシテクダサイ"が交互に表示されたときは**：原稿送り用ローラを清掃してください(→P.87)。

インクフィルムを交換する

・交換用インクフィルムは、指定(型名：SP-FA430)のインクフィルムをお使いください。当社製以外のインクフィルムは使用できません。また当社製であっても型名：SIF-A4040、SIF-A4030Tのインクフィルムは、使用できません。
・指定以外のインクフィルムを使用すると故障や印字かすれの原因となります。
・廃棄時以外は、インクフィルムカートリッジを分解しないでください。破損する場合があります。
・インクフィルムを巻き戻して使用すると、故障や印字かすれの原因となります。

インクフィルム1本でプリントできる枚数は

テスト用インクフィルム　　：A4記録紙　約20枚
別売インクフィルム(30m)：A4記録紙　約95枚

電源を入れたときやカバーを閉めたとき、品質保証のためインクフィルムの巻き取り(約3cm)を行います。このためご使用の状況によっては、プリントできる枚数が少なくなる場合があります。

インクフィルムカートリッジを取り外す

次の手順でインクフィルムカートリッジ(以降カートリッジと略す)を取り外してください。

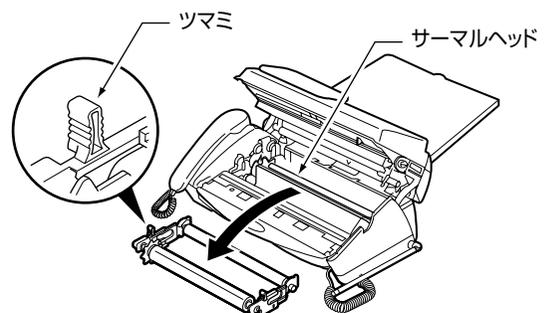
・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで、作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

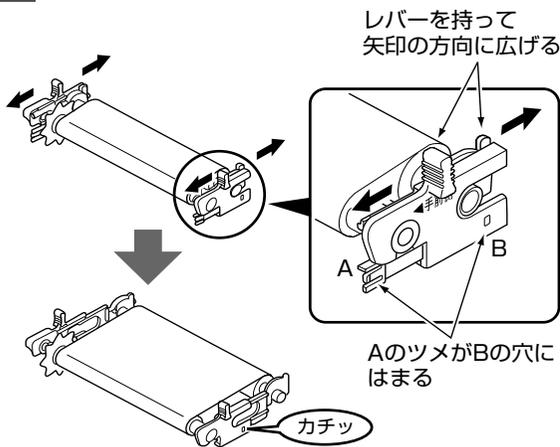
1 記録紙カセット内にある記録紙を取り除き、操作パネルを開ける

「操作パネルを開ける」(→P.83)

2 使用済みカートリッジを取り出す

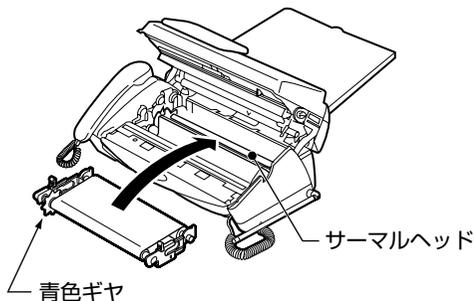
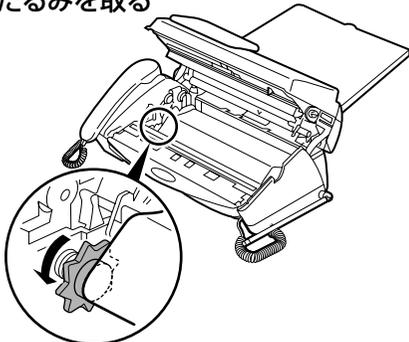
カートリッジの左右のツマミをつまんで取り外してください。

・サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は手を触れないよう、ご注意ください。やけどをする場合があります。
・サーマルヘッド両端の金属部分に手を触れないよう、ご注意ください。

インクフィルムカートリッジを取り付ける

1 新しいカートリッジを広げる

2 カートリッジを取り付ける

青色ギヤが、手前側になるように取り付けてください。

- サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は手を触れないよう、ご注意ください。やけどをする場合があります。
- サーマルヘッド両端の金属部分に手を触れないよう、ご注意ください。

3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

4 操作パネルを閉じる

ｲﾝｸﾌｨﾙﾑｦ ｺｳｶﾝｼﾀ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ

操作パネルの両端を、「カチッ」という音がするまで押し込みます。

「記録紙がつまっていた場合」の手順３（→P.84）

5 1 を押す

ﾌｨﾙﾑｻﾞﾝﾘｮｳ ﾘｾｯﾄ?
1:ｼﾞｯｺｳ 2:ﾄﾘｹｼ

- [2]（イイエ）を選ぶと、フィルムの残量が正しく表示されません。

6 1 を押す

ﾘｾｯﾄ ｼﾏｼﾀ

- [2]（トリケシ）を選ぶと、フィルムの残量が正しく表示されません。

7 記録紙をセットする（→P.20）

インクフィルムの処分方法について

- 使用済のインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエステル、カートリッジはポリエチレン、金属などでできています。使用済のインクフィルムは、お住まいの地域で定められた分別により捨ててください。

お手入れのしかた

- お手入れ前に親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜くと、時計のデータなど、消えてしまう情報（→P.90）がありますので、ご注意ください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

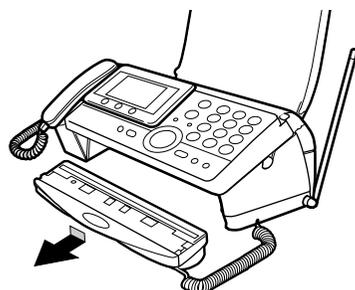
親機・子機の外装の清掃

本機の表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

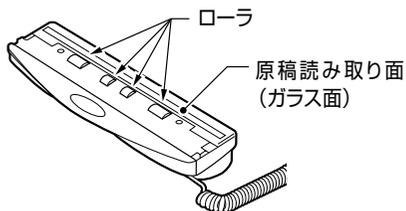
水拭きをするときは、布を固く絞ってから拭いてください。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手先の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンドスキャナを下に押しながら手前に引き抜く

2 ガラス面を柔らかい布で拭く

3 ローラを拭く

水に浸した布を固く絞って、拭いてください。

4 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込みます。

原稿送り用ローラの清掃

原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因になります。月に１回くらいの周期で清掃してください。

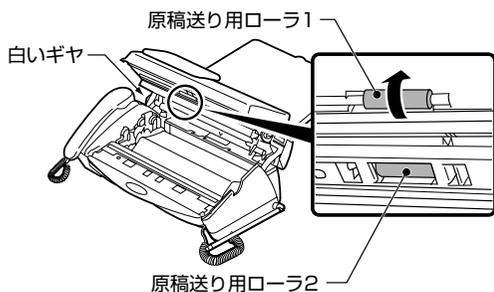
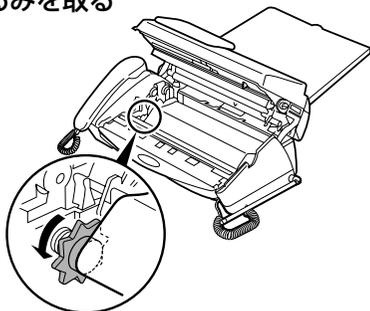
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

1 記録紙カセット内にある記録紙を取り除き、操作パネルを開ける

「操作パネルを開ける」（→P.83）

2 原稿送り用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラ1を手で矢印の方向に回しながら、原稿送り用ローラ1および2の表面全体を拭きます。

・ローラの軸に取り付けられている白いギヤには潤滑剤が塗布されていますので、触らないようにしてください。

3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

4 操作パネルを閉じる

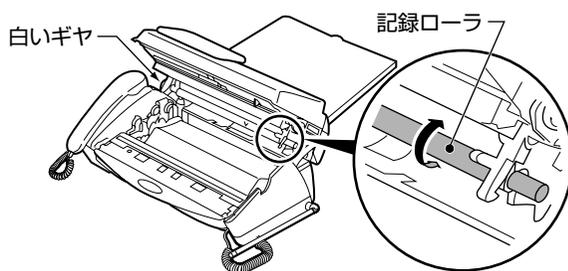
「記録紙がつまっていた場合」の手順３（→P.84）

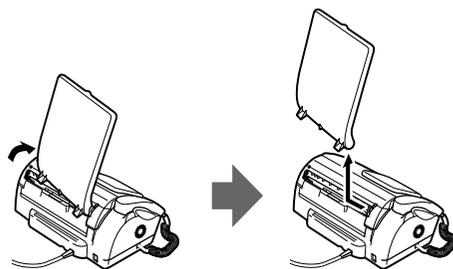
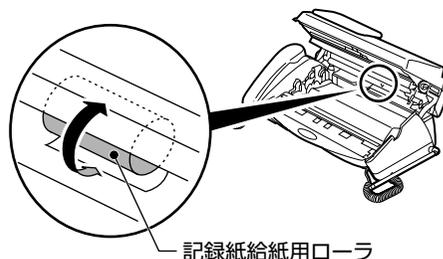
5 記録紙をセットする（→P.20）

記録ローラの清掃

記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。

水に浸した布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

・ローラの軸に取り付けられている白いギヤには潤滑剤が塗布されていますので、触らないようにしてください。

記録紙給紙用ローラの清掃

・記録紙給紙用ローラを清掃するときは、操作パネルを開ける前に記録紙カセットから記録紙を取り除き、記録紙カセットを取り外してください。記録紙カセットを取り外さないと、記録紙給紙用ローラが隠れてしまい、拭くことができません。

長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

子機について

電池パックを交換する

⚠ 危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因になることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
  また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

・電池パックは、必ず本機専用のものを使用してください。

電池仕様：SP-N1, 2.4V, 600mAh

型　名		希望小売価格
SP-N1	（ニカド電池）	1,680円（税抜1,600円）

・新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したときは、子機を充電器に置いて10時間以上充電してください。

・電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、電池パックを取り出し、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。

Ni-Cd

・「ニカド電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。

○ 本機または電池パックをお買い上げいただいた販売店

○「（社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局（（社）電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/　（平成16年6月現在）をご参照ください）

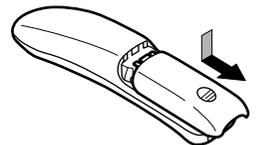
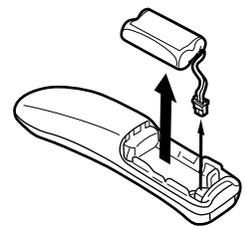
・電池パックの寿命はお使いになり始めてから約2年です。

・電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

・電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。

> ・電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。
> ・電池パックは必ず本機専用のもの（SP-N1）を使ってください。
> ・電池パックのコードを強くひっぱらないでください。また、電池カバーではさまないように注意してください。故障の原因になります。

1 電池カバーを外す

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。

2 古い電池パックを取り出す

3 新しい電池パックを取り付ける（→P.18）

4 充電器に置いて充電する

新しい電池パックは充電されていません。10時間以上、充電してください。

子機を増設するとき

増設する子機は別途、本機をお買い上げいただいた販売店で、お買い求めください。

> ・お買い求め時には、必ず下記の型名をご指定ください。指定以外の子機はご使用になれません。

型　名	希望小売価格
SP-ZK30（カナ表示）	13,650円（税抜13,000円）

・増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて合計で３台です。

	付属	増設
SPX-S32	１台	２台
SPX-S32W	２台	１台

・増設子機を使える状態にするには、識別番号（IDコード）の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。

子機どうしの通話

子機が2台以上ある場合、子機どうしの通話はトランシーバー方式での簡易子機間通話となります。双方向の通話はできません。

子機の電池パックを交換するときなど、電池パックのコードを抜き挿しすると子機の中の情報には消えてしまうもの、消えないものと初期の設定値に戻るものがあります。

消えてしまう情報
• 着信データ .... →P.61
• リダイヤル（再ダイヤル） .... →P.24
消えない情報
• ワンタッチダイヤル .... →P.32
• らくらく電話帳 .... →P.29
初期の設定値に戻る情報
• キータッチトーン（お買い上げのとき:ON） ..... →P.71
• クイック通話（お買い上げのとき:OFF） .... →P.23
• 受話音量（お買い上げのとき:標準） .... →P.35
• ベル音量（お買い上げのとき:大） .... →P.34

エラーコードが表示されたとき

ファクス送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに"ツウシン　イジョウ"などのアラームメッセージが表示されます。

・送信時の異常の場合…不達レポートが自動でプリントされます（→P.38）。

・受信時の異常の場合…通信管理レポートをプリントする操作を行ってください（→P.81）。

各レポートの"ツウシン　ケッカ"欄に記録される２桁の英数字（エラーコード）で、下表より異常内容と対処方法を確認してください。

■エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	→P.20
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	→P.83
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。メモリ受信を「しない」に設定すれば記録紙受信することができます。	→P.47、78
46	原稿がつまりました。セットし直してください。	→P.85
47	操作パネルが開いています。閉めてください。	→P.84
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	–
74,75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	–
76,77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手先のファクスの記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	–
92,96,97,98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	–
BA	インクフィルムがなくなりました。新しいインクフィルムに交換してください。	→P.85

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。再度送受信してみてください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。

停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

なお登録中、送受信中、録音中に停電したときは動作中の設定値、文書、用件は保存されずに消えてしまいます。

消えてしまう情報	消えない情報
• ハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書 ……→P.43 • 親機に記憶されているリダイヤルの電話番号 ……→P.24 • 時計のデータ ……→P.21、68 • ナンバー・ディスプレイ利用時、親機に記憶されている着信データ ……→P.61 • おやすみモード ……→P.52 • おやすみモードのタイマ切替 ……→P.53	• メモリ代行受信文書 ……→P.40 • 留守番電話に録音した自作応答メッセージ ……→P.48 • 留守番電話に録音された用件 ……→P.47 • 通話録音した内容 ……→P.32 • 通信管理レポート ……→P.81 • 子機に記憶されている電話帳・リダイヤル・着信データ ……→P.24、29、61 • インクフィルム残量 ……→P.14 • 登録した電話番号や各種の設定値

停電が復旧したとき

- 停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。
  ハンドスキャナ送信中に停電したときは、メモリクリアレポートが自動的に出力されます。
- 停電したときは、時計が初期化され、2004年1月1日0時0分になります。
  この場合は、時刻をセットしてください（時刻をセットする→P.21）。
- おやすみモードのときに停電した場合、おやすみモードは解除されます。時計を再セットするまで、おやすみモードのタイマ切替は機能しません（時刻をセットする→P.21）。

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア　　レポ゜ート

ニッポ゜ン デ゛ンキ

イカノ　ナイヨウガ゛、テイデ゛ンニヨリ　クリア　サレマシタ。

ハント゛スキャナ　ソウシン　フ゛ンショ

ウケツケ　ニチジ゛	ツウシン　ジ゛カン	アイテサキ	モート゛	マイスウ	ツウシン　ケッカ
8．20　14：35	0’00”	0312345679	ECM	1	テイデ゛ン

困ったときは（Q&A）

	こんなときは	内　容	参照ページ
待ち受け中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか?	P.21
	“ソウサパネルガ　アイテイマス”“インクフィルム　コウカン”と交互に表示が出た	・操作パネルが開いているか、インクフィルムがなくなっています。 ・ハンドスキャナを親機に戻してください。	P.84 P.42
	“キロクシガ　ツマリマシタ”“ソウサパネル　アケテクダサイ”と交互に表示が出た	・記録紙がつまっていませんか？　記録紙がつまっている場合は、操作パネルを開けて記録紙を取り除いてください。 ・記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。	P.83、84 P.87
	“フツウシヲ　イレテクダサイ”と表示が出た	・受信した文書や、自動で出力されるレポートのプリント待ちです。記録紙をセットしてください。	P.20
	ハンドスキャナが外れていないのに“ハンドスキャナ　A4 −> A4 ”が表示される	・操作パネルがしっかり閉まっていないと、表示される場合があります。操作パネルを閉め直してください。	P.84
	“＊チャイルドロック　チュウ＊”“カイジョ　#ヲ　2ビョウオス”と表示が出た	・［#］を２秒以上押して、チャイルドロックを一時的に解除してください。	P.72
電話（親機／子機）	受話器から何も聞こえない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器用コードは接続されていますか？ ・子機を使用中ではありませんか？	P.21 P.20 P.20 P.23
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタを使用していませんか？	P.68 P.82
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインの契約をしている場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	P.55、67 P.67
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	P.33、34
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.33、34
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手先がファクスかもしれません。親機の［スタート／コピー］ボタン（子機では［内線］ボタンを押したあと［6］）を押してください。	P.39
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P.34、35
	トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは?	・P.35 をご覧ください。	—
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・P.38、74 をご覧ください。	—
	公衆電話で電話をかけた相手先から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P.38、74 をご覧ください。	—
	電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか?	・相手先が NTT 東日本または NTT 西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手先のファクスに表示されます。	P.54 P.69
	親機から子機を呼び出せない 親機に次の表示が出た “デンパ　シヨウチュウ” “コキ　オウトウ　アリマセン” 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・親機あるいは子機の近くに電気製品や電子機器がありませんか？　約 2m 以上離してご使用ください。 ・近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機は充電されていますか？	P.17 P.19

	こんなときは	内　容	参照ページ
電話（親機／子機）	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・相手先がナンバー･ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P.54
	“カイセン　カクニン”と表示が出た	・電話回線接続コードが抜けていませんか? ・話し中に相手先が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P.20
	受話器が温かい	・コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなることがありますが、問題なくご使用いただけます。	―
電話（子機）	電話がかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか? ・子機は充電されていますか? ・親機に電話回線が接続されていますか? ・親機から離れ過ぎていませんか?　親機に近づいてください。 ・親機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていませんか? ・[通話] ボタンを押しましたか?	P.21 P.19 P.20 P.17 P.23
	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか? ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか?	P.34 P.17 P.19
	相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。 ・いつも聞き取りにくいときは、子機の受話音量を全体的に大きく設定してください。	P.35 P.75
	相手先からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	・送話音量を全体的に大きく設定してください。	P.75
	通話中に声が途切れたり雑音が入る	・子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。雑音がひどい場合は、次のことをご確認ください。 － 親機に近づいてみてください。 － 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 － テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 － 蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 － 子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。	P.17
	通話中に「ピッピッピッ…」という音が鳴り、 が点滅した	・電池パックの充電残量が少なくなっています。充電をしてください。	P.19
	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	P.88
	充電器に置いたとき、[切] ボタンが点灯しない	・充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでありますか? ・充電器に正しく置いてください。	P.18 P.19
	他のファクスの子機を本機の子機として使えるのか?	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	P.88
	増設子機が使えない	・増設子機に対する識別番号（IDコード）の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。	P.89
	子機で通話中、突然通話が切れて、親機が保留状態になる	・親機に近づいて使用してください。 ・電池パックを交換してください。	P.17 P.88
ファクス（コピー）	コピーが白紙になる	・コピーする面を裏向きにして原稿をセットしましたか?	P.36
	コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	・[ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 P.85 P.87 P.20、83
	コピーがかすれた、うすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーを取ってください。	P.76
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り面を清掃してください。 ・当社指定の記録紙を使用してください。	P.86 P.15

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（コピー）	コピー面の左端または右端が欠ける（シングルコピー→P.41）	・A4原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、左右どちらかに合わせてコピーをすると、プリント結果が約２〜3cm欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	P.36
	コピー画面の両端または片側に、数本黒い線が印刷される（マルチコピー→P.41）	・A4原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、左右どちらかに合わせてコピーをすると、プリント結果が縮小され、両端または片側に黒い線がプリントされる場合があります。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	P.36
	記録紙の裏面が汚れる	・記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	P.87
	B4サイズの原稿をコピーすると、両端が欠ける	・シングルコピーでは、A4サイズ幅でのプリントとなり、両端が印刷されません。 ・B4→A4に縮小してプリントしたい場合は、マルチコピーまたはハンドスキャナコピーで行ってください。	P.41 P.41、43
	原稿とプリント結果のサイズが違う	・原稿の厚さと表面状態の差により、送り誤差（原稿読み取りの伸び縮み）があります。 ・原稿送り用ローラが汚れていると、送り誤差がでる場合があります。原稿送り用ローラを清掃してください。	 P.87
ファクス（送信）	原稿をセットすると“ゲンコウガ　ツマリマシタ”の表示が出る 原稿をセットしたのに“ゲンコウガ　アリマセン”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が厚すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。 ・原稿が薄すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。 ・原稿が小さすぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。	P.85 P.87 P.36、43
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	P.85 P.36 P.87
	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、やり直してください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	P.85 P.87
	原稿が送られず、“アイテサキ　ムオウトウ”と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
	原稿が送られず、“アイテサキ　ハナシチュウ”と表示が出た	・相手先が話し中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	—
	何回送信しても“サイハッコ　マチ”になる	・相手先が話し中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・手動で送信してみてください（手動とは、電話をかけて話しをして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。	P.37 P.38
	送信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手先のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
	送信に時間がかかる	・画質モードの設定が「コマカイ」、「シャシン」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.37
	モーター音が大きくなることがある	・送信に時間がかかるときには、モーター音が若干大きくなることがありますが、故障ではありません。	P.37
	海外への送信ができない	・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です（手動とは、電話をかけて話しをして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。 ・海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.38 P.77

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	送ったファクスが縮小された	・相手先のファクス（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4に縮小して送信されます。 ・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左右どちらかに合わせて送信すると縮小して送信され、記録面の両端または片側に黒い線がプリントされます。原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。	P.37 P.36
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。 ・1つ上の項目も参照してください。	—
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？　送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	P.36
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	P.76
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	P.41、86 P.65 P.37
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	P.41、86
ファクス（受信）	“シバラク　オマチクダサイ”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	—
	“ソウサパネルガ　アイテイマス”“インクフィルム　コウカン”と交互に表示が出た	・操作パネルが開いているか、インクフィルムがなくなっています。 ・ハンドスキャナを親機に戻してください。	P.84 P.42
	“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示が出た	・記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまっています。	P.87 P.83
	“フツウシヲ　イレテクダサイ”と表示が出た	・記録紙がなくなっています。	P.20
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録・設定中のときは、[ストップ] ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・着信ベル回数が8回以上に設定されている場合、相手先が自動送信のファクスのときは受信できないことがあります。 ・着信モードを電話専用に設定しているときは自動受信できません。 ・留守番電話などで、録音された用件によってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な用件を消去してください。	P.39 P.74 P.73 P.47
	受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・[ストップ] ボタンを押すと音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手先のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、送り直してもらってください。	P.87 P.20、83 P.85

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	受信した記録紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	—
	受信した記録紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を２枚目と認識して白紙の記録紙を出力することがあります。 ・受信縮小率を100%に設定している場合は、記録紙が２枚に分かれ、２枚目が白紙になることがあります。	P.77
	受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	P.65 P.41
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 コピーに黒いすじが入るときは、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください。	P.41 P.99
	記録紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	・A4長を超える原稿を受信した場合、記録紙が２枚以上に分割されます。 このとき、記録紙が１枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。常に多めに記録紙をセットしておいてください。	—
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は20枚までです。 ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわ、折れのある記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 ・記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	P.15 P.20 P.87
	記録紙が一度に複数枚送られる	・当社指定の記録紙を使用してください。 ・記録紙はよくさばいてください。 ・記録紙を記録紙カセットに入れるときは、さばいた側を下に先端をそろえて、そっと置いてセットしてください（奥まで差し込まないでください）。 ・記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取りだし、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえてそっと置いてセットしてください。 ・しわ、折れのある記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。	P.15 P.20
	プリントした記録紙が汚れるとき	・記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	P.87
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・同じ回線にモデムが接続されていませんか？　モデムの電源をOFFにしてテストしてください。 ・応答メッセージや通話録音、留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ受信ができません。不要な用件などを消去してください。メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。	P.82 P.47、78
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	・本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 −不要な用件を消去する −メモリ受信を「しない」に設定する −不要なメモリ文書を消去する	P.47 P.78

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	海外からの受信ができない	・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	P.46
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	—
	ファクスかんたん受信ができない	・ファクスかんたん受信を「する」に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などがありませんか？ ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の[スタート／コピー] ボタンを押してください。子機では［内線］ボタンを押したあとに［6］を押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。	P.76 P.39
	A4 の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 ・受信縮小率を93%、90%、85%に設定していませんか？	P.77
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	・記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。	P.40
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	・P.40 をご覧ください。	—
	子機で出たときのファクスの受信方法は？	・P.39 をご覧ください。	—
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。メモリ文書があるときは、アラームを解除して出力するか、消去してください。	P.47、78
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・トールセイバを「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.51
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.34
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を７回以下に設定してください。	P.74
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・リモート操作を「する」に設定してありますか？	P.46 P.49
	用件転送は6 秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.50
	応答メッセージが流れない	・着信中に［留守］ボタンを押したとき、留守設定はされますが、モニタスピーカからメッセージは流れません。 ・おやすみモードになっていませんか？	P.46 P.52
ハンドスキャナ	“ハンドスキャナ　サイセット”と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	P.42
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	P.41 P.42
	読み取り中に「ピッピッ…」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.43
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読取位置マークに合わせてください。	P.42
	ハンドスキャナで読み取ると、拡大または縮小コピーになる	・拡大／縮小の設定を確認してください。	P.44

	こんなときは	内　容	参照ページ
いろいろなサービス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・P.65をご覧ください。	―
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。	P.65
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	―
	NTT東日本またはNTT西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・着信ベル回数を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.74
	ナンバー･ディスプレイに加入し、使用しているが、着信データが親機には残るが、子機に残らないときがある	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？ 子機を親機に近づけてみてください。 ・子機の呼び出しが行われる前に親機で電話に出ていませんか？ ・着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われず着信データが子機に残らないことがあります。	P.17 P.57、59
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	―
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・P.82をご覧ください。	―
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。本機とパソコンを離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。 回線切替器により本機とパソコンを分離してください。	P.17 P.82
その他	“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されるが、原稿が取れない	・操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.85
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は文字入力一覧表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	本書の最終ページ
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機の場合は、電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	P.21 P.18
	引越しなどで電話番号が変更になったときは？	・回線種別の設定が合っているか確認してください。 ・NTTサービスなどを契約している方は再度、サービスごとの設定を確認してください。 ・親機に、発信元や自分の電話番号を登録している場合は、新しい電話番号を登録し直してください。	P.68 P.21 P.69、70
	操作を間違えた	・P.22をご覧ください。	―

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕様

ファクス

項目	仕様
原稿サイズ	最大:257(幅)×1000(長さ)mm 最小:128(幅)×128(長さ)mm
記録紙サイズ	普通紙 ・A4サイズ(210×297mm) ・厚さ 0.08～0.1mm
記憶容量*1	A4(700文字程度)の原稿で約25枚(最大10文書)
有効読取幅	B4のとき:250mm A4のとき:208mm
有効記録幅	205mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査、またはハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査 8ドット/mm 副走査 細かい:15.4 line/mm 小さい: 7.7 line/mm 普 通: 3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM*2
通信速度	9600/7200/4800/2400 bps
電送時間*3	G3:約27秒 ECM:約12秒
記録方式	熱転写記録方式
適用回線	・一般電話回線 ・モデムダイヤルイン回線 ・NCC回線
自動受信	有(電話/ファクス自動切替機能内蔵)
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	待機時 :約0.5W 送信時 : 約15W (標準的原稿) 受信時 : 約16W (標準的原稿) コピー時: 約21W (標準的原稿) 最大時 : 約90W
直流抵抗	107Ω(20mA)
外形寸法	約336(横幅)×223(奥行き)×138(高さ)mm(突起部を除く)
質量	約3.4kg(記録紙、インクフィルムを除く)
使用環境	温度: 5～35℃ 湿度:35～85%
推奨環境	温度:15～30℃ 湿度:35～70%

・本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
・本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。speax(スピークス)インフォメーションセンターにご相談ください(→P.99)。

コードレス電話

項目	仕様
使用可能距離	見通し距離:約100m
使用周波数帯	250MHz / 380 MHz 帯
送信出力	10mW(FM)

<子機>

項目	仕様
電源	DC 2.4 V(専用ニカド電池使用)
電池充電時間	約10時間
電池持続時間	連続待受時:約200時間*4 連続通話時: 約6時間
外形寸法	約46(横幅)×43(奥行き)×185(高さ)mm(突起部を除く)
質量	約150g(電池パックを含む)

<子機充電器>

項目	仕様
外形寸法	約76(横幅)×100(奥行き)×60(高さ)mm
質量	約155 g(電源コード含む)
消費電力	約1.0 W(充電時)
電源	AC 100V 50/60 Hz

・充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

項目	仕様
録音方式	DPS方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分(標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作:2 固定:1

*1:記憶容量は、留守番電話の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。

*2:メモリ受信を「しない」に設定(→P.78)している場合の受信は、G3モードになります。

*3:電送時間は、A4版700文字程度の原稿を画質モード「フツウ」(8×3.85line/mm)、通信速度9600bpsで送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手先の機種、回線の状態により変化します。

*4:待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。

操作早わかりガイド

親機で

:受話器をとる　:受話器を戻す　○ :ボタンを押す

電話	
電話をかける	受話器をとる ➡ 相手先番号 ➡ 通話 ➡ 受話器を戻す
オンフックでかける	オンフック ➡ 相手先番号 ➡ 受話器をとる ➡ 通話 ➡ 受話器を戻す
リダイヤルする	電話帳 ➡ 相手先を選ぶ ➡ 受話器をとる ➡ 通話 ➡ 受話器を戻す
電話を受ける	着信音（ベル） ➡ 受話器をとる ➡ 通話 ➡ 受話器を戻す
保留する	通話中 ➡ 保留/内線 ➡ 受話器を戻す
通話に戻る	保留中 ➡ 受話器をとる ➡ 通話
子機で話す	保留中 ➡ 子機 ➡ 通話 ➡ 子機で通話 ➡ 子機 または 切
転送 子機へ	外線と通話中 ➡ 保留/内線 ➡ 内線番号* ➡ 子機と通話 ➡ 受話器を戻す ※ 子機が出ないときは［保留／内線］ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 ➡ 子機 ➡ 通話 ➡ 親機と通話 ➡ 外線と通話
内線通話	保留/内線 ➡ 内線番号* ➡ 受話器をとる ➡ 子機と通話 ➡ 受話器を戻す
〈子機〉	親機からの呼出 ➡ 子機 ➡ 通話 ➡ 親機と通話 ➡ 子機 または 切
ワンタッチダイヤルボタンでかける	1 ○ ～ 3 ○ ➡ 受話器をとる ➡ 通話 ➡ 受話器を戻す
らくらく電話帳でかける	電話帳 相手先を選ぶ ➡ 受話器をとる ➡ 通話 ➡ 受話器を戻す
通話録音	外線と通話中 ➡ 留守 ➡ 録音 ➡ ストップ
録音内容を聞く	再生 ➡ 再生 ➡ ストップ ※ 外線と通話中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。

電話		
音量調整	ベル音量	待ち受け中 ➡ 小 音量 大 切 ↔ 1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4 ↔ 5 ↔ 6 ↔ ステップアップ
	モニタスピーカ音量	オンフック ➡ 小 音量 大 切 ↔ 小 ↔ 中 ↔ 大
	受話音量	通話中 ➡ 小 音量 大 小 ↔ 中 ↔ 大
トーン信号を送る		電話をかける ➡ ＊ トーン 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用		外線と通話中 ➡「プルルー・プップッ」 ➡ キャッチ/ポーズ ➡ 次の人と通話 ➡ キャッチ/ポーズ ➡ 最初の人と通話 ➡ （繰り返し）
チャイルドロックの一時解除		# 2秒以上押す

*内線番号 ・親機…………内線1
・付属の子機…内線2
・増設子機……1台目:内線3**、2台目:内線4
・すべての子機を一斉に呼ぶとき…［*］
（子機を2台以上使用している場合）

**SPX-S32Wでは内線3も付属の子機となります。

ファクス／コピー		
画質モード		画質 ○ →フツウ→チイサイ→コマカイ→シャシン
自動送信		原稿セット ➡ 相手先番号 ➡ スタート/コピー
ワンタッチダイヤルボタンで送信		➡ 1 ～ 3
電話帳で送信		原稿セット ➡ 相手先を選ぶ ➡ スタート/コピー
手動送信		原稿セット ➡ ➡ 相手先番号 ➡ 通話 ➡ ➡ 相手先が受信操作 ➡ スタート/コピー ➡
手動受信	かんたん受信「する」	着信音（ベル） ➡ ➡ 「ポー･ポー…」 ➡ 「ファクシミリを受信します…」 ➡
	かんたん受信「しない」	着信音（ベル） ➡ ➡ 「ポー･ポー…」 ➡ スタート/コピー ➡
	通話してから受信する	通話中 ➡ 相手先が送信操作 ➡ 「ポー･ポー…」 ➡ スタート/コピー ➡
コピー		原稿セット ➡ スタート/コピー ➡ （複数部コピーするときは部数を指定） ➡ ➡ スタート/コピー

ハンドスキャナ	
準備	ハンドスキャナを外し、原稿の上に置く ➡ 画質選択 ➡ ➡ コピーまたはファクス送信（下記へ）
コピー	準備（上記から） ➡ スタート/コピー ➡ 読み取り ➡ ストップ ➡ ➡ ハンドスキャナを戻す
ファクス送信	準備（上記から） ➡ 相手先番号 ➡ スタート/コピー ➡ 読み取り ➡ ➡ ストップ ➡ 1 ➡ ハンドスキャナを戻す

留守電		
留守の設定／解除	留守	
用件の再生	再生 ➡ 再生	※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと［消去］ボタンを押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 ➡ 消去	
おやすみモードの設定／解除	おやすみ	

子機で

:充電器からとる　:充電器に戻す　:ボタンを押す

クイック通話がONのとき

電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると［通話］ボタンを押さずに相手先と話すことができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手先を確認してから、［通話］ボタンを押して相手先と話すことができます。

（本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。）

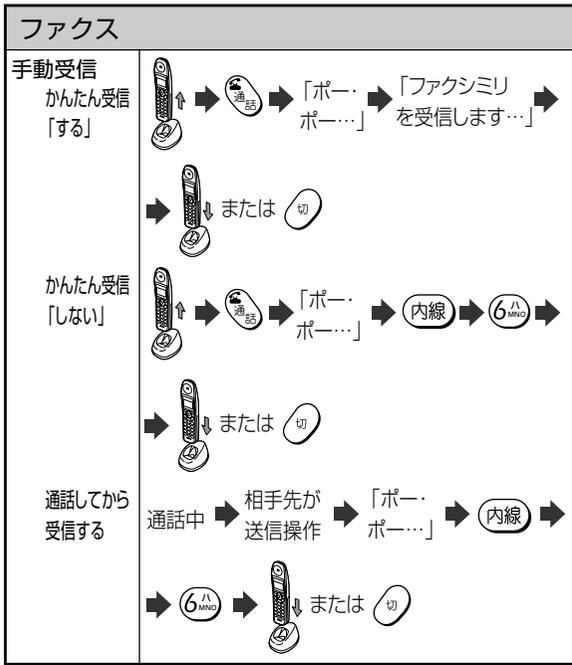
電話	
電話をかける	→ 通話 → 相手先番号 → 通話 → または 切
リダイヤルする	→ → → 相手先を選ぶ → → 通話 → 通話
電話を受ける	着信音 → → 通話 → 通話
保留する	通話中 → 保留消去 → または 切
通話に戻る	保留中 → → 通話 → 通話
親機で話す	保留中 → → 親機で通話
転送 親機へ	外線と通話中 → 内線 → 1ア → 親機と通話 → または 切 ※親機がでないときは［内線］ボタンを押します。
〈親機〉	子機からの呼出 → → 子機と通話 → 外線と通話
他の子機へ	外線と通話中 → 内線 → 内線番号* → 転送を伝える → または 切 ※子機がでないときは［内線］ボタンを押します。
〈子機〉	子機からの呼出 → → 通話 → 相手先の声を聞く → 外線と通話

電話	
内線通話	→ 内線 → 1ア → 親機と通話 → または 切
〈親機〉	子機からの呼出 → → 子機と通話 →
簡易子機間通話 トランシーバー方式	待ち受け中 → 内線 → 内線番号* → 話す → キャッチ（送受話の切り替え） → 聞く ⇅ 話す → または 切 ※送受話を切り替えられるのは、送話側のみです。
ワンタッチボタンでかける	→ ワンタッチ → 通話 → または 切
らくらく電話帳でかける	→ → 相手先を選ぶ → 通話 → 通話
すばやく探してかける	→ → 該当する行のダイヤルボタンを何度か押し、相手を表示させる → 通話 → 通話
音量調整 受話音量	→ 通話 → → （標準→大→特大） → または 切
音量調整 ベルの鳴／切	待ち受け中 → 2秒以上押す（切→大→小）
トーン信号を送る	電話をかける → ＊トーン 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 → 「プルルー・プップッ」 → キャッチ → 次の人と通話 → キャッチ → 最初の人と通話

*内線番号 ・親機…………内線１
・付属の子機…内線２
・増設子機……１台目:内線３**、２台目:内線４
・親機とすべての子機を一斉に呼ぶとき…［＊］

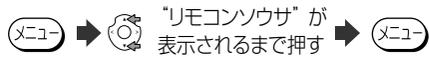
**SPX-S32Wでは内線３も付属の子機となります。

ファクス

手動受信 かんたん受信「する」	➡ 通話 ➡「ポー・ポー…」➡「ファクシミリを受信します…」➡ または 切
かんたん受信「しない」	➡ 通話 ➡「ポー・ポー…」➡ 内線 ➡ 6ハMNO ➡ または 切
通話してから受信する	通話中 ➡ 相手先が送信操作 ➡「ポー・ポー…」➡ 内線 ➡ 6ハMNO ➡ または 切

留守電

設定	待ち受け中 ➡「リモコンソウサ」を選ぶ（下記）➡ 20秒以内に 7マPQRS ➡ または 切
解除	待ち受け中 ➡「リモコンソウサ」を選ぶ（下記）➡ 20秒以内に 9ラWXYZ ➡ または 切
用件の再生	待ち受け中 ➡「リモコンソウサ」を選ぶ（下記）➡ 20秒以内に 2カABC ➡ 再生 ➡ または 切
早送り	用件を再生中 ➡ 3サDEF
巻き戻し	用件を再生中 ➡ 1ア
再生中の用件を消去	用件を再生中 ➡ 8ヤTUV
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 ➡「用件は以上です」➡「ピッピッピッ…」➡ 6秒以内に 8ヤTUV ➡ または 切

「リモコンソウサ」の選びかた

メニュー ➡ “リモコンソウサ”が表示されるまで押す ➡ メニュー

外出先からの操作（外線リモート）

本機に電話をかける ➡ # パスワード # ➡ 操作コード（下記）

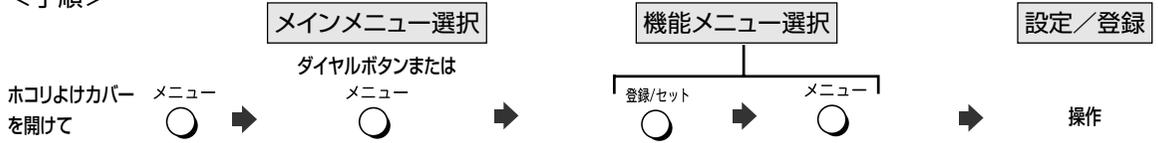
（プッシュ信号）

操作コード

・巻き戻し	# 1 #	・留守設定	# 7 #
・用件再生	# 2 #	・留守設定解除	# 9 #
・早送り	# 3 #	・用件消去	# 8 #
・用件転送設定	# 6 1 #	・用件転送解除	# 6 2 #

機能設定／登録早見表

＜手順＞

	メインメニュー選択		機能メニュー選択				設定／登録
ホコリよけカバーを開けて メニュー ○	➡	ダイヤルボタンまたは メニュー ○	➡	登録/セット ○	➡ メニュー ○	➡	操作

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録（[ ] はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
1 ア	ショキセッテイ	ヒヅケ・ジコク	年月日と時刻の登録	P.68
		カイセンシュベツ	PB 、[DP]、ジドウカイセンセンタク	P.68
		ヒョウジノウド	■□□□□、■■□□□、[■■■□□]、■■■■□、■■■■■	P.69
		ジブンノバンゴウ	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	P.69
		ハッシンモトキロク	[○（する）]、×（しない）	P.70
		ハッシンモトトウロク	自分の名前（最大40文字）を登録する	P.70
		キータッチトーン	[○（鳴らす）]、×（鳴らさない）	P.71
		タイキチュウノバックライト	[ショウトウ]、テントウ	P.71
		チャイルドロック	○（ロックする）、[×（ロックしない）]	P.72
2 カ ABC	デンワキノウ	ベルオン・メロディ	[ベル（ヒョウジュン）]、ベル（ナリワケ）、メロディ（A～C）	P.73
		チャクシンモード	[デンワ／ファクスキリカエ]、ファクスセンヨウ、デンワセンヨウ	P.73
		チャクシンベルカイスウ	0～19回 、[6回]	P.74
		ヨビダシベルカイスウ	1～19回 、[10回]	P.74
		ホリュウメロディ	[ホリュウメロディ1]、ホリュウメロディ2	P.75
		コキジュワオンリョウ	[ヒョウジュン]、オオキイ	P.75
		コキソウワオンリョウ	[ヒョウジュン]、オオキイ	P.75
		デンワチョウテンソウ	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	P.30
3 サ DEF	ファクス・コピーキノウ	ヨミトリノウド	■□□□□、■■□□□、[■■■□□]、■■■■□、■■■■■	P.76
		カンタンジュシン	[○（する）]、×（しない）	P.76
		カイガイツウシン	○（する）、[×（しない）]	P.77
		フタツレポート	[○（出力する）]、×（出力しない）	P.77
		ジュシンシュクショウ	85%、90%、[93%]、100%	P.77
		ブンカツキロク	[○（する）]、×（しない）	P.78
		メモリジュシン	[○（する）]、×（しない）	P.78
		メモリブンショショウキョ	メモリ受信したファクスを消去する	P.78
4 タ GHI	ルスバンデンワキノウ	ゼンヨウケンショウキョ	すべての用件を消去する	P.47
		オウトウメッセージロクオン	応答メッセージの録音（応答メッセージ1 ・応答メッセージ2）	P.48
		オウトウメッセージショウキョ	応答メッセージの消去（応答メッセージ1 ・応答メッセージ2）	P.48
		トールセイバ	○（する）、[×（しない）]	P.51
		リモートソウサ	○（リモート操作する）、[×（リモート操作しない）] リモートパスワード（4桁）の登録	P.49
		ヨウケンテンソウ	○（用件転送する）、[×（用件転送しない）]、用件転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1～10回）	P.50
		オヤスミモードタイマキリカエ	おやすみモードの開始／終了　時刻	P.53

メインメニュー		機能メニュー		設定／登録（□はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
5	ナンバーディスプレイキノウ	ナンバーディスプレイ		○（する）、×（しない）	P.55
		以下はナンバー・ディスプレイを「する」に設定した場合のみ			
		チャクシンナリワケシテイ＆プライベートコールシテイ		着信鳴り分け指定（シテイナシ、ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A～C））、プライベートコール指定（すべて、内線番号*）	P.59
		トクテイコール		○（する）、×（しない） 電話帳設定：電話帳すべて、電話帳個別選択 公衆・圏外　：なし、公衆電話、表示圏外、公衆&圏外	P.60
		バンゴウリクエスト		○（する）、×（しない）	P.56
		チャクシンキョヒ		○（する）、×（しない）	P.57
			コウシュウデンワ	○（拒否する）、×（拒否しない）	P.57
			ヒョウジケンガイ	○（拒否する）、×（拒否しない）	P.57
		チャクシンキョヒリストヘンシュウ		着信拒否リストの登録／確認／削除	P.57
		オウトウメッセージセンタク		○（登録者のみ）、×（すべての相手先）	P.56
		キャッチホン		○（する）、×（しない）	P.64
		ダイヤルイン		○（する）、×（しない）	P.67
				以下はダイヤルインを「する」に設定した場合のみ	
				FAX専用（○（する）、×（しない））、 ファクスと親機の番号（4桁）の登録、 共通鳴動（○（する）、×（しない））、 子機用番号（4桁）の登録	P.67
6	リストプリント	デンワリストプリント		親機の電話番号リストをプリントする	P.79
		チャクシンデータプリント		親機に記憶された着信データをプリントする	P.80
		システムリストプリント		各種設定内容をプリントする	P.80
		ツウシンカンリレポート		通信管理レポートをプリントする	P.81
0	ファクスジョウホウサービス			ファクス情報サービスの利用（ポーリング受信）	P.40
ハンドスキャナを外したとき		ヨミトリキロクハバ		B4→A4、A4→A4、B5→A4、A5→A4	P.44
		メロディハンドスキャナ		○（流す）、×（流さない）	P.44

*内線番号 ・親機…………内線1
・付属の子機…内線2
・増設子機……1台目：内線3**、2台目：内線4
**SPX-S32Wでは内線3も付属の子機となります。

索　引

ア　行

カ　行

サ　行

タ　行

ナ　行

ハ　行

マ　行

ヤ　行

ラ　行

ワ　行

NEC スピークス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

NEC スピークス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

文字入力一覧表（親機・子機共通）

下表を参考に、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。

押す回数		ダイヤルボタン									
	親機の場合	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
	子機の場合	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1回		ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回		イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回		ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回		エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回		オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	“
6回		1	2	3	4	5	6	7	U	9	°
7回		ァ	A	D	G	J	M	P	V	W	ー
8回		ィ	B	E	H	K	N	Q	ャ	X	.
9回		ゥ	C	F	I	L	O	R	ュ	Y	(空白)
10回		ェ			ッ			S	ョ	Z	(
11回		ォ									)
12回											・
13回											’
14回											＊
15回											#
16回											&

入力のしかた

・「カ」「キ」のように同じ列の文字を続けて入力するときは、「カ」を入力したあとに［>］ボタンを押し、カーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力してください。

例:「テツヤ8」と入力する場合

親機で

1. 4 を4回押す　テ
2. > を押す　テ_
3. 4 を3回押す　テツ
4. 8 を押す　テツヤ
5. > を押す　テツヤ_
6. 8 を4回押す　テツヤ8

子機で

1. 4 を4回押す　テ
2. > を押す　テ_
3. 4 を3回押す　テツ
4. 8 を押す　テツヤ
5. > を押す　テツヤ_
6. 8 を4回押す　テツヤ8

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the software) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical support are not available overseas.

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/eco/ja/
（平成16年10月現在）

一般消費者様　製品廃棄方法について	事業者様　製品廃棄方法について
この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。	この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化等を有償にて行っています。詳細はこちらのページ http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html（平成16年10月現在）をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

型　名	SPX-S32 SPX-S32W	お買い上げ日	年　　月　　日
お買い上げ店	TEL　　　（　　）		

NG-088362-0A02
ND-023299（J）
2004年10月 第2版

NECアクセステクニカ株式会社
〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

この取扱説明書は、70%再生紙を使用しています。